

2027

東海大学
入学試験要項
総合型選抜
学科課題型



東海大学 入試担当

建学の精神

創立者松前重義は、青年時代に「人生いかに生きるべきか」について思い悩み、内村鑑三の研究会を訪ね、その思想に深く感銘を受けるようになりました。特にデンマークの教育による国づくりの歴史に啓発され、生涯を教育に捧げようと決意して「望星学塾」を開設しました。ここに東海大学の学園の原点があります。

創立者松前はこの「望星学塾」に次の四つの言葉を掲げました。

若き日に汝の思想を培え
若き日に汝の体軀を養え
若き日に汝の智能を磨け
若き日に汝の希望を星につなげ

ここでは、身体を鍛え、知能を磨くと共に、人間、社会、自然、歴史、世界などに対する幅広い視野をもって、一人ひとりが人生の基盤となる思想を培い、人生の意義について共に考えつつ希望の星に向かって生きていこうと語りかけています。

本学園は、このような創立者の精神を受け継ぎ、明日の歴史を担う強い使命感と豊かな人間性をもった人材を育てることにより、「調和のとれた文明社会を建設する」という理想を高く掲げ、歩み続けていきます。

アドミッション・ポリシー

東海大学では、「建学の精神」に基づき、専門だけにとらわれることなく幅広い視野をもち、自ら考えることで未来を切り拓く多様な人材の育成を目指しています。

本学の「建学の精神」と教育理念に共鳴する以下の者を国内外から広く受け入れます。

1. 大学で学ぶに相応しい学力を有し、明日の歴史を担う強い使命感のある者
2. 豊かな心と健やかな体の育成に努めると共に、自分の個性を伸ばす意志のある者
3. 時代の変化に合わせて積極的に社会を支え、社会に貢献する志のある者

■ 総合型選抜のアドミッション・ポリシー

総合型選抜では、志望する学部・学科・専攻に対する理解と関心をもち、強い目的意識を有する方、個性ある学習歴や経歴を有する方を求めています。そのため、受験生の皆さんが今もっている知識や学力を学科試験だけで評価するのではなく、むしろ、皆さんが大学で教育を受けるのにふさわしい能力を備えているか、また、そのための準備ができているかについて、入学後の皆さんへの期待度とともに総合的に判断して、入学者を選抜します。

入学者選抜では志望する学部・学科・専攻にとって最低限必要となる知識・技能の有無を確認し、また、思考力・判断力・表現力、主体性・協働性についても評価します。

■ 学部・学科・専攻のアドミッション・ポリシー

各学部・学科・専攻のアドミッション・ポリシーは、東海大学オフィシャルサイトの各学部のページにある「教育研究上の目的及び養成する人材像、3つのポリシー」に掲載していますので、ご確認ください。

東海大学オフィシャルサイト <https://www.u-tokai.ac.jp/>

所在地 (2027年度入学生の各学部・大学院の授業キャンパスは下記のとおりです)

湘南キャンパス

〒259-1292 神奈川県平塚市北金目4-1-1

電話：0463-58-1211 (代表)

文学部・文化社会学部・教養学部・児童教育学部・体育学部・健康学部・法学部・政治経済学部・経営学部・国際学部・観光学部・情報通信学部・理学部・情報理工学部・建築都市学部・工学部

大学院文学研究科(観光学専攻を除く)・法学研究科・

人間環境学研究科・芸術学研究科・体育学研究科・健康学研究科・理学研究科・工学研究科*

(注) 政治経済学部・経営学部・国際学部・観光学部・情報通信学部の3年次(第5セメスター)以降の科目については、品川キャンパスにおいて授業を行います。

品川キャンパス

〒108-8619 東京都港区高輪2-3-23

電話：03-3441-1171 (代表)

大学院文学研究科観光学専攻・政治学研究科・経済学研究科・情報通信学研究科

伊勢原キャンパス

〒259-1193 神奈川県伊勢原市下糟屋143

電話：0463-93-1121 (代表)

医学部

大学院工学研究科医用生体工学専攻*・医学研究科

(注) 医学部の主専攻科目以外の科目については、湘南キャンパスにおいて授業を行います。

* 工学研究科医用生体工学専攻は2028年4月より湘南キャンパスで授業を行います。

静岡キャンパス

〒424-8610 静岡県静岡市清水区折戸3-20-1

電話：054-334-0411 (代表)

海洋学部・人文学部

大学院海洋学研究科

熊本キャンパス

〒862-8652 熊本県熊本市東区渡鹿9-1-1

電話：096-382-1141 (代表)

文理融合学部・農学部

(注) 農学部の1年次は主として「熊本キャンパス」を2年次以降は主として「阿蘇くまもと臨空キャンパス」を利用します。

阿蘇くまもと臨空キャンパス

〒861-2205 熊本県上益城郡益城町杉堂871-12

電話：096-234-6430 (代表)

農学部

大学院農学研究科

(注) 農学部の1年次は主として「熊本キャンパス」を2年次以降は主として「阿蘇くまもと臨空キャンパス」を利用します。

札幌キャンパス

〒005-8601 北海道札幌市南区南沢5条1-1-1

電話：011-571-5111 (代表)

国際文化学部・生物学部

大学院生物学研究科

大学院総合理工学研究科・生物科学研究科：入学後のキャンパス(配属キャンパス)は、研究指導教員の所属するキャンパスとなります。

目次

1	募集人員	A-2	10	課題発表・面接試験について	A-9
2	日程	A-3	11	試験上の注意	A-11
3	選考方法・基準	A-3	12	合格発表・入学手続	A-12
4	選抜方法	A-4	13	試験場案内図	A-13
5	出願資格	A-4	I	学費・諸会費	B-1
6	受験及び修学上の合理的配慮	A-5	II	奨学金制度	B-2
7	高等教育の修学支援新制度	A-5	III	個人情報の活用について	B-3
8	第一次選考	A-6		課題	C-1
9	第二次選考	A-8			

出願・入学手続に関するお問い合わせ先

東海大学 出願・入学手続ヘルプデスク [2026年7月15日より開設]

電話 03-6625-0819 平日 10:00~18:00

1 募集人員

下表の学部・学科・専攻のみ募集します。
志望選択は各学部・学科・専攻とも第一志望のみとします。

キャンパス	学部	学科・専攻	略名	入学定員(名)	募集人員(名)	
湘南	文学部	文明学科	文明	60	6	
		歴史学科	日本史専攻	日史	50	5
			西洋史専攻	西史	50	5
			考古学専攻	考古	30	3
		日本文学科	日文	90	9	
		英語文化コミュニケーション学科	英コ	90	9	
	文化社会学部	アジア学科	社ア	70	8	
		ヨーロッパ・アメリカ学科	社ヨ	70	8	
		北欧学科	北欧	60	7	
		文芸創作学科	文芸	60	7	
		広報メディア学科	広メ	100	11	
		心理・社会学科	心社	90	12	
	教養学部	人間環境学科	人間	120	16	
		芸術学科	芸術	70	10	
	児童教育学部	児童教育学科	児童	150	40	
	体育学部	体育学科	体育	120	18	
		競技スポーツ学科	競技	170	20	
		武道学科	武道	60	11	
		生涯スポーツ学科	生涯	120	17	
		スポーツ・レジャーマネジメント学科	マネ	70	12	
	健康学部	健康マネジメント学科	健マ	200	35	
	法学部	法律学科	法律	300	30	
	湘南品川	政治経済学部	政治学科	政治	200	15
経済学科			経済	200	15	
経営学部		経営学科*	経経	230	20	
国際学部		国際学科	国国	200	29	
観光学部		観光学科	観光	200	20	
情報通信学部		情報通信学科	通信	240	12	
湘南	理学部	数学科	数学	80	7	
		情報数理学科	情数	80	7	
		物理学科	物理	80	7	
		化学科	化学	80	7	

キャンパス	学部	学科・専攻	略名	入学定員(名)	募集人員(名)	
湘南	情報理工学部	情報科学科	情科	100	10	
		コンピュータ応用工学科	コン	100	10	
		情報メディア学科	メデ	100	10	
	建築都市学部	建築学科	建建	240	20	
		土木工学科	建土	100	10	
	工学部	航空宇宙学科	航空宇宙学専攻	航空	90	7
			航空操縦学専攻	操縦	50	5
		機械工学科	機械	140	10	
		機械システム工学科	機シ	140	10	
		電気電子工学科	電電	120	10	
		医工学科	医工	80	6	
		生物工学科	生工	100	7	
		応用化学科	応化	100	7	
	静岡	海洋学部	海洋理工学専攻	理海	130	16
航海学専攻			理航	20	2	
水産学科			海水	120	12	
海洋生物学科		海生	80	8		
人文学部	人文学科	人文	180	28		
熊本	文理融合学部	経営学科*	文経	130	15	
		地域社会学科	地社	100	17	
		人間情報工学科	人情	70	13	
熊本臨空	農学部	農学科	農学	80	8	
		動物科学科	動物	80	8	
		食生命科学科	食生	70	7	
札幌	国際文化学部	地域創造学科	地域	110	17	
		国際コミュニケーション学科	国コ	80	10	
	生物学部	生物学科	生生	75	7	
		海洋生物科学科	生海	75	7	

*「経営学科」は経営学部（湘南キャンパス・品川キャンパス）と文理融合学部（熊本キャンパス）にあります。

注意 合格基準に達しない場合は、合格者数が募集人員に達しないこともあります。

2 日程

学部	第一次選考		第二次選考				入学手続期間
	出願期間	合格発表日	出願期間	試験日	試験場	合格発表日	
文学部 文化社会学部 教養学部 児童教育学部 体育学部 健康学部 法学部 政治経済学部 経営学部 国際学部 観光学部 情報通信学部 理学部 情報理工学部 建築都市学部 工学部	<p>Web登録</p> 2026年 9月 1日(火) ～ 9月 7日(月) 23:59厳守	2026年 9月29日(火)	<p>Web登録</p> 2026年 9月29日(火) ～ 10月 6日(火) 23:59厳守	2026年 10月18日(日) 試験開始時間 午前の部 10:00～ 午後の部 13:30～ ※「午前の部」 「午後の部」は、 大学が指定します。 (詳細な時間・ 場所は当日指示)	東海大学 湘南キャンパス 東海大学 静岡キャンパス 東海大学 熊本キャンパス 東海大学 札幌キャンパス	2026年 11月 1日(日)	<p>Web登録</p> 2026年 11月 1日(日) ～ 11月14日(土) 17:00厳守
海洋学部 人文学部	<p>出願書類郵送期限</p> 2026年 9月 9日(水) 締切日必着						
文理融合学部 農学部							
国際文化学部 生物学部							

■ 受験生に対する傷害保険について

本学は入学試験に際し、試験当日の受験生の偶発的な傷害・災害について、一定の補償をする傷害保険に加入しています。

3 選考方法・基準

■ 工学部航空宇宙学科航空操縦学専攻以外の学部・学科・専攻

「調査書」「志望理由書」「活動報告書」「スポーツ活動報告書(体育学部のみ)」を基本資料に、本学が指定する課題に対する取り組みを評価し、かつ本学で実施する「課題発表(プレゼンテーション)」「面接試験(口述試験含む)」を併せて総合的に判断し、下記の者を選考します。

1. 志望する学部・学科・専攻に対する理解と関心をもち、強い目的意識を有すると認められる者。
2. 個性ある学習歴、個性ある経歴をもち、優れた課題解決力、発想力、創造力を有すると認められる者。

■ 工学部航空宇宙学科航空操縦学専攻

「調査書」「活動報告書」「航空操縦学調書」「英語能力証明書」「航空身体検査証明申請書の写し」を基本資料に、本学が指定する課題に対する取り組みを評価し、かつ本学で実施する「課題発表(プレゼンテーション)」「面接試験(口述試験含む)」を併せて総合的に判断し、下記の者を選考します。

1. 本専攻に対する理解と関心をもち、強い目的意識を有すると認められる者。
2. 個性ある学習歴、個性ある経歴をもち、優れた課題解決力、発想力、創造力を有すると認められる者。

4 選抜方法

1. 第一次選考

- ・ 本学所定の書類による書類審査

2. 第二次選考

- ・ 課題発表〈プレゼンテーション〉
- ・ 面接試験（口述試験含む）

5 出願資格

工学部航空宇宙学科航空操縦学専攻以外の学部・学科・専攻

東海大学の「建学の精神」・「教育方針」を理解し、東海大学を第一志望とする者で、次の1.～3.のいずれかに該当する者。

1. 高等学校もしくは中等教育学校を卒業した者及び2027年3月卒業見込みの者。
2. 特別支援学校の高等部もしくは高等専門学校の第3学年を修了した者及び2027年3月修了見込みの者。
3. 学校教育法施行規則第150条の規定により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められる者及び2027年3月31日までにこれに該当する見込みの者で、次の(1)～(7)のいずれかに該当する者。
 - (1) 外国において、学校教育における12年の課程を修了した者及び2027年3月31日までに修了見込みの者、またはこれに準ずる者で文部科学大臣の指定した者。
 - (2) 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程または相当する課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を修了した者及び2027年3月31日までに修了見込みの者。
 - (3) 専修学校の高専課程（修業年限が3年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る）で、文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者及び2027年3月31日までに修了見込みの者。
 - (4) 文部科学大臣の指定した者。
 - (5) 高等学校卒業程度認定試験に合格した者及び2027年3月31日までに合格見込みの者で、2027年3月31日までに18歳に達する者（大学入学資格検定に合格した者を含む）。
 - (6) 学校教育法第90条第2項の規定により大学に入学した者であって、高等学校卒業程度認定審査規則による高等学校卒業程度認定審査に合格した者。
 - (7) その他、相当の年齢に達し、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると本学が認めた者。

注意 海洋学部海洋理工学科航海学専攻を志望する者は、下記「身体検査基準表」の基準に適合しない場合、「海技士国家試験」の身体検査に不合格となります。

「身体検査基準表」(抜粋)

「船舶職員及び小型船舶操縦者法施行規則」別表第3

検査項目	海技士身体検査基準
視力(5メートルの距離で万国視力表による)	視力(矯正視力を含む。)が両眼共に0.5以上であること。
色覚	船舶職員としての職務に支障をきたすおそれのある色覚の異常がないこと。
聴力	5メートル以上の距離で話声を弁別できること。
疾病及び身体機能の障害の有無	心臓疾患、視覚機能の障害、精神の機能の障害、言語機能の障害、運動機能の障害その他の疾病又は身体機能の障害により船舶職員としての職務に支障をきたさないことと認められること。

工学部航空宇宙学科航空操縦学専攻

東海大学の「建学の精神」・「教育方針」を理解し、東海大学を第一志望とする者で、次の1.～3.のいずれかに該当し、かつ4.～6.の条件を満たす者。

1. 高等学校もしくは中等教育学校を卒業した者及び2027年3月卒業見込みの者。
2. 特別支援学校の高等部もしくは高等専門学校の第3学年を修了した者及び2027年3月修了見込みの者。
3. 学校教育法施行規則第150条の規定により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められる者及び2027年3月31日までにこれに該当する見込みの者で、次の(1)～(7)のいずれかに該当する者。
 - (1) 外国において、学校教育における12年の課程を修了した者及び2027年3月31日までに修了見込みの者、またはこれに準ずる者で文部科学大臣の指定した者。
 - (2) 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程または相当する課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を修了した者及び2027年3月31日までに修了見込みの者。
 - (3) 専修学校の高専課程（修業年限が3年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る）で、文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者及び2027年3月31日までに修了見込みの者。
 - (4) 文部科学大臣の指定した者。
 - (5) 高等学校卒業程度認定試験に合格した者及び2027年3月31日までに合格見込みの者で、2027年3月31日までに18歳に達する者（大学入学資格検定に合格した者を含む）。

- (6) 学校教育法第90条第2項の規定により大学に入学した者であって、高等学校卒業程度認定審査規則による高等学校卒業程度認定審査に合格した者。
- (7) その他、相当の年齢に達し、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると本学が認めた者。
4. 第一種航空身体検査基準に適合と診断された「航空身体検査証明申請書」の写しを提出*できる者。
*国土交通大臣の指定した医療機関で、2026年5月1日以降に受診し発行されたものに限る。
5. オルソケラトロジー（コンタクトレンズによる屈折矯正術）を受けていないこと。
6. 次のいずれかのスコアを満たしている者。

①	実用英語技能検定 英検CBT・英検S-CBTでも可	2級合格かつCSE2.0スコア2050以上	
②	GTEC（検定版・CBT）	1000以上	
③	IELTS™（アカデミック・モジュール） コンピュータ版でも可（IELTS One Skill Retakeは不可）	4.5以上	
④	TOEFL iBT®	2026年1月20日以前の試験	48以上（スコア）
		2026年1月21日以降の試験	3.5以上（バンドスコア）
⑤	TOEIC® L&R* + TOEIC® S&W *TOEIC® L&RはIPテストでも可（オンラインは不可）	830以上	

※①は受験時期を問わない。

※②～⑤は2025年4月1日以降に受験したものに限り。

※自宅受験が可能な試験方式（TOEFL iBT® Home Edition等）のスコアは不可。

注意 工学部航空宇宙学科航空操縦学専攻を志望する者は、本学オフィシャルサイトに掲載の「2027年度東海大学工学部航空宇宙学科航空操縦学専攻パンフレット」p.16 Q & A「航空身体検査について」を必ず読み、内容を理解したうえで出願してください。

6 受験及び修学上の合理的配慮

障がいや疾病等により、受験及び入学後の授業やキャンパスライフ等で配慮を必要とする志願者は、本学オフィシャルサイトの「障がい等のある志願者の受験及び修学上の合理的配慮」を参照のうえ、下記期間に希望する配慮について申請してください。

*申請前の事前相談や申請に必要な書類等は、下記申請先にお問い合わせください。

なお、申請内容によっては、希望する配慮や支援を講じることができない場合がありますので、ご了承ください。

東海大学オフィシャルサイト <https://www.u-tokai.ac.jp/>

申請期間

2026年 7月15日(水)～ 7月24日(金)

申請先

東海大学 出願・入学手続きヘルプデスク [2026年 7月15日より開設]

電話 03-6625-0819 E-mail u-tokai@nyushiuketsuke.net

平日 10:00～18:00

※7月15日(水)以前にお問い合わせをされる際は、東海大学入試担当 (0463-63-4660) までご連絡ください。

7 高等教育の修学支援新制度

「高等教育の修学支援新制度」は、授業料・入学金の減免と返還不要の給付型奨学金により、意欲ある学生の学びを支える国の制度です。東海大学はこの制度の対象校として認定されています。

高等学校等を通じて本制度の予約申込（入学前の申請）を行い、給付奨学金の奨学生採用候補者となった方は、入学手続き時には入学金・諸会費のみを納入いただけます。学費のうち、授業料は給付奨学金の支援区分に応じた減免適用額を、授業料以外は満額を入学後に請求します。また、入学金の減免相当額は支援区分に応じて入学後に還付します。

本制度の詳細については、文部科学省特設サイトにてご確認ください。 <https://www.mext.go.jp/kyufu/index.html>

予約採用の第1回に申込みをしている方へ

入学前の減免を希望する場合は、Web出願登録時に「修学支援新制度」に関する項目において、「予約採用の申込み」欄で「申込み済」を選択してください。また、本選抜に合格をされた方は、下記期間に「令和9年度大学等奨学生採用候補者決定通知【提出用】または（簡易版）」のデータ（PDF、jpeg等）を提出してください。なお、本選抜においては、第2回・第3回に申込みをしている方は対象外となります。

提出期間：2026年11月1日(日)～11月3日(火・祝) 提出先：u-tokai@nyushiuketsuke.net

- 注意**
- Web出願登録時に「申込み済」を選択していない場合（奨学生採用候補者決定通知のコピーを上記期間に提出しない場合も含む）は、入学前の減免対象となりません（本学入学後に所定の手続を行うことで、入学金と授業料の減免相当額を還付します）。
 - 本選抜の入学手続は11月1日(日)から開始となりますが、採用候補者として確認が取れ次第、入学手続時にお支払いいただく「学費・諸会費」の金額を変更してお知らせします。

8 第一次選考

出願はWebでの手続となります。本学オフィシャルサイトの「Web出願」のバナーから「Web出願サイト」にアクセスし、新規出願手続より、画面の指示にしたがって、出願手続を行ってください。

Web出願サイトURL ▼

<https://www.guide.52school.com/guidance/net-u-tokai/>



1. 出願方法

第一次選考出願期間 [Web登録] 2026年 9月 1日(火)～ 9月 7日(月) 23:59厳守
[出願書類郵送期限] 2026年 9月 9日(水) 締切日必着

- 「Web出願サイト」へアクセスし、個人情報等の入力や顔写真登録を行ってください。
- 顔写真登録後、画面の指示にしたがい、入学検定料をお支払いください。入学検定料支払い後は、入力内容の変更ができません。入力内容をよく確認してからお支払いください。支払い後、「提出書類チェックシート」の印刷をしてください。
- 出願書類 [所定用紙] を印刷し作成してください。出願書類 (提出書類チェックシートを除く) は、出願登録完了前であっても印刷できます。
- 「宛名ラベル [所定用紙]」を貼った封筒に出願書類を入れ、簡易書留で郵送してください。出願書類は、**出願書類郵送期限までに到着するよう郵送してください**。郵送先は「宛名ラベル」に明記してありますが、次のとおりです。

出願書類郵送先

〒350-0299 日本郵便 坂戸郵便局留
東海大学 出願・入学手続書類受付センター

2. 第一次選考入学検定料 9,000円／工学部航空宇宙学科航空操縦学専攻は、15,000円

「Web出願サイト」にて、お支払いください。

詳細については、p. A-6のURLまたはQRコード等から「Web出願サイト」にアクセスし、確認してください。

第一次選考に合格し、第二次選考に出願する際は、第二次選考入学検定料 (23,000円／工学部航空宇宙学科航空操縦学専攻は、35,000円) の支払いが必要となります。

3. 出願書類

出願書類	
1	<p>提出書類チェックシート [所定用紙]</p> <ul style="list-style-type: none"> 「Web出願サイト」にて顔写真データの登録及び入学検定料の支払い後、マイページから印刷できるようになります。記載内容を確認のうえ提出してください。 チェックシートには、提出すべき書類が記載されていますので、不足や不備がないことを確認のうえ提出してください。
2	<p>志望理由書 (600字以内) [所定用紙①] (工学部航空宇宙学科航空操縦学専攻は不要) *本学オフィシャルサイトよりダウンロードしてください。</p> <ul style="list-style-type: none"> 入学後に学びたいことや、取り組みたいことを含め、本学の学科・専攻を志望する理由を記入してください。
3	<p>活動報告書 [所定用紙②] *本学オフィシャルサイトよりダウンロードしてください。</p> <ul style="list-style-type: none"> 中学校を卒業した年の4月1日以降の活動について、該当する箇所を記入してください。
4	<p>調査書 (最近3か月以内に発行された出身校所定の用紙で、厳封されたもの)</p> <ul style="list-style-type: none"> 卒業後5年以内の志願者は、「調査書」を提出してください。 ※現役生は、原則として3年次前期または1学期までの成績が記載されているものを提出してください。 なお、それに満たない場合は、直前の成績が記載されている発行可能な調査書 (2年次修了時の成績でも可) を提出してください。 卒業後5年が経過しており、出身校での調査書等の保存期間が終了した場合は、「卒業証明書」及び「成績証明書」を提出してください。 ※「成績証明書」が発行されない場合は、「単位取得証明書」を提出してください。 「成績証明書」「単位取得証明書」のいずれも発行されない場合は、「発行されない旨と理由を記した出身校の証明書」を提出してください。 廃校・被災等の事情により上記の証明書が提出できない場合は、「東海大学 出願・入学手続ヘルプデスク (p. A-1参照)」にお問い合わせください。 高等学校卒業程度認定試験合格 (見込) の志願者は、「合格 (見込) 成績証明書」を提出してください。 ※大学入学資格検定に合格した者を含みます。 外国の学校を修了の場合は、「修了 (見込) 証明書」及び「成績証明書」を提出してください。また、諸外国の統一試験 (大学入学資格試験等) を受けた場合は、「資格証明書の写し」及び「成績評価証明書」を提出してください。 ※日本語または英語以外の言語で記載されている場合は、公的機関、翻訳会社が証明する日本語または英語の訳文を添付してください (作成年月日、訳者氏名、住所、電話番号、署名 (または印) を明記)。
<p>注意 申請から入手までに時間がかかる場合があるため、調査書等については早めに申請手続をしてください。</p>	

出願書類																						
5	<p>スポーツ活動報告書（厳封されたもの）〔所定用紙③〕〈体育学部に出願する者のみ提出〉 *本学オフィシャルサイトよりダウンロードしてください。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・体育学部志願者のみ中学校を卒業した年の4月1日以降のスポーツ活動について記入し、必ず提出してください。 ・スポーツ活動報告書の作成は、出身校または所属クラブに依頼してください。 ・スポーツ活動歴がない場合でも必ず作成し提出してください。 <p>注意 出身校または所属クラブで厳封してください。</p>																					
	<p>航空操縦学調書〔所定用紙④〕〈工学部航空宇宙学科航空操縦学専攻に出願する者のみ提出〉 *本学オフィシャルサイトよりダウンロードしてください。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・航空操縦学調書に記載された「記入上の注意事項」をよく読んで記入してください。 																					
7	<p>英語能力証明書（原本のみ可）〈工学部航空宇宙学科航空操縦学専攻のみ提出〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・①～⑤のいずれかの条件を満たす証明書を提出してください。複数有している場合は、一つ選んで提出してください。ただし②～⑤の証明書は、2025年4月1日以降に受験し発行されたものに限りです。 ※自宅受験が可能な試験方式（TOEFL iBT® Home Edition等）のスコアは認めません。 <table border="1"> <tbody> <tr> <td>①</td> <td>実用英語技能検定 英検CBT・英検5-CBTでも可</td> <td>2級合格 かつ CSE2.0スコア2050以上</td> <td>合格証明書（和文・英文どちらでも可） または英検CSEスコア証明書 ※合格証書〔Certificate〕及びCertification Cardは提出しないでください。</td> </tr> <tr> <td>②</td> <td>GTEC（検定版・CBT）</td> <td>1000以上</td> <td>OFFICIAL SCORE CERTIFICATE</td> </tr> <tr> <td>③</td> <td>IELTS™（アカデミック・モジュール） コンピュータ版でも可 （IELTS One Skill Retakeは不可）</td> <td>4.5以上</td> <td>IELTSを受験した団体の手順に従い「追加成績証明書」の“電子通知”による直送の手続きを行ってください。 ※手続の際に次の項目の入力を求められた場合は、以下の内容を入力してください。 ・送付方法：電子通知／By electronic submission of scores ・学校・機関名：東海大学／Tokai University ・提出先：入試担当／Admissions Office ・送付先住所：〒259-1292神奈川県平塚市北金目4-1-1 4-1-1 Kitakaname, Hiratsuka, Kanagawa, 259-1292 Japan</td> </tr> <tr> <td>④</td> <td>TOEFL iBT®</td> <td>2026年1月20日以前の試験 ----- 2026年1月21日以降の試験</td> <td>48以上（スコア） ----- 3.5以上（バンドスコア）</td> <td>ETSアカウント（My TOEFL Home）からDIコード9565（Tokai University-Admissions Office）を選択し、スコア直送の手続きを行ってください。</td> </tr> <tr> <td>⑤</td> <td>TOEIC® L&R* + TOEIC® S&W *TOEIC® L&RはIPテストでも可 （オンラインは不可）</td> <td>830以上</td> <td>Official Score Certificateまたはスコアレポート</td> </tr> </tbody> </table> <p>注意 証明書の発行には、申請から入手までに時間がかかる場合があります。出願期日に間に合うよう早めに準備してください。</p>	①	実用英語技能検定 英検CBT・英検5-CBTでも可	2級合格 かつ CSE2.0スコア2050以上	合格証明書（和文・英文どちらでも可） または英検CSEスコア証明書 ※合格証書〔Certificate〕及びCertification Cardは提出しないでください。	②	GTEC（検定版・CBT）	1000以上	OFFICIAL SCORE CERTIFICATE	③	IELTS™（アカデミック・モジュール） コンピュータ版でも可 （IELTS One Skill Retakeは不可）	4.5以上	IELTSを受験した団体の手順に従い「追加成績証明書」の“電子通知”による直送の手続きを行ってください。 ※手続の際に次の項目の入力を求められた場合は、以下の内容を入力してください。 ・送付方法：電子通知／By electronic submission of scores ・学校・機関名：東海大学／Tokai University ・提出先：入試担当／Admissions Office ・送付先住所：〒259-1292神奈川県平塚市北金目4-1-1 4-1-1 Kitakaname, Hiratsuka, Kanagawa, 259-1292 Japan	④	TOEFL iBT®	2026年1月20日以前の試験 ----- 2026年1月21日以降の試験	48以上（スコア） ----- 3.5以上（バンドスコア）	ETSアカウント（My TOEFL Home）からDIコード9565（Tokai University-Admissions Office）を選択し、スコア直送の手続きを行ってください。	⑤	TOEIC® L&R* + TOEIC® S&W *TOEIC® L&RはIPテストでも可 （オンラインは不可）	830以上	Official Score Certificateまたはスコアレポート
	①	実用英語技能検定 英検CBT・英検5-CBTでも可	2級合格 かつ CSE2.0スコア2050以上	合格証明書（和文・英文どちらでも可） または英検CSEスコア証明書 ※合格証書〔Certificate〕及びCertification Cardは提出しないでください。																		
	②	GTEC（検定版・CBT）	1000以上	OFFICIAL SCORE CERTIFICATE																		
	③	IELTS™（アカデミック・モジュール） コンピュータ版でも可 （IELTS One Skill Retakeは不可）	4.5以上	IELTSを受験した団体の手順に従い「追加成績証明書」の“電子通知”による直送の手続きを行ってください。 ※手続の際に次の項目の入力を求められた場合は、以下の内容を入力してください。 ・送付方法：電子通知／By electronic submission of scores ・学校・機関名：東海大学／Tokai University ・提出先：入試担当／Admissions Office ・送付先住所：〒259-1292神奈川県平塚市北金目4-1-1 4-1-1 Kitakaname, Hiratsuka, Kanagawa, 259-1292 Japan																		
	④	TOEFL iBT®	2026年1月20日以前の試験 ----- 2026年1月21日以降の試験	48以上（スコア） ----- 3.5以上（バンドスコア）	ETSアカウント（My TOEFL Home）からDIコード9565（Tokai University-Admissions Office）を選択し、スコア直送の手続きを行ってください。																	
	⑤	TOEIC® L&R* + TOEIC® S&W *TOEIC® L&RはIPテストでも可 （オンラインは不可）	830以上	Official Score Certificateまたはスコアレポート																		
8	<p>航空身体検査証明申請書の写し〈工学部航空宇宙学科航空操縦学専攻のみ提出〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・国土交通大臣の指定した医療機関において2026年5月1日以降に受診し、第一種航空身体検査基準に「適合」と診断された「航空身体検査証明申請書」の写しを提出してください。 指定医療機関は、国土交通省のホームページ「航空従事者の医学適性や航空身体検査の証明について」を参考にしてください。 https://www.mlit.go.jp/koku/15_bf_000743.html ※東海大学医学部付属病院・八王子病院では受診できません。 																					
	<ul style="list-style-type: none"> ・医療機関によっては「航空機操縦練習許可申請書」しか発行できない場合があります。その場合は必ず医療機関に「第一種航空身体検査基準で検査を実施」した旨を記載してもらうように依頼してください。 ・時期によっては、受診予約が混雑する場合や受診して検査結果が出るまで時間を要する場合がありますので、早めに予約を行い受診してください。 ・受診の際は「既往歴」を正確に申告してください。正確に申告しなかった場合は、入学後にライセンスを取得できない可能性があります。 ・検査費用は、自己負担となります。 <p>注意 2026年5月1日より前に受診したものは、無効となります。</p>																					
9	<p>課題（各学科・専攻より指定されたもの）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・課題内容は、p. C-1以降の『課題』を参照してください。 ・手書きで作成する場合は、「課題提出用原稿用紙（20字×20行）」または「課題提出用レポート用紙（ヨコ書き 25行）」を必要に応じて使用してください（原稿用紙やレポート用紙の指定がある学科・専攻は注意してください）。 ・原稿（レポート）用紙は、本学所定のものに限定しません。市販の原稿用紙や、パソコン等で作成する場合は、A4用紙を使用し作成してください。ただし、以下の項目については、必ず原稿（レポート）用紙1ページ目の1行目に明記してください。 <ul style="list-style-type: none"> －「課題番号（志望する学科・専攻において、課題が選択できる場合）」 －「タイトル（志望する学科・専攻において、課題にタイトルをつけるよう指示がある場合）」 －「氏名」及び「志望学部・学科・専攻」 <p>【記入例】 課題番号：(2) タイトル：「裁判員制度の課題」 氏名：東海二郎 志望：法学部法律学科</p> <ul style="list-style-type: none"> ・課題が複数枚にわたる場合は、すべての用紙にページ番号を記入のうえ、左上（タテ書きの場合は右上）をホッチキスでとめてください。 																					
	<p>注意</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 出願書類に不備があった場合は、受付けることはできません。 2) 出願後の入学検定料及び出願書類の返還は、いかなる理由があっても認めません。 3) 出願後の申請内容の変更については、いかなる理由があっても認めません。 4) 電話で入学検定料の振込みをお願いすることは一切ありません。 5) 出願書類に不正な記載をした場合、入学後でも合格取消しとなり入学資格を失います。 																					

4. 第一次選考受験票

- (1) 出願書類を本学にて確認した後、受験票が印刷できるようになります。「Web出願サイト」にログインし、マイページから印刷してください。
- (2) 第一次選考受験票を印刷次第、記載項目を必ず確認してください。
 - ・本人に関する項目：カナ氏名、氏名、電話番号、生年月日、性別、出身高校、課程、学科、卒業(見込)・取得年月
 - ・試験に関する項目：受験番号、志望学部・学科・専攻(略名)、選抜方法

- 注意**
- 1) 「試験に関する項目」についての出願後の変更は、いかなる理由があっても認めません。
 - 2) 漢字氏名については、原則としてJIS（日本産業規格）で定義される第1水準及び第2水準漢字を使用します。規格にない漢字は、入力することができません。

2026年9月15日(火)までに第一次選考受験票が確認できない場合や、第一次選考受験票記載の「本人に関する項目」の間違については、「東海大学 出願・入学手続ヘルプデスク (p. A-1参照)」にお問い合わせください。

5. 第一次選考合格発表

第一次選考合格発表日 2026年 9月29日(火)

第一次選考の合否結果はインターネットのみでお知らせします(大学から通知を郵送することはありません)。合格発表日の午前9時30分より本学オフィシャルサイト (<https://www.u-tokai.ac.jp/>) でご確認いただけます。

第一次選考合格者には、第二次選考出願方法と出願時に必要となる「パスワード」が表示されますので、内容をよく確認してください。

合否に関する問い合わせには、一切応じません。

インターネットに接続できない、または誤操作等を理由とした第二次選考出願期間終了後の出願手続は認めません。

インターネット合格発表利用可能期間

2026年 9月29日(火) 9:30～10月18日(日) 23:59

9 第二次選考

1. 出願方法

第二次選考出願期間 2026年 9月29日(火)～10月 6日(火) 23:59厳守

「Web出願サイト」にアクセスし、第二次選考入学検定料をお支払いください。
なお、アクセスには第一次選考合格発表時に入手した「パスワード」が必要です。

2. 第二次選考入学検定料 23,000円／工学部航空宇宙学科航空操縦学専攻は、35,000円

「Web出願サイト」にて、お支払いください。
詳細については、p. A-6のURLまたはQRコード等から「Web出願サイト」にアクセスし、確認してください。

3. 出願書類

第二次選考の出願書類はありません。

※入学検定料支払い時に受取る証明書（領収書、受領書、ご利用明細書等）の提出は不要です。

4. 第二次選考受験票

- (1) 入学検定料の入金を本学にて確認した後、2026年10月9日(金)より受験票が印刷できるようになります。「Web出願サイト」にログインし、マイページから印刷してください。
- (2) 第二次選考受験票を印刷次第、記載項目を必ず確認してください。
 - ・本人に関する項目：カナ氏名、氏名、電話番号、生年月日、性別、出身高校、課程、学科、卒業(見込)・取得年月
 - ・試験に関する項目：試験日、受験番号、志望学部・学科・専攻(略名)、試験場、時間割

- 注意**
- 1) 「試験に関する項目」についての出願後の変更は、いかなる理由があっても認めません。
 - 2) 試験場及び交通機関等を確認してください。
 - 3) 漢字氏名については、原則としてJIS（日本産業規格）で定義される第1水準及び第2水準漢字を使用します。規格にない漢字は、入力することができません。

第二次選考受験票が確認できない場合や、第二次選考受験票記載の「本人に関する項目」の間違については、「東海大学 出願・入学手続ヘルプデスク (p. A-1参照)」にお問い合わせください。

10 課題発表・面接試験について

第一次選考に合格し、第二次選考を受験する際には、以下の点に注意してください。

1. 課題発表の準備について

- 課題発表は、p. C-1以降の『課題』に記載されている情報をもとに準備してください。
当日の発表形式を詳細に指定している学科もあれば、指定せずに各自の創意工夫を期待する学科もあります。記載内容をよく読み、取り組んでください。
- 課題発表時の使用機器について、該当ページに明記されていない場合は、大学では機器の準備を行いませんので注意してください。

2. 試験について

- 試験時間は、原則として「課題発表〈プレゼンテーション〉(質疑応答含む)」及び「面接試験(口述試験含む)」を合わせて25分程度です。
- 「模造紙・ポスター」等を用いての課題発表が指定されている場合は、大学でマグネットを準備しますが、使用個数が多い場合は、各自準備してください。
- パソコンを用いて発表する場合は、データの消失や機器の不具合等、万一の場合に備えて、発表されるものと同じ資料(印刷したもの)をあらかじめ準備してください。
- 資料等を用いて発表する場合は、大学は回収をしませんので、各自必ず持ち帰ってください。
- 面接試験(口述試験含む)では、本学及び志望学部・学科・専攻に対する志望動機等についての一般的な質問と学部・学科・専攻に関連する基礎学力・基礎能力についての口述試験を行います。口述試験の内容は次のとおりです。

口述試験要領

学部	学科・専攻	口述試験内容	
文学部	文明学科	地理・歴史・現代社会・現代文に関する基礎知識(主として志願者が興味や関心を持っている分野に関する事)について。	
	歴史学科	日本史専攻	日本史の基礎用語(日本史探究の教科書の範囲内)に関する知識について。
		西洋史専攻	西洋史の基礎知識(世界史探究の教科書の範囲内)に関する人物、地名、事件、年代等について。
		考古学専攻	日本史または世界史のいずれかを選択した1科目のうち、考古学に関する基礎知識(高校の教科書の範囲内)について。
	日本文学科	国語の基礎学力(音読・基礎知識等)及びこれまでの読書経験や作品から得た感動について。	
	英語文化コミュニケーション学科	英語の基礎学力(英文の基礎知識・音読・読解)及び英語による自己表現について。	
文化社会学部	アジア学科	アジアの地理・歴史・社会・文化に関する基礎知識(主として志願者が興味や関心を持っている地域・分野に関する事。高校の教科書レベル及び新聞やテレビのニュースで報道されている内容等)について。	
	ヨーロッパ・アメリカ学科	ヨーロッパ及びアメリカの文化・歴史・社会に関する基礎知識(主として志願者が興味や関心を持っている地域・分野に関する事)について。	
	北欧学科	英語の基礎学力(短文の音読・和訳等)及び北欧の地理・歴史・社会・文化に関する基礎知識について。	
	文芸創作学科	日本・世界の文学に関する基礎知識及び表現能力(これまでの読書経験や創作に対する考え方について語り、現在の自分を表現する)について。	
	広報メディア学科	英語の基礎学力(短文の音読・和訳等)及び時事問題・時事用語に関する基礎知識について。	
	心理・社会学科	英語の基礎学力(文法の基礎知識)及び志願者が興味や関心を持っている人々の心や社会の問題に関する一般的な知識(新聞やテレビのニュースで報道されている内容等)について。	
教養学部	人間環境学科	志願者が興味・関心を持っている環境問題(地球環境・地域環境・自然環境等)や社会問題及びそれが人類や我々の生活に与える影響について。	
	芸術学科	音楽・美術・デザイン等の芸術に対する興味や理解及びそれらの分野の連携に対する関心について。	
児童教育学部	児童教育学科	教育・保育の現在の動向、子どもに関する社会的課題及びそれらに関する基礎知識について。	
体育学部	体育学科	保健体育の教科書に記載されている事項について、保健・体育の分野からそれぞれ1~2問程度。	
	競技スポーツ学科	アンチ・ドーピング(フェアプレイとの関連)とスポーツ倫理(ゲーム中の意図的な反則や暴力、審判への無謀な抗議、試合会場内外での暴動等)について。	
	武道学科	柔道・剣道を中心とした武道に関する事項について、2~3問程度。	
	生涯スポーツ学科	保健体育の教科書に記載されている事項の中から、ライフステージやライフスタイル等とスポーツの関連性及び身体活動・運動と健康の関連性に関する内容について、2~3問程度。	
	スポーツ・レジャーマネジメント学科	英語の基礎学力(短文の音読・和訳等)及びスポーツ・レジャーに関する事項について。	

学部	学科・専攻		口述試験内容
健康学部	健康マネジメント学科		健康に関する基礎知識及び近年注目されている健康課題について。
法学部	法律学科		社会・時事問題に関する基礎的知識について。
政治経済学部	政治学科		英語の基礎学力（読解力・文法）、政治・経済の基礎知識及び政治を中心とする時事問題について。
	経済学科		英語（読解力・文法）、数学（関数やグラフ）の基礎知識、経済の時事問題について。
経営学部	経営学科		英語の基礎学力（短文の音読・和訳）、経営（経営者や企業等）に関する基礎知識及び時事問題について。
国際学部	国際学科		英語による自己アピール、現代世界の基礎知識（主に志願者が興味・関心を持っていること）について。 Self-promotion speech and a discussion demonstrating an understanding of current global issues of the applicant's interest.
観光学部	観光学科		英語の基礎学力（音読・和訳）、観光に関する基礎知識及び時事問題について。
情報通信学部	情報通信学科		英語（読解力・英作文・文法）及び数学（数学Ⅰ・数学A〈数学と人間の活動を除く〉）の基礎知識について。
理学部	数学科		数学（数学Ⅰ・数学Ⅱ・数学Ⅲ・数学A〈数学と人間の活動を除く〉・数学B〈数列のみ〉・数学C〈数学的な表現の工夫は除く〉）の基礎知識について。
	情報数理学科		数学（数学Ⅰ・数学Ⅱ・数学A〈数学と人間の活動を除く〉・数学B〈数列のみ〉・数学C〈ベクトルのみ〉）の基礎知識について。
	物理学科		数学（数学Ⅰ・数学Ⅱ）及び理科（物理基礎・物理）の基礎知識について。
	化学科		理科（化学基礎・化学）の基礎知識について。
情報理工学部	情報科学科		英語（読解力・英作文・文法）及び数学（数学Ⅰ・数学Ⅱ）の基礎知識について。
	コンピュータ応用工学科		英語（読解力・英作文・文法）及び数学（数学Ⅰ・数学Ⅱ）の基礎知識について。
	情報メディア学科		英語（読解力・英作文・文法）及び数学（数学Ⅰ・数学Ⅱ）の基礎知識について。
建築都市学部	建築学科		英語の基礎学力（短文の音読・文法）及び数学（数学Ⅰ・数学Ⅱ）の基礎知識について。
	土木工学科		英語（短文の音読・和訳、文法）及び数学（数学Ⅰ・数学Ⅱ）の基礎知識について。
工学部	航空宇宙学科	航空宇宙学専攻	理科（物理基礎・物理）に関する問題の解き方について。
		航空操縦学専攻	英語の基礎学力（コミュニケーションと自己表現）及び数学（数学Ⅰ・数学A）の基礎知識について。
	機械工学科		数学（数学Ⅰ・数学Ⅱ）及び理科（物理基礎）の基礎知識について。
	機械システム工学科		数学（数学Ⅰ・数学Ⅱ）及び理科（物理基礎または化学基礎から選択した1科目）の基礎知識について。
	電気電子工学科		数学（数学Ⅰ・数学Ⅱ）及び理科（物理基礎または化学基礎から選択した1科目）の基礎知識について。
	医工学科		数学（数学Ⅰ・数学Ⅱ）及び理科（物理基礎または化学基礎から選択した1科目）の基礎知識について。
	生物工学科		理科（化学基礎または生物基礎から選択した1科目）の基礎知識について。
	応用化学科		理科（化学基礎）の基礎知識について。
海洋学部	海洋理工学科	海洋理工学専攻	英語の基礎学力（短文の音読・和訳）及び数学（数学Ⅰ・数学Ⅱ）または理科（物理基礎、化学基礎、生物基礎、地学基礎から選択した1科目）の基礎知識または時事問題から選択。
		航海学専攻	英語の基礎学力（短文の音読・和訳）及び数学（数学Ⅰ）の基礎知識について。
	水産学科		化学（化学基礎・化学）または生物（生物基礎・生物）から選択した1教科及び英語（読解力・文法）または数学（数学Ⅰ・数学Ⅱ）から選択した1教科の基礎知識について。
	海洋生物学科		生物（生物基礎・生物）及び英語（読解力・文法）または数学（数学Ⅰ・数学Ⅱ）から選択した1教科の基礎知識について。
人文学部	人文学科		地理歴史、公民、国語、英語で学んだ概念、用語、または関連するニュース（主に志願者が興味・関心を持っていること）について。
文理融合学部	経営学科		英語による自己紹介と自己アピール及び最近の経営・経済を中心とする時事問題（主に志願者が関心を持っていること）に対する自身の見解について。
	地域社会学科		英語による自己紹介と自己アピール及び地域活性化・観光・広報メディア等の本学科に関連する時事問題に対する自身の見解について。
	人間情報工学科		数学（数学Ⅰ・数学Ⅱ）及び理科（物理基礎または化学基礎から選択した1科目）の基礎知識について。

学部	学科・専攻	口述試験内容
農学部	農学科	英語（短文の和訳）、農業と環境、化学基礎、生物基礎から選択した1科目の基礎知識について。
	動物科学科	英語（単語や短文の和訳）、数学Ⅰ、生物基礎、畜産から選択した2科目の基礎知識について。
	食生命科学科	英語（単語や短文の和訳）、農業と環境、化学基礎、生物基礎から選択した1科目の基礎知識について。
国際文化学部	地域創造学科	現代の社会における、主に公共及び倫理の基礎知識について。
	国際コミュニケーション学科	英文の音読と読解及び英語による自己アピール。
生物学部	生物学科	英語の基礎学力（短文の音読・和訳）及び理科（生物基礎）の基礎知識について。
	海洋生物科学科	英語の基礎学力（短文の音読・和訳）及び数学（数学Ⅰ）または理科（物理基礎、化学基礎、生物基礎から選択した1科目）の基礎知識について。

11 試験上の注意

1. 試験について

- 試験当日は、第二次選考受験票を必ず持参し、試験場入場時に提示してください。
- 指定された試験開始時間（午前の部 10:00、午後の部 13:30）の20分前までに試験場に入場し、着席してください。
- 試験日、試験開始時間及び試験場間違いでの受験は一切認めませんので、第二次選考受験票の記載事項をよく確認してください。
- 試験開始後20分までに試験場にて受付をしない場合は、受験を認めません。
- 試験当日、受験生以外は試験場内に入れません。
- 試験場においては、すべて面接担当教員等の指示にしたがってください。したがわなない場合は、退場させることがあります。
- 試験場内では、スマートフォン、携帯電話、ウェアラブル端末（スマートウォッチやスマートグラス等）、タブレット端末、電子辞書、ICレコーダー、イヤホン、音楽プレーヤー等の電子機器類の使用を禁止します。入場時に必ず電源を切っておいてください。時計としての使用も認めません。辞書、電卓、通信機能等の有無が判別しづらい時計の使用も認めません。

2. 試験当日の持参品

第二次選考受験票、筆記用具、課題発表〈プレゼンテーション〉で使用するもの。

3. 不正行為について

本学では、すべての受験者が公平に受験できるよう入学試験を厳正に実施します。公正な入学試験の実施を妨げる不正行為があったと認められた場合は、以後の受験は認められず、また、当該年度の本学におけるすべての入学試験について無効とします（入学検定料の返還はいたしません）。なお、不正行為については、状況により警察へ被害届を提出する等の対応をとる場合があります。

■ 不正行為と判断される行為

- 使用を認めていない物品や機器を使用、操作すること。
- 面接担当教員等の指示にしたがわなないこと。
- 受験生以外の者が、受験生本人になりすまして試験を受けること。
- その他、試験の公平性を損なう行為をすること。

4. その他

- 入学試験当日、学校保健安全法で出席停止が定められている感染症（インフルエンザ、麻しん、水痘、風疹、新型コロナウイルス感染症等）に罹患し治癒していない場合は、他の受験生等への感染の恐れがありますので、原則として受験をご遠慮願います。感染症罹患を理由に入学試験を欠席し、試験日翌々日までにご連絡いただいた場合に限り、別日程での受験を認める場合があります。詳細は、本学オフィシャルサイト（8月頃公表）にてご確認ください。
- 本学からの入学試験の実施に関する情報提供は、本学オフィシャルサイトより行います。
- 電車遅延等による、試験当日のお問い合わせは、東海大学入試実施本部にご連絡ください。
電話 0463-63-4630（試験当日のみ連絡可能）

12 合格発表・入学手続

1. 合格発表

第二次選考合格発表日 2026年11月 1日(日)

第二次選考の合否結果はインターネットのみでお知らせします(大学から通知を郵送することはありません)。合格発表日の午前9時30分より本学オフィシャルサイト (<https://www.u-tokai.ac.jp/>) でご確認ください。

※合格通知は「Web入学手続サイト」よりダウンロード(印刷)できます。

合否に関する問い合わせには、一切応じません。

■ インターネットによる合格発表利用可能期間

2026年11月 1日(日) 9:30～11月14日(土) 17:00

2. 入学手続

入学手続期間 2026年11月 1日(日)～11月14日(土) 17:00厳守

入学手続はWebでの手続となります。本学オフィシャルサイトより「Web入学手続サイト」にアクセスし、上記の入学手続期間内に手続を行ってください。インターネットに接続できない、または誤操作等を理由とした入学手続期間終了後の入学手続は認めません。

なお、「学費・諸会費」は一括納入となります。

3. 学費・諸会費の返還について

いったん納入した学費・諸会費の返還は、原則として認めません。

ただし、特段の事情により本学への入学を辞退する者は、2027年3月31日(水) 午後5時〔締切日必着〕までに入学辞退手続を完了した場合に限り、入学辞退を認め、「入学金」を除く学費・諸会費を返還します(詳細については、合格発表後に入学手続要項を参照してください)。

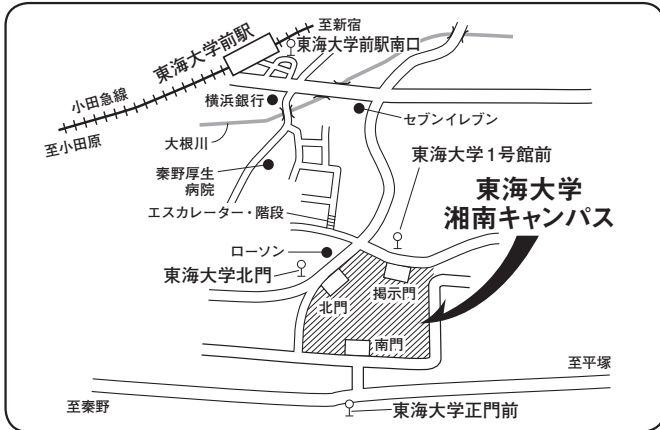
なお、いったん納入した学費・諸会費のうち「入学金」についての返還は、いかなる理由があっても認めません。

4. その他の注意

- (1) 出願後、現住所を変更した場合は、「東海大学 出願・入学手続ヘルプデスク (p. A-1参照)」にお問い合わせください。
- (2) 指定の期日までに入学手続をしない場合は、入学を許可しません。
- (3) 電話で学費・諸会費の振込みをお願いすることは一切ありません。
- (4) 出願資格のうち、卒業(修了)見込み、高等学校卒業程度認定試験に合格見込みで受験し合格した者で、2027年3月末日までに大学入学資格を取得できなかった者は、合格取消となり入学資格を失います。
- (5) 入学年次は、第1セメスター(1年次)とします。
- (6) 出願書類ならびに入学手続上、不正があった場合は、入学後でも合格取消となり入学資格を失います。

13 試験場案内図

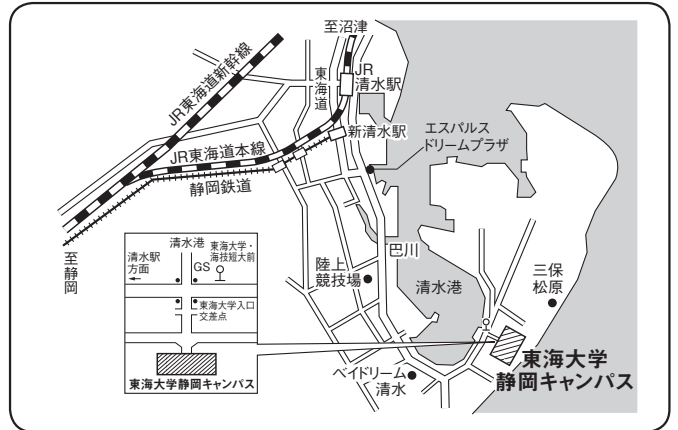
東海大学 湘南キャンパス



神奈川県平塚市北金目4-1-1 電話 0463-58-1211 (代表)

- 小田急線 (急行で新宿より約70分、小田原より約25分) 東海大学前駅 (南口) より徒歩約15分 または、秦野駅行き、下大槻団地行きバス (約5分) にて「東海大学北門」下車すぐ
新宿方面から乗車の場合は、小田原方面行きに乗車してください。同じホームから行先の異なる電車も発車していますので、行先表示を確認のうえ乗車してください。
- JR東海道線 平塚駅より東海大学前駅南口行きバス (約40分) にて「東海大学1号館前」下車すぐ、または秦野駅行きバス (約30分) にて「東海大学正門前」下車 徒歩約5分で南門に到着 (交通事情により時間がかかる場合があります)

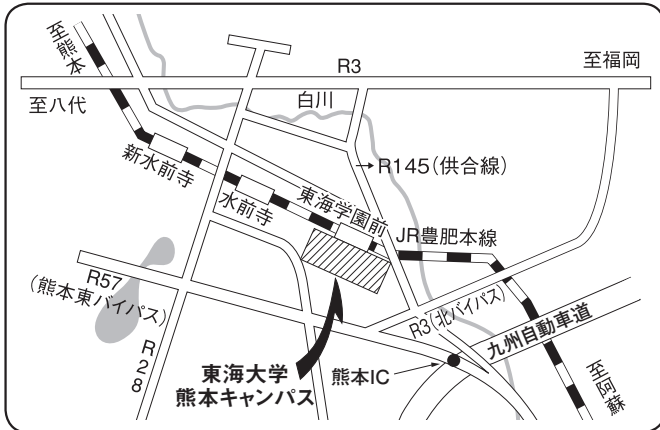
東海大学 静岡キャンパス



静岡県静岡市清水区折戸3-20-1 電話 054-334-0411 (代表)

- JR東海道線 清水駅より、西口 (江尻口) バス停3番乗り場から東海大学三保水族館行き、三保車庫前行き、世界遺産三保松原行きバス (約20分) にて「東海大学・海技短大前」下車 徒歩約2分

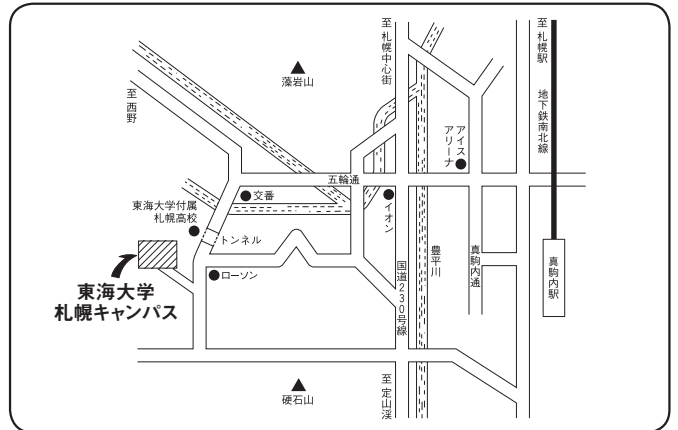
東海大学 熊本キャンパス



熊本県熊本市東区渡鹿9-1-1 電話 096-382-1141 (代表)

- JR豊肥本線 東海学園前駅よりすぐ (駅正面)
- 九州産交バス 系統番号F1-1またはF1-2にて「東海学園前」下車 徒歩約1分
- 自家用車 九州自動車道「熊本IC」より約15分

東海大学 札幌キャンパス



北海道札幌市南区南沢5条1-1-1 電話 011-571-5111 (代表)

- 地下鉄南北線 真駒内駅 (札幌駅より約20分) より、じょうてつバス (南96番または環96番) にて「東海大学前」下車すぐ (所要時間: 南96番約25分、環96番南沢入口先回り約25分、環96番中の沢入口先回り約17分)

I 学費・諸会費

2027年度

(単位：円)

学部・学科等	入学手続と同時納付金 (春学期)						納付金 (秋学期)					総合計	
	学 費						学 費						
	入学金	授業料	実習 実技費	小計	諸会費	合計	授業料	実習 実技費	小計	諸会費	合計		
文学部	150,000	643,000	0	793,000	52,160	845,160	643,000	0	643,000	17,500	660,500	1,505,660	
文化社会学部	150,000	643,000	0	793,000	52,160	845,160	643,000	0	643,000	17,500	660,500	1,505,660	
教養学部	150,000	691,000	0	841,000	52,160	893,160	691,000	0	691,000	17,500	708,500	1,601,660	
児童教育学部	150,000	691,000	0	841,000	52,160	893,160	691,000	0	691,000	17,500	708,500	1,601,660	
体育学部	150,000	691,000	0	841,000	52,160	893,160	691,000	0	691,000	17,500	708,500	1,601,660	
健康学部	150,000	691,000	0	841,000	52,160	893,160	691,000	0	691,000	17,500	708,500	1,601,660	
法学部	150,000	643,000	0	793,000	52,160	845,160	643,000	0	643,000	17,500	660,500	1,505,660	
政治経済学部	150,000	649,000	0	799,000	52,160	851,160	649,000	0	649,000	17,500	666,500	1,517,660	
経営学部	150,000	649,000	0	799,000	52,160	851,160	649,000	0	649,000	17,500	666,500	1,517,660	
国際学部	150,000	649,000	0	799,000	52,160	851,160	649,000	0	649,000	17,500	666,500	1,517,660	
観光学部	150,000	649,000	0	799,000	52,160	851,160	649,000	0	649,000	17,500	666,500	1,517,660	
情報通信学部	150,000	749,000	0	899,000	52,160	951,160	749,000	0	749,000	17,500	766,500	1,717,660	
理学部	150,000	749,000	0	899,000	52,160	951,160	749,000	0	749,000	17,500	766,500	1,717,660	
情報理工学部	150,000	749,000	0	899,000	52,160	951,160	749,000	0	749,000	17,500	766,500	1,717,660	
建築都市学部	150,000	749,000	0	899,000	52,160	951,160	749,000	0	749,000	17,500	766,500	1,717,660	
工学部	航空宇宙学科航空操縦学専攻	150,000	903,000	0	1,053,000	52,160	1,105,160	903,000	0	903,000	17,500	920,500	2,025,660
	医工学科	150,000	749,000	0	899,000	52,870	951,870	749,000	0	749,000	17,500	766,500	1,718,370
	上記以外	150,000	749,000	0	899,000	52,160	951,160	749,000	0	749,000	17,500	766,500	1,717,660
医学部	看護学科	150,000	841,000	0	991,000	52,870	1,043,870	841,000	0	841,000	17,500	858,500	1,902,370
海洋学部		150,000	749,000	40,500	939,500	52,160	991,660	749,000	40,500	789,500	17,500	807,000	1,798,660
人文学部		150,000	643,000	0	793,000	52,160	845,160	643,000	0	643,000	17,500	660,500	1,505,660
文理融合学部	経営学科・地域社会学科	150,000	505,000	0	655,000	52,160	707,160	505,000	0	505,000	17,500	522,500	1,229,660
	人間情報工学科	150,000	505,000	0	655,000	52,870	707,870	505,000	0	505,000	17,500	522,500	1,230,370
農学部		150,000	711,000	0	861,000	52,160	913,160	711,000	0	711,000	17,500	728,500	1,641,660
国際文化学部		150,000	571,000	0	721,000	52,160	773,160	571,000	0	571,000	17,500	588,500	1,361,660
生物学部	生物学科	150,000	691,000	0	841,000	52,160	893,160	691,000	0	691,000	17,500	708,500	1,601,660
	海洋生物科学科	150,000	691,000	35,000	876,000	52,160	928,160	691,000	35,000	726,000	17,500	743,500	1,671,660

学部・学科	入学手続と同時納付金 (春学期)							納付金 (秋学期)						総合計		
	入学金	授業料	教育 運営費	教育 充実費	施設 設備費	小計	諸会費	合計	授業料	教育 運営費	教育 充実費	施設 設備費	小計		諸会費	合計
医学部 医学科	1,000,000	1,095,000	316,000	100,000	1,050,000	3,561,000	259,300	3,820,300	1,095,000	316,000	420,000	1,050,000	2,881,000	21,500	2,902,500	6,722,800

諸会費 内訳

学部・学科	春学期						秋学期				総合計
	学生会費	学園費	学生教育研究 災害傷害保険	保護者 会費	星医 会費	合計	学生会費	学園費	保護者 会費	合計	
医学部 医学科	4,500	43,000	7,800	4,000	200,000	259,300	1,500	16,000	4,000	21,500	280,800
工学部 医工学科											
医学部 看護学科	4,500	43,000	5,370	—	—	52,870	1,500	16,000	—	17,500	70,370
文理融合学部 人間情報工学科											
上記以外	4,500	43,000	4,660	—	—	52,160	1,500	16,000	—	17,500	69,660

（諸会費について）
 ・学生会費（春学期）には、入会金3,000円が含まれています。
 ・学園費は、後援会の入会金・会費、同窓会費です。
 ・学園費のうち同窓会費は、4年間分入学手続時一括納入となります。
 ・学生教育研究災害傷害保険は、4年間分（医学部医学科は6年間分）入学手続時一括納入となります。
 ・保護者会費は、医学部医学科保護者会の連絡費です。
 ・星医会費は、医学部医学科同窓会の終身会費です（医学科1年次春学期のみ）。

注意

- 心理・社会学科を卒業後に一定の条件を満たして公認心理師国家試験の受験資格を得るためには、心理・社会学科で所定の科目を履修し単位を修得しておく必要があります（一部科目に選抜有）。
所定の科目に含まれる心理実習では、別途、実習費を徴収します。
- 工学部航空宇宙学科航空操縦学専攻への入学生については、上表のほかに
 ①航空無線通信士受験料（1年次）、航空従事者学科試験手数料（1年次～2年次）等の費用がかかります（参考：2026年度 40,000円程度）。
 ②留学費用として、2～3年次の留学中における授業料（2025年度は\$117,789程度）や生活費及び家賃、渡米に関わる費用、航空燃料費、追加訓練費等がかかります。
 ※訓練の進捗状況による追加訓練費、米国内での物価・航空燃料費上昇等の理由による追加費用が発生する場合があります。
 ③ノースダコタ大学の実機訓練課程履修者全員に対して奨学金制度があります。
 ※詳細は、入学試験要項p. B-2『奨学金制度』を参照してください。
- 体育学部のうち生涯スポーツ学科は、1年次に実習費が別途かかります。
（参考：2026年度 44,000円程度）
- 医学部看護学科において、保健師国家試験受験資格を取得するためには、所定科目を履修し単位を修得する必要があります（選抜あり）。所定科目の履修者のみにかかる経費について、別途費用が必要となります。
- 海洋学部のうち海洋理工学科航海学専攻の乗船実習課程進学希望者及び乗船実習科目の履修者については、上表の他に乗船実習費が必要となりますが、その金額は乗船実習実施年次に決定します。
（参考：2026年度 3年次秋学期79,000円、4年次秋学期474,000円）
- この他に履修する科目等に応じて、実習費を徴収する場合があります。

* 2年目以降在学中の学費については、諸般の事情及び社会情勢を勘案し、改定することがあります。
 * 在学中の学費・諸会費については、毎年度春学期分は3月下旬から4月上旬頃、秋学期分は8月下旬から9月上旬頃、学費払込案内書を郵送いたします（医学部を除く）。
 * 医学部の学費・諸会費については、自動口座振替になります。毎年度春学期分は4月頃、秋学期分は10月頃、医学部付属病院事務課（財務）より口座振替事前通知書を郵送いたします。
 * 寄付金に関するお知らせ
 教育・研究環境の充実を図るため、任意の寄付をお願いいたしております。ご入学後、改めてお願いをさせていただきますので、何卒ご理解・ご協力をお願いいたします。
 ■ 寄付金のお問い合わせは下記にお願いいたします。
 学校法人 東海大学 募金・寄付金担当
 電話 03-3467-2211（代表）

II 奨学金制度

1. 東海大学奨学金

東海大学では、将来ある優秀な学生に対し、本学独自の奨学金を給付・貸与します。奨学金の種類は下表のとおりです。

(下表は2026年度の予定)

奨学金名	内容		種別	奨学金額 (給付または貸与額)
特待生奨学金 【新入生対象】	学費免除タイプ	「全学部統一選抜(前期)」において奨学金を希望する受験生を対象に、試験の成績が優秀な合格者に対して奨学金を給付します。	給付 (学費減免)	学費免除タイプ：入学金・授業料全額免除 (入学手続き時に減免)
	入学奨励タイプ			入学奨励タイプ：20万円 (入学手続き時に減免)
	留学生一般選抜枠 タイプ	「留学生一般選抜」の受験生を対象に、試験の成績が優秀な合格者に対して奨学金を給付します。	給付 (学費減免)	第1種：入学金・授業料全額免除 (入学手続き時に減免) 第2種：20万円 (入学手続き時に減免)
特待生奨学金 【在学生対象】	学部タイプ	学部生(医学部医学科除く)より募集を行い、前学期までの学業成績、人物等を審査し、優秀な学生に対して奨学金を給付します。1年次は秋学期から、2年次以降は学期ごとに募集します。	給付	学期20万円
	留学生タイプ	私費留学生より募集を行い、前学期までの学業成績、人物等優れた私費留学生に対して奨学金を給付します。1年次は秋学期から、2年次以降は学期ごとに募集します。	給付 (学費減免)	学期20万円
キャンパス間留学 奨学金	キャンパス間留学が許可され、人物・学業成績ともに優れた学生に対して奨学金を給付します。		給付	28万円もしくは14万円(留学タイプまたは 居住形態による) 2万円(短期)
海外派遣留学 スカラシップ	本学と協定を結んだ外国の大学への留学が許可され、人物・学業成績ともに優れた学生に対して奨学金を給付します。		給付	派遣先大学及び留学期間により異なる
工学部航空宇宙学科 航空操縦学専攻 留学奨学金	ノースダコタ大学の実機訓練課程履修者全員に対して奨学金を給付します。		給付	ノースダコタ大学への留学期間中の各セメ スターにつき50万円(総額150万円)
医学部医学科奨学金 (1種)	2年次以上の医学部医学科学生を対象に、人物、学業成績ともに特に優秀であり、かつ、卒業後、本学医学部付属病院機関において活躍が期待される学生に対して奨学金を給付します。		給付	年額120万円(各学期60万円) ※医学部医学科奨学金(2種)・〈ひまわり〉 との併用不可
医学部医学科奨学金 (2種)	2年次以上の医学部医学科学生より募集を行い、応募者より人物、学業成績ともに優秀であり、かつ、卒業後、本学医学部付属病院機関において活躍が期待される学生に対して奨学金を給付します。		給付	年額120万円(各学期60万円) ※医学部医学科奨学金(1種)・〈ひまわり〉 との併用不可
医学部医学科奨学金 〈ひまわり〉	学費納入が困難な2年次以上の医学部医学科学生に対して、その援助を目的に前年度までの成績、人物、経済状況を審査し、かつ、卒業後、本学医学部付属病院機関において活躍が期待される学生に対して奨学金を給付します。		給付	年額120万円(各学期60万円) ※医学部医学科奨学金(1種・2種)との 併用不可
佐藤兼蔵貸与奨学金	医学部医学科・看護学科に在籍する学生で家計支持者の死亡・失職等で家計が急変し、修学困難となった学生に対して奨学金を貸与します。		貸与	医学科は年額300万円、看護学科は年額100 万円を限度として貸与します。 (無利子、長期返還)
望星奨学金	医学部看護学科に在籍し、健康にして、学業成績、人物ともに優れ、経済的支援を必要とする学生に対して奨学金を貸与します。		貸与	月額3万円(年額36万円)

※上表奨学金のうち、特待生奨学金【在学生対象】・キャンパス間留学奨学金・海外派遣留学スカラシップ・医学部医学科奨学金(2種)・〈ひまわり〉・佐藤兼蔵貸与奨学金・望星奨学金は公募し、応募者の中から大学が選考します。募集時期については、入学後にお知らせします。

医学部医学科奨学金(1種)は学業成績・人物・活動内容等を考慮して大学が選考します。

2. 東海大学後援会奨学金

本学には、学生の保護者で組織している後援会という組織があります。天災や火災等で家計が急変したときに後援会が応急的に生活費等を給付する奨学金制度です。

- ・給付金 一時金として5万円または10万円もしくは月額1万円～5万円（最長1年間）

3. 日本学生支援機構貸与奨学金

学力・家計基準を満たしており経済的理由により修学困難な学生に対して、奨学金を貸与します。

- ・第一種奨学金（無利子貸与制度）

貸与月額 自宅通学者：2万円、3万円、4万円、5.4万円*から選択できます。
 自宅外通学者：2万円、3万円、4万円、5万円、6.4万円*から選択できます。
 *申込時の家計が併用貸与の家計基準に該当する場合のみ選択可能です。

- ・第二種奨学金（有利子貸与制度）

貸与月額 2万円～12万円（1万円単位）から選択できます。
 *利子：在学中は無利子、卒業後は年3%を上限とする有利子

※第一種奨学金と第二種奨学金との併用貸与ができます。修学支援新制度による給付奨学金と併せて第一種奨学金の貸与を受ける場合、併給調整として貸与を受けられる月額の上限額が調整されます。

※医学部医学科については、第二種奨学金で12万円貸与者は希望により、さらに4万円の増額貸与を受けることができます。

4. 高等教育の修学支援新制度

非課税世帯及びそれに準ずる世帯や多子世帯の学生や理工農の学部学科所属の学生に対して、授業料等減免・給付奨学金の支援を行います。

- ・授業料等減免
 - 入学金減免額：年額上限 26万円（1回限り）
 - 授業料減免額：年額上限 70万円
- ・給付奨学金（日本学生支援機構より給付）
 - 自宅通学者：月額上限 38,300円
 - 自宅外通学者：月額上限 75,800円

※住民税非課税世帯に準ずる世帯の学生は、上記の額の2/3または1/3の支給額となります。

※入学手続き時には、所定の金額を納付していただき、入学後に減免額を還付する予定です。

※給付・減免額や対象条件等の詳細については、本学オフィシャルサイトをご確認ください。

5. 地方公共団体・一般育英団体奨学金

地方公共団体（都道府県・市町村）や、企業・財団等でも独自の奨学金制度を設けています（本学をとおして取り扱っている団体約50団体）。

下記の「未来のパイロット」もその一つとして取り扱っています。

未来のパイロット	東海大学をはじめ指定する日本国内の私立大学や専門学校のパイロット養成課程に在籍し、成績や英語能力評価等の要件を満たして審査に合格した学生に対し、奨学金を貸与します。詳しくは本学オフィシャルサイトに掲載の募集要項をご覧ください。 2025年度実績：5名	貸与	実機訓練費用として500万円の奨学金を一括貸与します。（卒業予定年月の翌月から10年間の返済となります）。
----------	--	----	---

■ お問い合わせ先

奨学金制度については、東海大学奨学金担当にお問い合わせください。

電話 0463-63-4560（直通）

〔医学部の奨学金については、メディカルサイエンスカレッジオフィス（教学）にお問い合わせください。〕
 〔電話 0463-93-1121（代表）〕

III 個人情報情報の活用について

本学で取得した個人情報の利用方法は、以下のとおりといたします。

- ・入学選抜、学生証交付等、出願から入学までの一連の業務とそれらの各種連絡通知及び統計集計（本学における教育改善、学術研究を目的とした利用を含む）。
- ・入学後の修学（履修登録、名簿作成、学業成績等）、学籍（学籍処理、証明書発行、学位記（卒業証書）発行等）、学生生活（奨学生選考、健康診断、各種登録申請、施設利用等）に関する業務とそれらの各種連絡通知及び統計集計（本学における教育改善、学術研究を目的とした利用を含む）。
- ・統計集計結果の公表は、個人が特定されないよう匿名化された情報に限ります。

※上記、一連の業務を外部に委託する場合は、委託業務運営が健全に行われていることを事前に確認し、機密保持の守秘義務を定めた契約を締結して適正に管理・監督いたします（統計処理に当たり、外部の個人情報を活用する、または本学が取得した個人情報を外部に委託し、統計集計を行うことを含む）。

課題

文学部	C-2	経営学部	C-26	海洋学部	C-47
文化社会学部	C-8	国際学部	C-27	人文学部	C-51
教養学部	C-14	観光学部	C-28	文理融合学部	C-52
児童教育学部	C-16	情報通信学部	C-29	農学部	C-55
体育学部	C-17	理学部	C-30	国際文化学部	C-58
健康学部	C-22	情報理工学部	C-34	生物学部	C-60
法学部	C-23	建築都市学部	C-37		
政治経済学部	C-24	工学部	C-39		

課題設定について

高校で取り組んだ探究活動の成果や、志望学科への理解・関心の深さをよりの確に評価するため、次の3つのタイプを中心に課題を設定しています。

〈探究課題タイプ〉

学科・専攻が提示する「学科の学びにつながるテーマ」の中から、興味のあるものを選び、レポートを作成する形式です。課題には各学科・専攻が、その分野でぜひ興味・関心を持ってほしいと考える具体的なテーマ例やヒントが示されています。また、これらは高校での探究活動の研究テーマとして活用することも想定し、テーマを深めて報告する際の着眼点を、レポートを作成する際のポイントとして提示しています。

〈探究活動報告タイプ〉

高校での「総合的な探究の時間」や「課外活動」等で、これまで取り組んできた活動の成果を報告する形式です。自身の探究活動を振り返り、その活動を志望する学科・専攻での学びにどのようにつなげていきたいのかをまとめてください。

〈高大接続タイプ〉

オープンキャンパスで実施される「高大接続講義」や、各学科・専攻が独自に設定した日程で行う「ワークショップ」に参加し、その体験をもとに課題に取り組む形式です。大学の学びを実際に体験しながら、入学後の学習をより具体的にイメージできる点が特徴です。
※文化社会学部文芸創作学科、広報メディア学科、体育学部スポーツ・レジャーマネジメント学科、工学部航空宇宙学科航空操縦学専攻では、探究形式ではなく学科が設定した課題に取り組む形式〈学科設定課題タイプ〉の課題のみを設定しています。

課題作成上の注意

課題の内容等について、出願後の追記・修正・添付資料の追加等の申し出は一切認めません。

出願する際に、再度各学科・専攻が指定する課題の形式を確認してください。

- 注意**
- 各学科・専攻ごとに課題作成における「形式」が異なります。指定された「形式」以外で提出された場合は、評価に影響します。
 - 課題の作成にあたり、ホームページ・参考書の図や資料等を用いたり、他人の文章を引用したりする場合には、必ずその出典（著者名、題名、出版年、ページ等）を明記し、あなたの考えや意見との区別がわかるようにしてください。
 - 課題の作成にあたり、現地調査や団体等を訪れる際は、訪問先に目的を告げ、その目的以外には調査の内容を使用しない旨を必ず説明してください。また、相手や周りの人たちに迷惑をかけないようにしてください。
 - 手書き用の課題提出用紙は、原稿用紙とレポート用紙がありますので、各学科・専攻の指定を確認してください。課題提出用原稿（レポート）用紙は、必要に応じて複写して使用してください。
 - 原稿（レポート）用紙は、本学所定のものに限定しません。市販の原稿用紙や、パソコン等で作成する場合は、A4用紙を使用し作成してください。
ただし、以下の項目については、必ず原稿（レポート）用紙1ページ目の1行目に明記してください。
 - 「課題番号（志望する学科・専攻において、課題が選択できる場合）」
 - 「タイトル（志望する学科・専攻において、課題にタイトルをつけるよう指示がある場合）」
 - 「氏名」及び「志望学部・学科・専攻」

【記入例】 課題番号：(2) タイトル：「裁判員制度の課題」 氏名：東海二郎 志望：法学部法律学科

- 課題が複数枚にわたる場合は、すべての用紙にページ番号を記入のうえ、左上（タテ書きの場合は右上）をホッチキスでとめてください。

■ 課題

下記の3つの課題(1)～(3)から、あなたが入学後文明学科で学びたいことと関連しそうなものを1つ選び、所定の形式に沿って作成したものを提出してください。

〈探究課題タイプ〉

- (1) 古今東西の思想家の中から1人を選び、その生涯や思想内容についてまとめてください。
- (2) 現代の科学技術の発達は、私たちの生活にさまざまな恩恵をもたらしています。それと同時に多くの害悪をもたらしていることも否めません。あなた自身の衣食住などの生活環境を観察し、科学技術がもたらす恩恵と害悪の例を挙げるとともに、意見を述べてください。
- (3) これからの日本は、どのようになっていくのでしょうか。今から50年後におおよそ70歳になったあなたを想定して、その時代の家族・経済・社会などの姿について述べ、これから社会として備えるべきことに関して意見を述べてください。

■ 形式

- ・手書きの場合：A4原稿用紙(ヨコ書き、20字×20行)、2,000字～2,500字
- ・パソコン等で作成する場合：A4用紙(ヨコ書き、25字×20行)、2,000字～2,500字
- ・図表を用いる場合は、文章とは別にしてA4用紙にまとめてください。なお、図表は指定された字数には含まれません。

■ 課題についての第一次選考での主な評価ポイント

- ・課題を正しく受けとめて、テーマを具体的に絞り込んでいるか。
- ・自分自身の考えで、あなたらしい考察・理解がなされているか。
- ・日本語として簡潔で論理的な文章になっているか。

■ 第二次選考について

第二次選考では、上記課題についての「課題発表(プレゼンテーション)(質疑応答含む)」及び「面接試験(口述試験含む)」を合わせて25分程度行います。課題発表は10分程度とし、それに対する質疑応答を5分程度及び面接試験(口述試験含む)を10分程度行います。

口述試験内容は、p. A-9『口述試験要領』を参照してください。

【 必：必須 ○：可能 ×：不可 】 課題発表で使用した資料等は回収しませんので、各自必ず持ち帰ってください。

第二次選考の課題発表(プレゼンテーション)で利用できる機器等について

①模造紙、ポスター	○	模造紙：四六判(788mm×1091mm)2枚程度 ポスター：B1またはA0サイズ2枚程度
②パソコン、プロジェクター	×	
③スケッチブック、フリップボード	○	
④配付資料	○	サイズ・枚数自由、3部(面接者2部、受験生1部)
⑤その他	×	
*発表用原稿(メモ等を含む)	○	発表時に原稿やメモを見ても構いませんが、棒読みは避けてください。

※「①」、「③」、「④」の中であなたが選択したいいずれかの発表形式で準備してください。なお、「①」、「③」、「④」の組み合わせも認めます。

〈備考〉

- ・模造紙や配付資料・スケッチブック等、作成した資料も評価の対象になります。
- ・テーマに関する説明、図、写真、表、地図やデータをまとめ、それらを模造紙や配付資料・スケッチブックに掲載してください。

■ 課題

大学における日本史の学びは、ただ暗記するだけでは成立しません。文献や史料を読み解き、新たな発見をとおしてオリジナルな歴史像を描くとともに、その意義を他者に説明することが求められます。

そのため本専攻では、興味や関心に基づいて課題を設定し、その課題を解き明かすための方法を検討して取り組み、そこから得られた成果を、論理的な文章にまとめたり、工夫しながらわかりやすくプレゼンテーションしたりすることができる力を重視しています。

下記の課題について、所定の形式に沿って作成したものを提出してください。

〈探究課題タイプ〉

日本史上であなたが関心のあるテーマ（制度、人物、事件など）について、複数の書物（教科書や受験参考書は除く）を読んで、2,000字程度のレポートにまとめてください。その際、以下の点に注意してください。

- ① そのテーマのどのような点に関心があるのか、必ず明記してください。
- ② あなたの考えを必ず明記してください。
- ③ (例) にならって、レポート作成に際して活用した文献の著者名・書名・出版社・出版年をレポートの文末にまとめて必ず明記してください。なお、ページを改める必要はありません。また、指定の字数には含みません。
(例) 坂井孝一『承久の乱 真の「武者の世」を告げる大乱』(中央公論新社、2018年)
神田千里『織田信長』(筑摩書房、2014年)
- ④ インターネット上に公開された文章、図表などをそのまま引用することはできません。

■ 形式

- ・必ずタイトルをつけてください。
- ・手書きの場合：A4原稿用紙（ヨコ書き、20字×20行）5枚程度、2,000字程度
- ・パソコン等で作成する場合：A4用紙（ヨコ書き、40字×30行）2枚程度、2,000字程度
- ・図表を用いる場合は、文章とは別にしてA4用紙にまとめてください。なお、図表は指定された字数・枚数には含みません。

■ 課題についての第一次選考での主な評価ポイント

- ・テーマ（関心のある制度、人物、事件など）を選択した理由が明確に示されているか。
- ・調べた内容だけでなく、あなたの意見も明記されているか。
- ・活用した文献が課題との関連で適切なものであるか。
- ・誤字・脱字や文法上の誤りがなく、論理的な文章になっているか。

■ 第二次選考について

第二次選考では、上記課題についての「課題発表（プレゼンテーション）（質疑応答含む）」及び「面接試験（口述試験含む）」を合わせて25分程度行います。課題発表は10分程度とし、それに対する質疑応答を5分程度及び面接試験（口述試験含む）を10分程度行います。

口述試験内容は、p. A-9『口述試験要領』を参照してください。

【 必：必須 ○：可能 ×：不可 】 課題発表で使用した資料等は回収しませんので、各自必ず持ち帰ってください。

第二次選考の課題発表〈プレゼンテーション〉で利用できる機器等について

① 模造紙、ポスター	必	四六判（788mm×1091mm）2枚程度 *ポスターは使用不可
② パソコン、プロジェクター	×	
③ スケッチブック、フリップボード	○	*フリップボードは使用不可
④ 配付資料	×	
⑤ その他	×	
*発表用原稿（メモ等を含む）	○	発表時に原稿やメモを見ても構いませんが、棒読みは避けてください。

※「①」の発表形式で準備してください。なお、必要に応じて「③」の使用も認めます。

〈備考〉

- ・提出した課題（レポート）の内容について説明できるように準備してください。
- ・準備に際しては課題の内容を、図や表を加えて模造紙（2枚程度）にまとめ、課題発表の際、それを資料として使いながら説明してください。

■ 課題

歴史学科西洋史専攻は、過去の歴史からの学びを根拠に、現代社会に対して自分なりに意義ある提案をできる人間を育成することをめざします。

下記の課題について、所定の形式に沿って作成したものを提出してください。

〈探究課題タイプ〉

西洋史の各時代（古代～現代）の中であなたが関心を持っているテーマ（政治史、事件史、社会史、宗教史、経済史、文化史、女性史、民衆史など）について、2冊以上の文献（世界史の教科書、学習参考書、事典は除く）を使って深く調べ、3,000字程度にまとめてください。その際、以下の点に注意してください。

- ①テーマを選んだ動機や理由を最初に明記してください。
- ②得られた結果についてのあなたの考察を明記してください。
- ③結論を書いてください。
- ④使用した文献の著者・書名・出版社・出版年を必ず文末にまとめて（例）にならって明記してください。
 （例）芝健介『ホロコーストナチスによるユダヤ人大量殺戮の全貌一』（中公新書 2008年）
 ロバート・ジュラテリー（根岸隆夫 訳）『ヒトラーを支持したドイツ国民』（みすず書房 2008年）

■ 形式

- ・必ずタイトルをつけてください。
- ・手書きのみ：A4原稿用紙（ヨコ書き、20字×20行）、3,000字程度
- ・図表を用いる場合は、文章とは別にしてA4用紙にまとめてください。なお、図表・参考文献は、指定された字数には含みません。

■ 課題についての第一次選考での主な評価ポイント

- ・テーマを選んだ動機や理由が、明確にかつわかりやすく書かれているか。
- ・使用した文献を読みこなし、理解しているか。
- ・単に調べた内容を明記しただけでなく、調べた内容に基づいたあなたの考察を論理的に述べているか。
- ・結論は本論の内容に基づいて書かれているか、主観的な感想だけになっていないか。
- ・誤字・脱字がなく、段落・改行や句読点つけがきちんとなされているか。

■ 第二次選考について

第二次選考では、上記課題についての「課題発表（プレゼンテーション）（質疑応答含む）」及び「面接試験（口述試験含む）」を合わせて25分程度行います。課題発表は12分程度とし、それに対する質疑応答を8分程度及び面接試験（口述試験含む）を5分程度行います。

口述試験内容は、p. A-9『口述試験要領』を参照してください。

【 必：必須 ○：可能 ×：不可 】 課題発表で使用した資料等は回収しませんので、各自必ず持ち帰ってください。

第二次選考の課題発表（プレゼンテーション）で使用できる機器等について

①模造紙、ポスター	必	四六判（788mm×1091mm）3～4枚 *ポスターは使用不可
②パソコン、プロジェクター	×	
③スケッチブック、フリップボード	×	
④配付資料	×	
⑤その他	×	
*発表用原稿（メモ等を含む）	○	発表時に原稿やメモを見ても構いませんが、棒読みは避けてください。

※「①」の発表形式で準備してください。

〈備考〉

- ・課題発表の際、テーマに関する説明・図・写真・表・地図やデータを模造紙にまとめ、それを黒板等に貼りつけて資料として使いながら面接者の前で説明してください。
- ・模造紙に作成した資料も評価の対象になります。

■ 課題

下記の課題について、所定の形式に沿って作成したものを提出してください。

〈探究課題タイプ〉

あなたの住んでいる地域（市町村内や、広く見た場合には都道府県内）の遺跡を博物館や書籍、インターネットを使って探し、その遺跡を題材にして以下の3項目を調べ、その結果をもとにして、あなたが学んだことや考えたことを、レポートにまとめてください。

- ①その遺跡はいつごろのもので、集落・古墳・墓・窯跡など、どのように使われたと考えられるのか。周辺に同時代の類似した遺跡はあるか。
- ②その遺跡が作られた時代の特徴はどのようなものと考えられているか。
- ③その遺跡は、なぜその場所に作られたと考えられるか。

遺跡の場所を確認するには、必ず実際に遺跡を訪問してください。そのうえで、遺跡の立地について、地図中に記録する、インターネットの地図検索サイトを使用するなど、あなた独自の工夫をして確認してください。なお、使用した参考文献（『〇〇県史』、『〇〇市史』、各種歴史関連図書や文献、発掘調査報告書、インターネットサイトなど）について、課題の文末に「参考文献」として必ず明記してください。

■ 形式

- ・必ずタイトルをつけてください。
- ・手書きのみ：A4原稿用紙（ヨコ書き、20字×20行）6枚程度、2,400字程度
- ・「参考文献」及び図表や写真については、指定された字数・枚数には含まれません。本文とは別にしてA4用紙にまとめて提出してください。

■ 課題についての第一次選考での主な評価ポイント

- ・遺跡・遺物に触れた「実感」が具体的に文章や図・写真などを用いて表現されているか。
- ・調べた諸項目について論理的にまとめられているか。
- ・課題に取り組むうえで抱いた自分の疑問や考え、意見が明確に記述されているか。
- ・参考文献の内容を正確に理解しているか。

■ 第二次選考について

第二次選考では、上記課題についての「課題発表（プレゼンテーション）（質疑応答含む）」及び「面接試験（口述試験含む）」を合わせて25分程度行います。課題発表は10分程度とし、それに対する質疑応答を5分程度及び面接試験（口述試験含む）を10分程度行います。

口述試験内容は、p. A-9『口述試験要領』を参照してください。

【 必：必須 ○：可能 ×：不可 】 課題発表で使用した資料等は回収しませんので、各自必ず持ち帰ってください。

第二次選考の課題発表（プレゼンテーション）で使用できる機器等について

①模造紙、ポスター	必	四六判（788mm×1091mm）2枚以内 *ポスターは使用不可
②パソコン、プロジェクター	×	
③スケッチブック、フリップボード	×	
④配付資料	×	
⑤その他	×	
*発表用原稿（メモ等を含む）	○	発表時に原稿やメモを見ても構いませんが、棒読みは避けてください。

※「①」の発表形式で準備してください。

〈備考〉

- ・質疑応答では、あなたの調べた課題内容、関連する基礎的な歴史知識（高等学校教科書の範囲）について質問します。

■ 課題

下記の課題について、所定の形式に沿って作成したものを提出してください。

〈探究課題タイプ〉

日本語の文学作品（古典・近現代を問わないが、翻訳は除く。また、2000年以後に発表された作品を主要な題材とすることは不可。）の中から「雪」にかかわる作品を選び、「雪」がその作品の中で果たしている効果や表現の特色について、以下の①～④を含めて調査や考察をまじえて論じてください。

- ①そのテーマに関心を持った理由
- ②調べたことで得られた結果
- ③得られた結果についてのあなたの考察・感想
- ④このテーマの探究活動で参考にした参考文献（書籍やその他の資料）

■ 形式

- ・必ずタイトルをつけてください。
- ・手書きの場合：A4原稿用紙（タテ書き、20字×20行）4枚程度、1,600字程度
- ・パソコン等で作成する場合：A4用紙（タテ書き、40字×40行）1枚程度、1,600字程度
- ・写真や表は指定された枚数に含みません。【図1】【表1】等のキャプション（見出し）をつけ、別紙（A4用紙）にまとめてください。

※手書きでもパソコン等での作成でも、行数の多少の増減は認めます。参考文献は行数に含みません。

■ 課題についての第一次選考での主な評価ポイント

- ・論じた内容を的確に表すわかりやすいタイトルがつけられているか（本題に副題を添えても構わない）。
（例）『「百人一首」における雪——表現の特徴——』、「宮沢賢治『雪渡り』——歌の役割について——」
- ・全体の構成が「問題提起（注目した場面についての説明等）」「検証（注目した場面についての解析）」「結論（解析結果と自分の意見及びその証明）」という論理的展開になっているか。
- ・特定の文学作品を取りあげ論じつつ、文学や日本語全体にかかわるような大きなテーマが見えるように論じられたか。
- ・誤字・脱字、文法上の誤りはないか。
- ・使用した文献等の内容を理解し、適切に引用できているか。
- ・作品の読解が的確で客観性を保っているか（自説の証明に成功しているか）。

■ 第二次選考について

第二次選考では、上記課題についての「課題発表〈プレゼンテーション〉（質疑応答含む）」及び「面接試験（口述試験含む）」を合わせて25分程度行います。課題発表は10分程度とし、それに対する質疑応答を5分程度及び面接試験（口述試験含む）を10分程度行います。

口述試験内容は、p. A-9『口述試験要領』を参照してください。

【 必：必須 ○：可能 ×：不可 】 課題発表で使用した資料等は回収しませんので、各自必ず持ち帰ってください。

第二次選考の課題発表〈プレゼンテーション〉で使用できる機器等について

①模造紙、ポスター	○	サイズ・枚数自由
②パソコン、プロジェクター	○	パソコンは各自で用意してください。プロジェクターは大学で準備します。パソコンはHDMI端子のケーブルが接続可能なものを持参してください（変換コネクタの持参可）。発表データはパソコンに保存しておいてください。万一の場合に備え、スライドを印刷した資料を3部持参してください。
③スケッチブック、フリップボード	○	
④配付資料	必	B4サイズ3枚以内、3部（面接者2部、受験生1部） ※タテ書きで作成してください。
⑤その他	×	
*発表用原稿（メモ等を含む）	○	発表時に原稿やメモを見ても構いませんが、棒読みは避けてください。

※「④」の発表形式で準備してください。なお「①と④」、「②と④」、「③と④」の組み合わせも認めます。

■ 課題

下記の課題について、所定の形式に沿って作成したものを提出してください。

〈探究課題タイプ〉

2020年から実施されている現行の学習指導要領では「国語教育と英語教育の連携」が推奨されています。母国語である日本語と外国語である英語をどのようにバランスよく学べばよいのでしょうか。以下の2点を踏まえて、あなたの考えを述べてください。

- ①あなたが経験した国語教育や英語教育の事例を提示すること
- ②複数の参考図書や文献に書かれていたことを引用し、論点を整理し、あなたの考えと関連付けること

■ 形式

- ・手書きのみ：A4原稿用紙（ヨコ書き、20字×20行）4枚程度、1,600字程度
- ・使用した参考文献を、原稿用紙の最終ページに記入してください。参考文献が最終ページに収めきれない場合は、最終ページの裏面にも書いて構いません。参考文献は、指定された字数には含みません。なお、インターネット上の情報は参考文献として認めません。
- ・AIを使用した文章は認められません。

■ 課題についての第一次選考での主な評価ポイント

- ・内容が首尾一貫し、まとまっているか。
- ・問題意識をもって取り組んでいるか。
- ・参考文献を調べ、適切な部分を引用しているか。
- ・自分の意見が提示できているか。
- ・誤字・脱字がなく、段落・改行や句読点つけがきちんとされているか。

■ 第二次選考について

第二次選考では、上記課題についての「英語による課題発表（プレゼンテーション）（質疑応答含む）」及び「面接試験（口述試験含む）」を合わせて25分程度行います。課題発表は5分程度とし、それに対する質疑応答を10分程度及び面接試験（口述試験含む）を10分程度行います。

口述試験内容は、p. A-9『口述試験要領』を参照してください。

【 必：必須 ○：可能 ×：不可 】 課題発表で使用した資料等は回収しませんので、各自必ず持ち帰ってください。

第二次選考の課題発表〈プレゼンテーション〉で利用できる機器等について

①模造紙、ポスター	×	
②パソコン、プロジェクター	×	
③スケッチブック、フリップボード	×	
④配付資料	×	
⑤その他	×	
*発表用原稿（メモ等を含む）	×	発表時に原稿やメモを見ることはできません。

〈備考〉

- ・提出した課題について英語でプレゼンテーション（口頭発表）をしてもらいます。
英語で原稿を作り、発音も含めて発表の練習を重ねたうえで、原稿を見ずに発表してください。
- ・プレゼンテーション（口頭発表）の後、内容について英語による質疑応答を行います。

文化社会学部

アジア学科

●湘南キャンパス

課題

下記の課題について、所定の形式に沿って作成したものを提出してください。

〈探究課題タイプ〉

アジアに関してはさまざまなテーマがあります。躍動する東南アジア経済、中国の地域環境、三国志などの歴史群像、韓国の大衆文化、インド映画、中東和平、アジアの言語政策、アジア各地の世界遺産などがその例です。あなたが最も関心を寄せるテーマを1つ設定し、以下の4点が明らかになるようにレポートを作成してください。

- ①そのテーマに関心を寄せるようになった理由
- ②そのテーマを深く理解するために用いた参考文献（本やその他の資料）
- ③調べたことで得られた結果
- ④その結果に対するあなた自身の意見

〔注意〕

ここでいう「アジア」は、アジア学科のカリキュラムに即して、エジプト・北アフリカ地域を含みます。日本は含まないので注意してください。

説明のため、図表や写真のコピーなどを添付しても構いません。

課題は提出前に自分用としてコピーを1部とり、第二次選考試験日に持参してください。

形式

- ・課題の冒頭にはタイトルを必ず明記し、本文ではまとまりごとに見出しをつけてください。
- ・手書きの場合：A4原稿用紙（ヨコ書き、20字×20行）5枚程度、2,000字程度
- ・パソコン等で作成する場合：A4用紙（ヨコ書き、40字×20行）3枚程度、2,000字程度
- ・参考文献は文章・図表と別にして、著者名・書名・出版社名・出版年を明記してA4用紙にまとめてください。なお、参考文献は指定された字数・枚数に含みません。
- ・図表・写真を用いる場合は、文章とは別にしてA4用紙3枚以内にまとめてください。なお、図表などは指定された字数・枚数に含みません。

課題についての第一次選考での主な評価ポイント

- ・あなたの興味や関心、テーマの選択理由が明記されているか。
- ・参考文献を十分に読んだうえで作成しているか。
- ・参考文献が明記されているか、また調べた方法が明示されているか。
- ・調べた結果、どのような知見が得られたのか明記されているか。
- ・あなたの意見、今後の研究の方向性などが明記されているか。

第二次選考について

第二次選考では、上記課題についての「課題発表（プレゼンテーション）（質疑応答含む）」及び「面接試験（口述試験含む）」を合わせて25分程度行います。課題発表は10分程度とし、それに対する質疑応答を5分程度及び面接試験（口述試験含む）を10分程度行います。

口述試験内容は、p. A-9『口述試験要領』を参照してください。

【 必：必須 ○：可能 ×：不可 】 課題発表で使用した資料等は回収しませんので、各自必ず持ち帰ってください。

第二次選考の課題発表（プレゼンテーション）で利用できる機器等について

①模造紙、ポスター	○	サイズ・枚数自由
②パソコン、プロジェクター	×	
③スケッチブック、フリップボード	○	
④配付資料	○	サイズ・枚数自由、3部（面接者2部、受験生1部）
⑤その他	○	工作物
*発表用原稿（メモ等を含む）	○	発表時に原稿やメモを見ても構いませんが、棒読みは避けてください。

※「①」、「③」、「④」の中であなたが選択したいいずれかの発表形式で準備してください。なお、「①」、「③」、「④」の組み合わせも認めます。必要に応じて「⑤」の提示も認めます。

■ 課題

下記の課題について、所定の形式に沿って作成したものを提出してください。

〈探究課題タイプ〉

ヨーロッパやアメリカの地域・文化を理解するための研究旅行計画を立案してください。文化や歴史などについて、あなたなりの視点から旅行の目的を設定し、滞在日数12日以内の旅行計画案を作成してください。以下の①～⑤を含めてレポートにまとめてください。

- ①あなたがその研究旅行先を選んだ理由や動機を最初に明記してください。
- ②研究旅行の目的を設定し、その目的のために重要と思われる見学先を選んでください。
- ③移動の手段や所要時間についても具体的に考慮してください。
- ④研究旅行を通じて得られるであろう成果を記してください。
- ⑤末尾にこの課題を探究するために用いた参考文献（書籍やその他の資料）を記してください。

(例)・キリスト教をテーマにするなら、カトリックの中心、サン・ピエトロ大聖堂とヴァチカン博物館だけでなく、プロテスタントの史跡を訪ねて、ルターが活躍したヴィッテンベルクの宗教改革博物館に行くなど、幅広い視点にたった計画を立てるのも一案です。

・人種差別をテーマにするなら、アメリカ黒人の歴史をワシントン DC の国立アフリカ系アメリカ人歴史文化博物館で学んだあと、ミネアポリスでジョージ・フロイド殺害事件（2020年）の追悼地に行き、さらに奴隷貿易の拠点であった英国リバプールやフランスのナントを訪れるといった案も考えられます。

■ 形式

- ・パソコン等での作成のみ：A4用紙（ヨコ書き、1枚1,000字～1,200字）、2,000～3,000字程度
- ・地図や図表を用いても構いません（途中に挿入しても、最後にまとめてよい）。原則としてヨコ書きで、形式は自由です。各自でレイアウトを考えてください。

■ 課題についての第一次選考での主な評価ポイント

- ・研究旅行の目的が明確で、かつ旅程が具体的であるか。
- ・目的に応じた訪問先が設定されているか（とくに複数の訪問先が相互に関連していること）。
- ・その旅行を通じて得られるであろう成果について、自分なりに考えをまとめているか。

■ 第二次選考について

第二次選考では、上記課題についての「課題発表（プレゼンテーション）（質疑応答含む）」及び「面接試験（口述試験含む）」を合わせて25分程度行います。課題発表は10分程度とし、それに対する質疑応答を5分程度及び面接試験（口述試験含む）を10分程度行います。

口述試験内容は、p. A-9『口述試験要領』を参照してください。

【 必：必須 ○：可能 ×：不可 】 課題発表で使用した資料等は回収しませんので、各自必ず持ち帰ってください。

第二次選考の課題発表（プレゼンテーション）で利用できる機器等について

①模造紙、ポスター	○	サイズ・枚数自由
②パソコン、プロジェクター	×	
③スケッチブック、フリップボード	○	
④配付資料	×	
⑤その他	×	
*発表用原稿（メモ等を含む）	○	発表時に原稿やメモを見ても構いませんが、棒読みは避けてください。

※「①」、「③」の中であなたが選択したいいずれかの発表形式で準備してください。なお、「①」、「③」の組み合わせも認めます。

文化社会学部 北欧学科

●湘南キャンパス

■ 課題

下記の課題について、所定の形式に沿って作成したものを提出してください。

〈探究課題タイプ〉

北欧に関連するさまざまな事柄（例えば北欧の言語・歴史・文化・社会など分野は問いません）の中であなたが最も関心を寄せるテーマを1つ選び、以下の4項目が明らかになるようにレポートを書いてください。

- ①そのテーマに関心を寄せるようになった理由
- ②テーマに関連した図書（2冊以上）と、そのテーマをさらに深く理解するために実施した調査（例：資料調査、インタビュー調査）
- ③調べたことで得られた結果（知識や経験等）
- ④その結果に対するあなた自身の考え

■ 形式

- ・必ずタイトルをつけてください。
- ・手書きの場合：A4原稿用紙（ヨコ書き、20字×20行）5枚程度
- ・パソコン等で作成する場合：A4用紙（ヨコ書き、1枚あたりの文字数は自由）2,000字程度
- ・図表を用いる場合は、文章とは別にしてA4用紙にまとめてください。なお、図表は指定された字数・枚数には含みません。
- ・原稿の最後に参考文献・資料を明記してください。なお、参考文献・資料は指定された字数・枚数には含みません。

■ 課題についての第一次選考での主な評価ポイント

- ・テーマの選択理由が説得力をもって書かれているか。
- ・参考文献や資料がどのようなものか、あるいは調査の方法がどのようなものかがしっかりと説明されているか。
- ・調査によってわかったことが明確に示されているか。
- ・あなたの考えが明確に示されているか。
- ・表現や書き方がレポートとしてふさわしいものであるか。

■ 第二次選考について

第二次選考では、上記課題についての「課題発表（プレゼンテーション）（質疑応答含む）」及び「面接試験（口述試験含む）」を合わせて25分程度行います。課題発表は10分程度とし、それに対する質疑応答を5分程度及び面接試験（口述試験含む）を10分程度行います。

口述試験内容は、p. A-9『口述試験要領』を参照してください。

【 必：必須 ○：可能 ×：不可 】 課題発表で使用した資料等は回収しませんので、各自必ず持ち帰ってください。

第二次選考の課題発表（プレゼンテーション）で使用できる機器等について

①模造紙、ポスター	○	模造紙：四六判（788mm×1091mm）2～3枚 ポスター：A2サイズ2枚
②パソコン、プロジェクター	○	パソコン、プロジェクターは大学で準備します。 Windows版のPowerPoint2016以降のバージョンで作成したファイルをUSBメモリに保存して持参してください。 万一の場合に備え、スライドを印刷した資料を3部持参してください。
③スケッチブック、フリップボード	○	
④配付資料	○	サイズ・枚数自由、3部（面接者2部、受験生1部）
⑤その他	×	
*発表用原稿（メモ等を含む）	○	発表時に原稿やメモを見ても構いませんが、棒読みは避けてください。

※「①」、「②」、「③」、「④」の中であなたが選択したいいずれかの発表形式で準備してください。なお、「①」、「②」、「③」、「④」の組み合わせも認めます。

〈備考〉

課題発表での主なポイント

- ・第一次選考より深められているか
- ・十分に準備をした発表となっているか（資料・時間・発表態度）

■ 課題

下記の2つの課題 1. と 2. について、所定の形式に沿って作成したものをそれぞれ提出してください。

〈学科設定課題タイプ〉

- 以下のA)～C) から1つを選び、1,600字程度の文章にまとめなさい。
 - 芥川龍之介『河童』を読み、この小説に書かれた河童の国から「この国に移住して文化庁長官になり、文化政策全般を取りしきってほしい」という申し出をうけたとしたら、あなたはどうかたえるか。その「こたえ」と、そのようにこたえた理由を書きなさい。
 - 江國香織『デューク』を読み、「デュークの生まれかわりのようだった少年」から、出会いの一週間後に手紙が届いたとして、その手紙の文面を考え、そのような文面にしたあなたの意図もあわせて書いてください。
※『デューク』は、『つめたいよるに』（新潮文庫）に収録されている。
 - ジェイムズ・ジョイスの『ダブリンの人びと』の中から、あなたの心にもっとも印象が残った一編を選び、その作品が印象的だった理由を、あなたの個人的エピソードを挙げつつ説明しなさい。
※『ダブリンの人びと』には翻訳が各種あり、それらは『ダブリナーズ』（新潮文庫）・『ダブリンの市民』（岩波文庫・品切れ）など、さまざまな邦題が冠されている。本学科としては、ちくま文庫版（米本義孝訳。タイトルは『ダブリンの人びと』）で読むことを推奨する（ちくま文庫版の翻訳が、もっとも注解が詳しく、わかりやすい）。
- 以下のA)、B) から1つを選び、800字程度のレポートを作成してください。
 - あなたがこの半年間で、足を運んで鑑賞した美術展について、その感想や考察をまとめてください（複数の美術展でも可）。
 - あなたがこの半年間に観た映画（アニメも可）あるいは舞台（演劇・オペラなど）について、その考察を800字程度にまとめてください（複数の作品でも可）。

■ 形式

- 手書きの場合：A4原稿用紙（ヨコ書き、20字×20行）
- パソコン等で作成する場合：A4用紙（ヨコ書き、1枚あたりの字数は自由）
- 図表を用いる場合は、文章とは別にA4用紙にまとめてください。なお、図表は指定された字数には含みません。

■ 課題についての第一次選考での主な評価ポイント

- 共通評価ポイント
必要な情報が、正確な文章で明記されているかどうか。
- 課題 1. についての評価ポイント
指示に従った形で、その人ならではの作品の見方が表現されているかどうか。
- 課題 2. についての評価ポイント
現場に立ち会った者ならではの内容が表現されているかどうか。

■ 第二次選考について

第二次選考では、上記課題についての「課題発表（プレゼンテーション）（質疑応答含む）」及び「面接試験（口述試験含む）」を合わせて25分程度行います。課題発表は10分程度とし、それに対する質疑応答を10分程度及び面接試験（口述試験含む）を5分程度行います。

口述試験内容は、p. A-9『口述試験要領』を参照してください。

【 必：必須 ○：可能 ×：不可 】 課題発表で使用した資料等は回収しませんので、各自必ず持ち帰ってください。

第二次選考の課題発表（プレゼンテーション）で使用できる機器等について

①模造紙、ポスター	×	
②パソコン、プロジェクター	×	
③スケッチブック、フリップボード	×	
④配付資料	×	
⑤その他	×	
*発表用原稿（メモ等を含む）	○	発表時に原稿やメモを見ても構いませんが、棒読みは避けてください。

■ 課題

下記の課題について、所定の形式に沿って作成したものを提出してください。

〈学科設定課題タイプ〉

2025年10月以降の新聞社またはテレビ局による報道について、社会的に重要だと思われる記事を選び(ジャンルは自由、複数でも可)、①その内容を簡潔に要約し、②その報道の仕方にかなる特徴や課題があるのかを指摘し、③その特徴や課題について、あなたの考えや意見・提案などを小論文にまとめて提出してください。なお、つぎの点に留意してください。

- 例として取りあげた記事(新聞のコピーまたは新聞社、テレビ局のWebページをプリントしたもの ※Yahoo! Newsなどポータルサイトは不可)を添付してください。
- 小論文に図表を添付しても構いません。
- 参考文献(参考記事)を明記してください。

■ 形式

- 必ずタイトルをつけてください。
- 手書きの場合：A4原稿用紙(ヨコ書き、20字×20行)、4,000字以内
- パソコン等で作成する場合：A4用紙(ヨコ書き、40字×30行)、4,000字以内
- 課題文の中の①～③は、中見出しではありませんので、注意してください。
- 図表・参考文献を用いる場合は、文章とは別にしてA4用紙にまとめてください。
※図表・参考文献は小論文の字数には含みません。

■ 課題についての第一次選考での主な評価ポイント

- 提出した課題の内容を的確に表したタイトルがつけられているか。
- 課題の中の①～③を踏まえて、論理的に書かれているか。
- 問題提起と結論が、明確に述べられているか。
- 感想文にならず、客観的な根拠を示し、自分の主張を明確に行っているか。
- 誤字・脱字がなく、文章作法を適切に守っているか。

■ 第二次選考について

第二次選考では、上記課題についての「課題発表(プレゼンテーション)(質疑応答含む)」及び「面接試験(口述試験含む)」を合わせて25分程度行います。課題発表は5分程度とし、それに対する質疑応答を5分程度及び面接試験(口述試験含む)を15分程度行います。

口述試験内容は、p. A-9『口述試験要領』を参照してください。

【 必：必須 ○：可能 ×：不可 】 課題発表で使用した資料等は回収しませんので、各自必ず持ち帰ってください。

第二次選考の課題発表(プレゼンテーション)で使用できる機器等について

①模造紙、ポスター	×	
②パソコン、プロジェクター	×	
③スケッチブック、フリップボード	×	
④配付資料	×	
⑤その他	×	
*発表用原稿(メモ等を含む)	△	発表時にメモを見ることのみ許可します。

課題

下記の課題について、所定の形式に沿って作成したものを提出してください。

〈探究課題タイプ〉

私たちが暮らしているこの世界には、学校や職場でのいじめ、性的マイノリティへの差別、子どもの貧困、少子高齢化など、さまざまな問題*が存在しています。心理学や社会学は、そうした問題の解決に貢献するために、さまざまな事柄を日々、探究しています。

あなたはどのような問題に関心を持っていますか。あなたに関心を持つ問題を1つ選び、レポートのテーマとしてください（例えば、「子どもの貧困」という問題に関心を持っている場合には、「子どもの貧困」をテーマとしてください）。そのテーマについて調べたうえで考察を加え、その成果を以下の①～④が明らかになるようにレポートにまとめてください。

- ①そのテーマに関心をもった理由
- ②調べたことで得られた結果
- ③得られた結果についての考察・感想
- ④このテーマの探究活動で参考にした参考文献（書籍やその他の資料）

*「学校や職場でのいじめ」など、ここであげた4つの問題は、あくまで例です。いずれかをレポートのテーマとする必要はありません（そうしてもかまいません）。あなたに関心を持つ問題を、自由にレポートのテーマとしてください。

形式

- 必ずタイトルをつけてください。
- 手書きのみ：A4原稿用紙（ヨコ書き、20字×20行）4～5枚、1,600字以上2,000字以内
- 文献やWebサイト等を参考にした部分では、何を参考にしたのかがわかるように出典を明示してください。
例）見田宗介は、「貧困は、金銭をもたないことにあるのではない」（見田2018：104-5）とする。見田によると、貧困は、「金銭を必要とする生活の形式の中で、金銭をもたないことにある」（見田2018：105）。
- 参考にした文献やWebサイト等のリストを、本文とは別にしてA4用紙にまとめてください。指定された字数、枚数には含みません。このリストについては、手書き、パソコンによる作成、どちらも可とします。
例）見田宗介, 2018, 『現代社会の理論——情報化・消費社会の現在と未来』（改訂版, 増補）岩波書店。
厚生労働省, 2026, 「働く人のメンタルヘルス・ポータルサイト こころの耳」, 厚生労働省ホームページ, (2026年2月12日取得, <https://kokoro.mhlw.go.jp>).
- 調査（インタビュー、アンケート等）を実施した場合には、対象者や質問項目等、調査の概要を本文中に記述してください（調査は必須ではありません）。
- 図表を用いる場合は、本文とは別にしてA4用紙にまとめてください。指定された字数、枚数には含みません。この図表については、手書き、パソコン等どちらも可とします。

課題についての第一次選考での主な評価ポイント

- とり上げたテーマについて、十分に調べているか。
- 調べたことをまとめるだけでなく、自分なりの考察ができているか。

第二次選考について

第二次選考では、上記課題についての「課題発表〈プレゼンテーション〉（質疑応答含む）」及び「面接試験（口述試験含む）」を合わせて25分程度行います。課題発表は8分程度とし、それに対する質疑応答を5分程度及び面接試験（口述試験含む）を12分程度行います。

口述試験内容は、p. A-9『口述試験要領』を参照してください。

【 必：必須 ○：可能 ×：不可 】 課題発表で使用した資料等は回収しませんので、各自必ず持ち帰ってください。

第二次選考の課題発表〈プレゼンテーション〉で利用できる機器等について

①模造紙、ポスター	○	四六判（788mm×1091mm）2～3枚 ※ポスターは使用不可
②パソコン、プロジェクター	○	パソコン、プロジェクターは大学で準備します。 Windows版のPowerPoint2016以降のバージョンで作成したファイルをUSBメモリに保存して持参してください。 万一の場合に備え、スライドを印刷した資料を3部持参してください。
③スケッチブック、フリップボード	○	
④配付資料	○	サイズ・枚数自由、3部（面接者2部、受験生1部）
⑤その他	×	
*発表用原稿（メモ等を含む）	×	発表時に原稿やメモを見ることはできません。

※「①」、「②」、「③」、「④」の中であなたが選択したいいずれかの発表形式で準備してください。なお、「①」、「②」、「③」、「④」の組み合わせも認めます

〈備考〉

- 課題発表では、レポートの内容がよく伝わるようにプレゼンテーションを工夫してください。

■ 課題

今や、私たちが生きていくうえで、「環境」は、どの分野においても欠かすことのできないキーワードとなっています。下記の4つの課題(1)~(4)から1つを選び、その課題に取り組んだ内容について、「あなたが人間環境学科で身につけたい力や取り組んでみたいことがら」も含めてまとめたものを提出してください。

〈探究課題タイプ〉

- (1) 身近な自然環境について、その特徴や状態を調査し、人間活動とのかかわりについて説明してください。
あなたが決めた探究のテーマについて、以下の①~④を含めてレポートにまとめてください。
①そのテーマに関心をもった理由 ②調べたことで得られた結果
③得られた結果についてのあなたの考察・感想 ④このテーマの探究活動で参考にした参考文献(書籍やその他の資料)
- (2) 地球環境問題とされるもののうち1つを取りあげ、その問題の現状と課題及びその問題の解決手段について説明してください。
あなたが決めた探究のテーマについて、以下の①~④を含めてレポートにまとめてください。
①そのテーマに関心をもった理由 ②調べたことで得られた結果
③得られた結果についてのあなたの考察・感想 ④このテーマの探究活動で参考にした参考文献(書籍やその他の資料)
- (3) 地域問題、社会問題のいずれかに関する新聞記事を1つ取りあげて、①その記事になぜ関心を持ったのか、②その記事にどのような意見を持っているかを述べてください。なお、①は400字程度、②は800字程度でまとめるようにしてください。選択した新聞記事をA4用紙にコピーして、その記事の出典を「〇〇新聞、〇〇年〇〇月〇〇日付刊(あるいは夕刊)」のように明記して、同封してください。新聞は全国紙が望ましいです。

〈探究活動報告タイプ〉

- (4) 高等学校での総合的な探究の時間や課外活動等で取り組んだ内容について、以下の4点が明らかになるようレポートを作成してください。
①どのように課題を見つけたか ②どんな方法で情報を収集したか
③どのように整理・分析したか ④この探究活動を通して、本学科に入学後どのようなことに取り組みたいか

■ 形式

- 必ずあなたが考えたタイトルをつけてください。
- 手書きの場合：A4レポート用紙(ヨコ書き)2枚以内、1,600字以内
- パソコン等で作成する場合：A4用紙(ヨコ書き)2枚以内、1,600字以内
- 参考にした書籍や雑誌等は参考文献として記述してください。なお、図表・参考文献は指定された字数・枚数には含みません。

■ 課題についての第一次選考での主な評価ポイント

- 課題作成において参考としたもの(体験や調査の内容及び結果、書籍や雑誌、新聞記事等)が示されているか。
- 読む人にわかりやすい記述になっているか。
- タイトルと課題の内容が一致しているか。
- あなたの意見を明確に述べているか。

■ 第二次選考について

第二次選考では、上記課題についての「課題発表(プレゼンテーション)(質疑応答含む)」及び「面接試験(口述試験含む)」を合わせて25分程度行います。課題発表は10分程度とし、それに対する質疑応答を5分程度及び面接試験(口述試験含む)を10分程度行います。

口述試験内容は、p. A-9『口述試験要領』を参照してください。

【 必：必須 ○：可能 ×：不可 】 課題発表で使用した資料等は回収しませんので、各自必ず持ち帰ってください。

第二次選考の課題発表(プレゼンテーション)で使用できる機器等について

①模造紙、ポスター	○	四六判(788mm×1091mm)枚数自由 *ポスターは使用不可
②パソコン、プロジェクター	○	パソコンは各自で準備してください。プロジェクターは大学で準備します。パソコンはHDMI端子のケーブルが接続可能なものを持参してください(変換コネクタの持参可)。発表データはパソコンに入れておき、万一の場合に備え、スライドを印刷した資料を3部持参してください。
③スケッチブック、フリップボード	×	
④配付資料	○	A4サイズ・枚数自由、3部(面接者2部、受験生1部)
⑤その他	×	
*発表用原稿(メモ等を含む)	○	発表時に原稿やメモを見ても構いませんが、棒読みは避けてください。

※「①」、「②」の中であなたが選択したいいずれかの発表形式で準備してください。なお、必要に応じて「④」の使用も認めます。

■ 課題

下記の2つの課題(1)、(2)から1つを選び、所定の形式に沿って作成したものを提出してください。

〈探究課題タイプ〉

(1) あなたが魅力的に感じた芸術作品または活動を取り上げ、その概要を説明した上で、以下の4点が含まれるよう記載してください。

- ① それに関心をもった理由
- ② 調べたことで得られた結果
- ③ 得られた結果についてのあなたの考察・感想
- ④ 参考文献(書籍やその他の資料)

〈学科設定課題タイプ〉

(2) あなたが高校在学中に取り組んだ 1. 作品(平面作品、立体作品、映像作品、デザイン制作等)、2. 芸術活動(プロジェクトや構想等)、3. 音楽作品(楽曲演奏、自作品発表)とそれらの説明を記載したデジタルデータをUSBメモリに保存して提出してください。複数点も可能です。学校の課題やプロジェクト等のグループで取り組んだ成果も含まれますが、その場合は自身が何を担当したのかを明確にしてください。

■ 形式

〈探究課題タイプ〉

パソコン等での作成のみ：A4用紙4枚以内、2,000字以内(図版等を含む)

〈学科設定課題タイプ〉

- データはPDFまたはPowerPoint形式で以下の内容を含めて作成しUSBメモリ等に保存してください。
 1. 作品の場合：タイトル、コンセプト、サイズ、技法、材料等に関する説明文等
 2. 芸術活動の場合：活動内容や作品構想等
 3. 音楽作品の場合：作曲者と曲目。作曲の場合は音源か楽譜、またはそれに類するもの等
- スライドの枚数に制限はありません。
- ページ数の多い資料(写真集、楽譜等)や動画及び音声データがある場合は、別途以下の形式でUSBメモリ等に保存してください。
- データ形式は以下の形式としてください。
 - 動画の場合：MOV / MP4 / AVI / WMV
 - 音声の場合：M4A / MP3 / AAC / WAV
 - ページ数の多い資料等の場合：PDF
- 提出されたメディア等は返却いたしません。また、提出後のメディア等の差し替えも認めません。

■ 課題についての第一次選考での主な評価ポイント

〈課題探究タイプ〉

関心の明確さと動機の高さ、調べ方と探究のプロセス、結果に基づいた考察の質、文章の校正や引用の正確さ

〈学科設定課題タイプ〉

表現における創意工夫、作品・活動・演奏等の芸術的完成度、情報記述の正確さ

■ 第二次選考について

第二次選考では、上記課題についての「課題発表(プレゼンテーション)(質疑応答含む)」及び「面接試験(口述試験含む)」を合わせて25分程度行います。課題発表は10分程度とし、それに対する質疑応答を5分程度及び面接試験(口述試験含む)を10分程度行います。

口述試験内容は、p. A-9『口述試験要領』を参照してください。

【 必：必須 ○：可能 ×：不可 】 課題発表で使用した資料等は回収しませんので、各自必ず持ち帰ってください。

第二次選考の課題発表(プレゼンテーション)で利用できる機器等について

① 模造紙、ポスター	○	サイズ・枚数自由
② パソコン、プロジェクター	○	パソコンは各自で準備してください。*プロジェクターは使用不可。万一の場合に備え、スライドを印刷した資料を3部持参してください。
③ スケッチブック、フリップボード	○	
④ 配付資料	○	サイズ・枚数自由、3部(面接者2部、受験生1部)
⑤ その他	○	タブレット、作品(持参できるサイズに限る)、音源再生のためのポータブルスピーカー
*発表用原稿(メモ等を含む)	○	発表時に原稿やメモを見ても構いませんが、棒読みは避けてください。

※「①」、「②」、「③」、「④」、「⑤」の中であなたが選択したいいずれかの発表形式で準備してください。なお「①」、「②」、「③」、「④」、「⑤」の組み合わせも認めます。

児童教育学部

児童教育学科

●湘南キャンパス

■ 課題

下記の2つの課題(1)、(2)から1つを選び、所定の形式に沿って作成したものを提出してください。

〈学科設定課題タイプ〉

(1) 以下のA～Dから1つを選び、その現状と課題について説明し、それに対するあなたの考えを述べてください。
なお、記述の中に具体例を含めてください。

- A) 保幼小連携
- B) 地域子育て支援
- C) 障がい児支援
- D) 国際理解教育

〈探究課題タイプ〉

(2) 現在の教育・保育の課題として、「保幼小連携」「地域子育て支援」「障がい児支援」「国際理解教育」などがあります。あなたがもっとも関心をもったテーマを一つ設定し、以下の4点が明らかになるようにレポートを作成してください。

- ① そのテーマに関心を持った理由
- ② 調べたことで得られた結果
- ③ その結果に対するあなた自身の意見
- ④ そのテーマを理解するために用いた参考文献(書籍やその他の資料)

■ 形式

- ・ 課題については、選択した課題番号((1)の場合はA～D)も記載)及びタイトルを必ずつけてください。
- ・ 手書きのみ：A4原稿用紙(ヨコ書き、20字×20行)、1,600字程度
- ・ 図表等、執筆上参照した参考文献に関する情報(著者・書名等、インターネットを利用して調べた情報はそのURL)については、別紙(A4用紙)に記入してください。なお、別紙記載分は指定された字数には含みません。

■ 課題についての第一次選考での主な評価ポイント

- ・ 課題の内容を正しく受け止めて記載し、文章に一貫性があるか。
- ・ 課題に対して調べた内容が、あなたの考えや意見の根拠となって記載されているか。
- ・ 調べた内容を引用するだけでなく、あなた自身の考察が明確に記載されているか。
- ・ 文章の構成が論理的で分かりやすく、正しい文章の書き方になっているか。

■ 第二次選考について

第二次選考では、上記課題についての「課題発表(プレゼンテーション)(質疑応答含む)」及び「面接試験(口述試験含む)」を合わせて25分程度行います。課題発表は10分程度とし、それに対する質疑応答を5分程度及び面接試験(口述試験含む)を10分程度行います。

口述試験内容は、p. A-9『口述試験要領』を参照してください。

【 必：必須 ○：可能 ×：不可 】 課題発表で使用した資料等は回収しませんので、各自必ず持ち帰ってください。

第二次選考の課題発表(プレゼンテーション)で使用できる機器等について

① 模造紙、ポスター	×	
② パソコン、プロジェクター	×	
③ スケッチブック、フリップボード	○	
④ 配付資料	必	A4サイズ・枚数自由、3部(面接者2部、受験生1部)
⑤ その他	×	
* 発表用原稿(メモ等を含む)	○	発表時に原稿やメモを見ても構いませんが、棒読みは避けてください。

※ 「④」の発表形式で準備してください。なお、必要に応じて「③」の使用も認めます。

■ 課題

下記の課題について、所定の形式に沿って作成したものを提出してください。

〈探究課題タイプ〉

高等学校保健体育の教科書の中から、あなたが最も興味をもったテーマを1つ選んでください。そのテーマについて、教科書以外の信頼できる資料（書籍、新聞、官公庁・協会・連盟公開資料等）を調べたり、自ら調査・実験をしたりするなどして、その結果をもとに考察、または具体的な解決策や改善策を述べてください。

レポートは、以下の手順にしたがって記述してください。

- ①テーマ及びテーマに関心をもった理由
- ②調べた資料、または調査・実験の方法
- ③結果
- ④考察、または具体的な解決策や改善点
- ⑤引用・参考文献

■ 形式

- ・手書きのみ：A4原稿用紙（縦向き、ヨコ書き、20字×20行）、1,600字程度
- ・図表を用いる場合は、文章とは別にしてA4用紙にまとめてください。なお、図表は指定された字数には含まれません。
- ・引用・参考文献は文章や図表とは別にしてA4用紙にまとめてください。なお、引用・参考文献は指定された字数には含まれません。

■ 課題についての第一次選考での主な評価ポイント

- ・課題文をしっかりと読み、要求されていることに的確に答えられているか。
- ・資料（引用・参考文献や調査・実験結果）をもとに、論理的に記述されているか。
- ・調べた結果とあなたの見解・考察が区別される形で記述されているか。
- ・資料や引用・参考文献の出典が明確にされているか。
- ・誤字・脱字がなく、ていねいで適切な文章表現がなされているか。

■ 第二次選考について

第二次選考では、上記課題についての「課題発表（プレゼンテーション）（質疑応答含む）」及び「面接試験（口述試験含む）」を合わせて25分程度行います。課題発表は10分程度とし、それに対する質疑応答を5分程度及び面接試験（口述試験含む）を10分程度行います。

口述試験内容は、p. A-9『口述試験要領』を参照してください。

【 必：必須 ○：可能 ×：不可 】 課題発表で使用した資料等は回収しませんので、各自必ず持ち帰ってください。

第二次選考の課題発表（プレゼンテーション）で使用できる機器等について

①模造紙、ポスター	○	サイズ自由3枚以内
②パソコン、プロジェクター	×	
③スケッチブック、フリップボード	○	
④配付資料	○	A4サイズ3枚以内、3部（面接者2部、受験生1部）
⑤その他	×	
*発表用原稿（メモ等を含む）	○	発表時に原稿やメモを見ても構いませんが、棒読みは避けてください。

※ 「①」、「③」、「④」の中であなたが選択したいいずれかの発表形式で準備してください。なお、「①」、「③」、「④」の組み合わせも認めます。

■ 課題

下記の3つの課題(1)～(3)から1つを選び、所定の形式に沿って作成したものを提出してください。

〈探究課題タイプ〉

- (1) 理想的なアスリートを目指すときに重要と思われるポイントについて、あなたが現在行っているスポーツと関連づけて記述してください。
- (2) スポーツの優秀なコーチを目指すときに重要と思われるポイントについて、あなたが現在行っているスポーツと関連づけて記述してください。
- (3) スポーツの優秀なトレーナーを目指すときに重要と思われるポイントについて、あなたが現在行っているスポーツと関連づけて記述してください。

レポートは、以下の手順にしたがって記述してください。

- ①テーマを選んだ理由
- ②自らの経験
- ③調べた資料・根拠となる情報
- ④引用・参考文献

■ 形式

- ・必ずタイトルをつけてください。
- ・手書きの場合：A4原稿用紙（ヨコ書き、20字×20行）、1,200字程度
- ・パソコン等で作成する場合：A4用紙（ヨコ書き、20字×20行）、1,200字程度
- ・図表を用いる場合：文書とは別にA4用紙1枚以内

■ 課題についての第一次選考での主な評価ポイント

- ・今後あなたが進みたい方向性を、明確にとらえられているか。
- ・現在あなたが行っているスポーツと、十分に関連づけられているか。
- ・調べた結果だけでなく、あなたの意見も記述されているか。

■ 第二次選考について

第二次選考では、上記課題についての「課題発表(プレゼンテーション)(質疑応答含む)」及び「面接試験(口述試験含む)」を合わせて25分程度行います。課題発表は7分程度とし、それに対する質疑応答を3分程度及び面接試験(口述試験含む)を15分程度行います。

口述試験内容は、p. A-9『口述試験要領』を参照してください。

【 必：必須 ○：可能 ×：不可 】 課題発表で使用した資料等は回収しませんので、各自必ず持ち帰ってください。

第二次選考の課題発表(プレゼンテーション)で利用できる機器等について

①模造紙、ポスター	○	模造紙：四六判(788mm×1091mm)2枚以内 ポスター：サイズ・枚数自由
②パソコン、プロジェクター	×	
③スケッチブック、フリップボード	○	
④配付資料	○	A4サイズ10枚以内、3部(面接者2部、受験生1部) ※ホッチキスでとめ、1枚目に受験番号と名前を記入してください。
⑤その他	×	
*発表用原稿(メモ等を含む)	○	発表時に原稿やメモを見ても構いませんが、棒読みは避けてください。

※「①」、「③」、「④」の中であなたが選択したいいずれかの発表形式で準備してください。なお、「①」、「③」、「④」の組み合わせも認めます

体育学部 武道学科

●湘南キャンパス

体育学部

課題

下記の3つの課題(1)～(3)から1つを選び、所定の形式に沿って作成したものを提出してください。

〈探究課題タイプ〉

- (1) 柔道・剣道の平素の稽古にあたって大切な武道精神とは、具体的にどのような心構えや態度を指すのでしょうか。また、それを基に何を得られるのでしょうか。あなたの体験や見聞、調査を踏まえた意見をまとめ、以下の4点が明らかになるようにレポートを作成してください。
 - ①この課題に関心を寄せた理由
 - ②調べたことで得られた結果
 - ③その結果に対するあなた自身の意見
 - ④そのテーマの探究活動で参考にした参考文献(書籍やその他の資料)
- (2) 地域社会で活動している町道場やスポーツ少年団などを訪問し、指導方法、稽古内容、参加者などを調べ、学校の運動部活動と比較してそれぞれの特徴を把握し、意見をまとめ、以下の4点が明らかになるようにレポートを作成してください。
 - ①この課題に関心を寄せた理由
 - ②調べたことで得られた結果
 - ③その結果に対するあなた自身の意見
 - ④そのテーマの探究活動で参考にした参考文献(書籍やその他の資料)

〈探究活動報告タイプ〉

- (3) 高等学校での総合的な探究の時間や課外活動等で取り組んだ内容について、以下の4点が明らかになるようにレポートを作成してください。
 - ①どのように課題を見つけたか
 - ②どのような方法で情報を収集したか
 - ③どのように整理・分析したか
 - ④この探究活動を通して、本学科に入学後どのようなことに取り組みたいか

形式

- ・選択した課題番号を必ず記載してください。
- ・手書きのみ：A4原稿用紙(ヨコ書き、20字×20行)4枚程度
- ・図表を用いて説明する場合は、図表は文章とは別にして、A4用紙にまとめてください。また、図表等は参考文献のコピーを用いても構いません。なお、図表は指定された枚数には含みません。
- ・調査した資料(参考文献)の全てを最後に明記してください。なお、参考文献は指定された枚数には含みません。

課題についての第一次選考での主な評価ポイント

- ・選定した課題タイトル番号がつけられているか。
- ・文章の冒頭に課題を選択した理由が明記されているか。
- ・調べた結果に対するあなたの意見が記述されているか。
- ・誤字・脱字がなく、ていねいで適切な文章表現がなされているか。

第二次選考について

第二次選考では、上記課題についての「課題発表(プレゼンテーション)(質疑応答含む)」及び「面接試験(口述試験含む)」を合わせて25分程度行います。課題発表は10分程度とし、それに対する質疑応答を5分程度及び面接試験(口述試験含む)を10分程度行います。

口述試験内容は、p. A-9『口述試験要領』を参照してください。

【 必：必須 ○：可能 ×：不可 】 課題発表で使用した資料等は回収しませんので、各自必ず持ち帰ってください。

第二次選考の課題発表(プレゼンテーション)で利用できる機器等について

①模造紙、ポスター	○	模造紙：四六判(788mm×1091mm)3枚以内 ポスター：A3～A2サイズ3枚以内
②パソコン、プロジェクター	×	
③スケッチブック、フリップボード	○	
④配付資料	○	A4サイズ3～5枚、3部(面接者2部、受験生1部)
⑤その他	×	
*発表用原稿(メモ等を含む)	○	発表時に原稿やメモを見ても構いませんが、棒読みは避けてください。

※「①」、「③」、「④」の中であなたが選択したいいずれかの発表形式で準備してください。なお、「①」、「③」、「④」の組み合わせも認めます。

■ 課題

下記の課題について、所定の形式に沿って作成したものを提出してください。

〈探究課題タイプ〉

あなたの住んでいる地域における健康もしくはスポーツに関する政策と具体的な取り組みについて事例を調べたうえで、生涯スポーツをより振興させる方策について、以下の①～④を含めてレポートを作成してください。

- ①そのテーマに関心をもった理由
- ②調べた方法と得られた結果
- ③あなたの考え
- ④使用した参考文献（書籍やその他の資料）

■ 形式

- 必ずタイトルをつけてください。
- 手書きのみ：A4原稿用紙（ヨコ書き、20字×20行）6枚以内、2,400字以内
- 図表等を用いる場合は、文章とは別にしてA4用紙にまとめてください。なお、図表は指定された字数・枚数には含みません。
- 引用した参考文献・資料は、本文や図表とは別にしてA4用紙にまとめてください。なお、参考文献・資料は、指定された字数・枚数には含みません。
- 図表及び参考文献・資料は、手書きで作成しても、パソコンで作成しても構いません。

■ 課題についての第一次選考での主な評価ポイント

- 課題と提出された内容に整合性があるか。
- 健康もしくはスポーツに関する政策と具体的な取り組みが記述されているか。
- 生涯スポーツを振興させる考えが具体的に記述されているか。
- 構成が適切で誤字・脱字がなく、ていねいに記述されているか。
- 参考文献・資料の出典が明確に示されているか。

■ 第二次選考について

第二次選考では、上記課題についての「課題発表（プレゼンテーション）（質疑応答含む）」及び「面接試験（口述試験含む）」を合わせて25分程度行います。課題発表は10分程度とし、それに対する質疑応答を5分程度及び面接試験（口述試験含む）を10分程度行います。

口述試験内容は、p. A-9『口述試験要領』を参照してください。

【 必：必須 ○：可能 ×：不可 】 課題発表で使用した資料等は回収しませんので、各自必ず持ち帰ってください。

第二次選考の課題発表（プレゼンテーション）で利用できる機器等について

①模造紙、ポスター	○	四六判（788mm×1091mm）2～3枚 *ポスターは使用不可
②パソコン、プロジェクター	×	
③スケッチブック、フリップボード	○	
④配付資料	○	A4サイズ5枚以内、3部（面接者2部、受験生1部）
⑤その他	×	
*発表用原稿（メモ等を含む）	○	発表時に原稿やメモを見ても構いませんが、棒読みは避けてください。

※「①」、「③」、「④」の中であなたが選択したいいずれかの発表形式で準備してください。なお、「①」、「③」、「④」の組み合わせも認めます。

■ 課題

下記の3つの課題(1)～(3)から1つを選び、所定の形式に沿って作成したものを提出してください。

〈学科設定課題タイプ〉

- (1) 祭りや日本の伝統文化を実際に取材、体験して報告書を提出してください。
- (2) 子どものあそびについて取材し、報告書を提出してください。
- (3) スポーツやレジャーのイベントを実際に取材、体験して報告書を提出してください。

■ 形式

- ・選択した課題番号およびタイトルを必ずつけてください。
- ・手書きの場合：A4原稿用紙(ヨコ書き、20字×20行)6枚程度
- ・パソコン等で作成する場合：A4用紙(ヨコ書き、40字×30行)2枚程度
- ・図表を用いて説明する場合は、図表は文章とは別にして、A4用紙にまとめてください。
- ・いずれの課題も引用・参考文献を必ず記載してください。
- ・引用・参考文献・資料・図表は、指定された枚数には含みません。

■ 課題についての第一次選考での主な評価ポイント

- ・課題の選択理由が明記されているか。
- ・スポーツ・レジャー・あそび・ゆとり等の概念を的確に捉えているか。
- ・独創的な工夫がなされているか。
- ・実際に取材、体験をし、その事実に基づき、あなたの意見や考えが記述されているか。
- ・問題を発見しようとし、今後の展望について盛り込まれているか。
- ・引用・参考文献・資料の出典が明記されているか。また調べた方法が明記されているか。
- ・誤字・脱字がなく、ていねいで適切な文章表現がなされているか。

■ 第二次選考について

第二次選考では、上記課題についての「課題発表(プレゼンテーション)(質疑応答含む)」及び「面接試験(口述試験含む)」を合わせて25分程度行います。課題発表は10分程度とし、それに対する質疑応答を5分程度及び面接試験(口述試験含む)を10分程度行います。

口述試験内容は、p. A-9『口述試験要領』を参照してください。

【 必：必須 ○：可能 ×：不可 】 課題発表で使用した資料等は回収しませんので、各自必ず持ち帰ってください。

第二次選考の課題発表(プレゼンテーション)で利用できる機器等について

①模造紙、ポスター	○	模造紙：四六判(788mm×1091mm)2枚 ポスター：サイズ自由2～3枚
②パソコン、プロジェクター	×	
③スケッチブック、フリップボード	○	
④配付資料	○	サイズ・枚数自由、3部(面接者2部、受験生1部)
⑤その他	×	
*発表用原稿(メモ等を含む)	○	発表時に原稿やメモを見ても構いませんが、棒読みは避けてください。

※「①」、「③」、「④」の中であなたが選択したいいずれかの発表形式で準備してください。なお、「①」、「③」、「④」の組み合わせも認めます。

■ 課題

下記の課題について、所定の形式に沿って作成したものを提出してください。

〈探究課題タイプ〉

「誰もが生き生きと自分らしく暮らせる“健康な社会”の創造に向けて何が重要になるのか」について、「あなたが健康学部健康マネジメント学科で身につけたい力や希望」を含めて考えをまとめてください。その際、以下の①～③に留意しながら、あなたの考えを具体的に述べてください。

- ① 所定の形式に沿うこと
- ② 「運動」「栄養」「社会福祉」「メンタルヘルス」「地域」「政策」「生命科学」「情報」のうち複数をキーワードとすること
- ③ 行政（国・地方自治体）や国際機関が示している健康課題または産業界の動向を、新聞や文献等により調査すること

■ 形式

- ・ タイトルを必ずつけてください。
- ・ 手書きのみ：A4 原稿用紙（ヨコ書き、20 字×20 行）、1,600 字程度
- ・ 別紙（A4 用紙）に、(a) 図表等、(b) 執筆上参照した参考文献に関する情報（著者・著作名、書名等、インターネットを利用して調べた情報はその URL）を記入してください。なお、別紙に記載する(a)、(b)については、指定された字数には含みません。

■ 課題についての第一次選考での主な評価ポイント

- ・ 提出した課題の内容を的確に表したタイトルがつけられているか。
- ・ 課題の内容を正しく受けとめて記載し、文章に一貫性があるか。
- ・ 課題に対して調べた内容が、あなたの考えや意見の根拠となって記載されているか。
- ・ 調べた内容を引用するだけでなく、あなた自身の考察が明確に記載されているか。
- ・ 文章の構成が論理的で分かりやすく、正しい文章の書き方になっているか。

■ 第二次選考について

第二次選考では、上記課題についての「課題発表（プレゼンテーション）（質疑応答含む）」及び「面接試験（口述試験含む）」を合わせて25分程度行います。課題発表は10分程度とし、それに対する質疑応答を7分程度及び面接試験（口述試験含む）を8分程度行います。

口述試験内容は、p. A-10『口述試験要領』を参照してください。

【 必：必須 ○：可能 ×：不可 】 課題発表で使用した資料等は回収しませんので、各自必ず持ち帰ってください。

第二次選考の課題発表（プレゼンテーション）で利用できる機器等について

① 模造紙、ポスター	○	四六判（788mm×1091mm）4枚以内 *ポスターは使用不可
② パソコン、プロジェクター	×	
③ スケッチブック、フリップボード	○	
④ 配付資料	○	A4 サイズ・枚数自由、3部（面接者2部、受験生1部）
⑤ その他	×	
*発表用原稿（メモ等を含む）	×	発表時に原稿やメモを見ることはできません。

※ 「①」、「③」、「④」の中であなたが選択したいいずれかの発表形式で準備してください。なお、「①」、「③」、「④」の組み合わせも認めます。

■ 課題

下記の課題について、所定の形式に沿って作成したものを提出してください。

〈探究課題タイプ〉

毎日、新聞を読んだり、テレビのニュース番組を観たりしていると、現在の日本の社会では、さまざまな出来事が起こり、さまざまな社会問題が生じていることがわかります。そのような出来事や問題の中から、法律に関係のあるテーマを1つ設定し、その詳細について調べてみてください。調査をするにあたってインターネットを利用して構いませんが、図書館などを利用した新聞・書籍・雑誌などの活字媒体も必ず使用してください。調査することで事実や問題の詳細を知ることができますが、それだけでなく、事実の分析の仕方や問題の解決方法が決して1つではなく、さまざまな見方や考え方がわかるはずです。

そうした調査からわかったことを踏まえて、設定したテーマについて、あなたならば、事実をどのように分析し、どのように解決すべきだと考えるのかを、述べてください。

■ 形式

- ・文頭には必ずタイトルをつけ、**文末には必ず参考文献や資料名を明記してください。**
- ・手書きの場合：A4 原稿用紙（ヨコ書き、20 字× 20 行）、2,500 字～ 3,500 字程度
- ・パソコン等で作成する場合：A4 用紙（ヨコ書き、30 字× 35 行）、2,500 字～ 3,500 字程度
- ・図表を用いて説明する場合は、文章とは別にして、A4 用紙 2 枚以内にまとめてください。
- ・参考文献や図表は、指定された字数（2,500 字～ 3,500 字程度）には含みません。

■ 課題についての第一次選考での主な評価ポイント

- ・課題がどのようなことを求めているか適切に理解しているかどうか。
- ・テーマの設定が適切なものであるかどうか。また、具体的なものであるかどうか。（以下の注意点を参照）
- ・事実や問題の詳細を調べているかどうか。また、調べ方が適切であるかどうか。
- ・調査からわかったことをあなたの考察の中に取り込んでいるかどうか。また、調査からわかったこととあなた自身の考察とを区別しているかどうか。
- ・論理性をもった、正しい文章で書かれているかどうか。

〔注意〕

課題の内容、形式、第一次選考での主な評価ポイントは、以上のとおりですが、以下の点に注意してください。

- ①新聞記事やニュースからテーマを設定するというのは、例えば、「死刑判決」に関する記事から「死刑は存置すべきか、廃止すべきか」というテーマを設定するとか、「裁判員制度」に関するニュース報道から「裁判員制度の課題は何か、今後どうあるべきか」というテーマを設定するということです。ただ、ここで例に挙げた「死刑は存置すべきか、廃止すべきか」、「裁判員制度の課題は何か、今後どうあるべきか」というテーマは避け、あなた自身でテーマを考えてください。あなたがどのようなテーマを選択するかについても、わたしたちには非常に関心があります。
- ②調査をすれば、事実の分析の仕方や問題の解決方法が決して1つではなく、さまざまな見方や考え方がわかるはずです。そのようにさまざまな見方や考え方があることや、その内容については、必ず触れてください。事実の分析の仕方や問題の解決方法にさまざまなものがあることを示したうえで、あなた自身の分析や解決方法を述べるができるかどうかをわたしたちは知りたいのです。

■ 第二次選考について

第二次選考では、上記課題についての「課題発表〈プレゼンテーション〉（質疑応答含む）」及び「面接試験（口述試験含む）」を合わせて25分程度行います。課題発表は10分程度とし、それに対する質疑応答を5分程度及び面接試験（口述試験含む）を10分程度行います。

口述試験内容は、p. A-10『口述試験要領』を参照してください。

【 必：必須 ○：可能 ×：不可 】 課題発表で使用した資料等は回収しませんので、各自必ず持ち帰ってください。

第二次選考の課題発表〈プレゼンテーション〉で使用できる機器等について

①模造紙、ポスター	○	四六判（788mm× 1091mm）1 枚 *ポスターは使用不可
②パソコン、プロジェクター	×	
③スケッチブック、フリップボード	×	
④配付資料	必	課題発表の内容をまとめたもの：A4 サイズ1枚、3部（面接者2部、受験生1部） ※課題発表に関連する図表を加える場合は、上記とは別に A4 サイズ 2 枚以内で添付することが可能です。
⑤その他	×	
*発表用原稿（メモ等を含む）	○	発表時に原稿やメモを見ても構いませんが、棒読みは避けてください。

※「④」の発表形式で準備してください。なお、必要に応じて「①」の使用も認めます。

政治経済学部

政治学科

●湘南キャンパス

〔3年次（第5セメスター）以降の授業科目は品川キャンパスで開講〕

■ 課題

下記の課題について、所定の形式に沿って作成したものを提出してください。

〈探究課題タイプ〉

政治学科では、政治、行政、国際という3つの分野を横断的に学び、地域、国、世界といったさまざまなレベルで起こっている問題に対して解決方法を考えることのできる人材を社会に送り出すことを、目標の1つとしています。

今日の世界ではグローバル化の進展により、国境を越えて市民、企業、団体、地域同士のかかわりが強くなるとともに、政治、経済、社会面でさまざまな変化や問題も生じています。

そのことをふまえて、この課題では、グローバル社会で現在生じている問題のなかから1つをテーマとして選び、その問題の背景を調べるとともに、解決に向けて、国際社会の一員として、市民、地方、国、あるいは国際組織が今後どのような役割を果たしていくべきかについて、以下の①～④を含めて、あなたの意見を述べてください。

- ①そのテーマに関心をもった理由
- ②調べたことで得られた結果
- ③得られた結果についてのあなたの考察・感想
- ④このテーマの探究活動で参考にした参考文献（書籍やその他の資料）

■ 形式

- ・必ずタイトルをつけてください。
- ・手書きの場合：A4 原稿用紙（ヨコ書き、20 字× 20 行）、4,000 字程度
- ・パソコン等で作成する場合：A4 用紙（ヨコ書き、40 字× 40 行）、4,000 字程度
- ・内容の理解を促す図表や写真を活用してください。
- ・図表を用いる場合は、文章とは別にして A4 用紙にまとめてください。なお、図表は指定された字数には含みません。
- ・課題作成に使用した書籍、新聞、インターネットサイト等は必ず参考文献として明記し、A4 用紙に記載してください。なお、参考文献は指定された字数には含みません。

■ 課題についての第一次選考での主な評価ポイント

- ・課題の内容を的確に表現したタイトルがつけられているか。
- ・テーマとした問題について、それが生じた背景を理解しているか。
- ・調査したことが内容にきちんと反映されているか。
- ・文章が論理的に構成されていて、わかりやすいか。そのための工夫がなされているか。
- ・あなたの意見を述べるときに、なぜそのように考えるのかを根拠とともに示しているか。

■ 第二次選考について

第二次選考では、上記課題についての「課題発表（プレゼンテーション）（質疑応答含む）」及び「面接試験（口述試験含む）」を合わせて25分程度行います。課題発表は10分程度とし、それに対する質疑応答を5分程度及び面接試験（口述試験含む）を10分程度行います。

口述試験内容は、p. A-10『口述試験要領』を参照してください。

【 必：必須 ○：可能 ×：不可 】 課題発表で使用した資料等は回収しませんので、各自必ず持ち帰ってください。

第二次選考の課題発表（プレゼンテーション）で使用できる機器等について

①模造紙、ポスター	必	A2 サイズ以上 2～3 枚 *模造紙は使用不可 ※課題を調べたときの写真やデータ等を 2 点程度挿入してください。
②パソコン、プロジェクター	×	
③スケッチブック、フリップボード	×	
④配付資料	必	A4 サイズ・枚数自由、3 部（面接者 2 部、受験生 1 部）
⑤その他	×	
*発表用原稿（メモ等を含む）	○	発表時に原稿やメモを見ても構いませんが、棒読みは避けてください。

※「①と④」の発表形式で準備してください。

■ 課題

下記の課題について、所定の形式に沿って作成したものを提出してください。

〈探究課題タイプ〉

新型コロナウイルスの世界的大流行（パンデミック）は、私たちの身近な経済活動にもさまざまな影響を及ぼしました。その中で、あなたがもっとも重要だと思うテーマを選び、以下の点を踏まえながら、あなたの考えをできるだけ具体的に述べてください。テーマは新聞やテレビなどが報じるニュースを参考に、入学後にあなたが経済学科で学びたいと考えている、関心のある事柄から選んでください。

- ①あなたにとってなぜその問題がもっとも重要なのか
- ②その問題の現状（過去からの推移、他国との比較など）
- ③その問題について異なる主張をしている経済学者、エコノミストの内容の比較
- ④上記③を踏まえううえで、自らの主張を論理的に述べる

なお、①、②については基礎知識について述べている本を最低1冊、③については異なる主張がなされている本を最低2冊精読したうえで、参考文献に加えてください。

■ 形式

- ・必ずタイトルをつけてください。
- ・手書きの場合：A4 原稿用紙（ヨコ書き、20 字× 20 行）、4,000 字程度
- ・パソコン等で作成する場合：A4 用紙（ヨコ書き、40 字× 35 行）、4,000 字程度
- ・図表を用いる場合は、文章とは別にして A4 用紙にまとめてください。また、図表は指定された字数には含みません。
- ・課題作成に使用した書籍、雑誌、新聞、インターネットサイト等は必ず参考文献として明記し、文章とは別にして A4 用紙にまとめてください。なお、参考文献は、指定された字数には含みません。

■ 課題についての第一次選考での主な評価ポイント

- ・調査や情報の収集がなされており、それらがあなたの意見の根拠として示されているか。
- ・あなたの意見を述べる時、データや他者の意見・主張を基礎としているか。また、自分の意見と他者の意見を区別しているか。
- ・課題について、それに対する経済学的な考え方を調べ、その考え方を理解しているか。
- ・文章の書き方が論理的で分かりやすいか。また、そのための工夫がなされているか。
- ・課題の内容、形式で求められている条件を満たしているか。

■ 第二次選考について

第二次選考では、上記課題についての「課題発表（プレゼンテーション）（質疑応答含む）」及び「面接試験（口述試験含む）」を合わせて25分程度行います。課題発表は10分程度とし、それに対する質疑応答を5分程度及び面接試験（口述試験含む）を10分程度行います。

口述試験内容は、p. A-10『口述試験要領』を参照してください。

【 必：必須 ○：可能 ×：不可 】 課題発表で使用した資料等は回収しませんので、各自必ず持ち帰ってください。

第二次選考の課題発表（プレゼンテーション）で使用できる機器等について

①模造紙、ポスター	×	
②パソコン、プロジェクター	×	
③スケッチブック、フリップボード	×	
④配付資料	必	A4 サイズ 2～3 枚、3 部（面接者 2 部、受験生 1 部）
⑤その他	×	
*発表用原稿（メモ等を含む）	○	発表時に原稿やメモを見ても構いません。

※「④」の発表形式で準備してください。

■ 課題

下記の課題について、所定の形式に沿って作成したものを提出してください。

〈探究課題タイプ〉

経営学は、会社でさまざまな人と一緒に働くとき、どうやってまとめていくか、何を作るのか、どんなサービスを届けるのか、そうした活動に必要なお金をどのように用いていくか、そのどれもが主要なテーマとなります。これらは「戦略・組織」「マーケティング」「会計・財務」という3つの分野に分かれます。

この3つの分野の中で、あなたが最も関心を寄せる分野を1つ選び、企業を一家取り上げ、これまでどのようなことをしてきたか（歴史的考察）、そして現在はどのように取り組んでいるのか（現状把握）を明らかにするレポートを作成してください。

レポートは指定された形式に沿って作り、内容を以下の①～④の項目に分けて記してください。企業に関する情報はできるだけ直接企業から聞き出してください。もしくは図書館を利用して資料を集めてまとめてください。

- ①その分野・企業に関心を寄せるようになった理由
- ②調べたことで得られた結果（歴史的考察と現状把握について）
- ③その結果に対するあなた自身の意見
- ④その分野・企業を深く理解するために用いた参考文献（書籍やその他の資料）

■ 形式

- ・必ずタイトルをつけてください。
- ・手書きの場合：A4 原稿用紙（ヨコ書き、20 字×20 行）12 枚以内、4,000 字程度
- ・パソコン等で作成する場合：A4 用紙（ヨコ書き、35 字×35 行）4 枚以内、4,000 字程度
- ・図表を用いる場合は、文章とは別にして A4 用紙にまとめてください。なお、図表は指定された字数・枚数には含みません。
- ・情報の入手元に関しては、必ず参考文献として明記してください。参考文献は文章や図表とは別にして、A4 用紙にまとめてください。なお、参考文献は指定された字数・枚数には含みません。

■ 課題についての第一次選考での主な評価ポイント

- ・課題の内容、形式で求められている条件を満たしているか。
- ・情報の収集がなされており、その根拠が示されているか。
- ・収集された情報を基にして、あなたの意見が述べられているか。
- ・書き方が論理的でわかりやすいか。またそのための工夫がなされているか。

■ 第二次選考について

第二次選考では、上記課題についての「課題発表（プレゼンテーション）（質疑応答含む）」及び「面接試験（口述試験含む）」を合わせて25分程度行います。課題発表は10分程度とし、それに対する質疑応答を5分程度及び面接試験（口述試験含む）を10分程度行います。

口述試験内容は、p. A-10『口述試験要領』を参照してください。

【 必：必須 ○：可能 ×：不可 】 課題発表で使用した資料等は回収しませんので、各自必ず持ち帰ってください。

第二次選考の課題発表（プレゼンテーション）で使用できる機器等について

①模造紙、ポスター	×	
②パソコン、プロジェクター	○	パソコン、プロジェクターは大学で準備します。 Windows 版の PowerPoint2016 以降のバージョンで作成したファイルを USB メモリに保存して持参してください。 万一の場合に備え、スライドを印刷した資料を3部持参してください。
③スケッチブック、フリップボード	×	
④配付資料	○	サイズ・枚数自由、3部（面接者2部、受験生1部）
⑤その他	×	
*発表用原稿（メモ等を含む）	×	発表時に原稿やメモを見ることはできません。

※「②」、「④」の中であなたが選択したいいずれかの発表形式で準備してください。なお、「②」、「④」の組み合わせも認めます。

■ 課題

下記の課題について、所定の形式に沿って作成したものを提出してください。

〈探究課題タイプ〉

私たちの社会が直面する重要な地球規模の課題を解決するためには、持続可能な開発目標（Sustainable Development Goals - SDGs）における17の目標の複数にまたがる取り組みをしばしば必要とします。今日の重要な課題として挙げられる以下のテーマの中から1つを選び、SDGsの複数の目標と関連させながら、その課題の解決に向けてあなたの身のまわりや社会で行われてきた取り組みを紹介してください。また、その問題点（改善すべき点）を具体的に述べ、もしあなたならどのように取り組むかについて、説明してください。

テーマ：アイデンティティと多文化共生、人権とマイノリティ、紛争と平和、気候変動（または生物多様性）と環境破壊、貧困と格差、ジェンダーと平等

■ 形式

- 手書きのみ：A4レポート用紙またはA4原稿用紙（タテ書き、ヨコ書きは問いません）に、日本語（1,600字以上）または英語（800ワード以上）で作成してください。
- 読みやすいいねいな字で書くことに努めてください。
- 以下は、指定された字数には含みません。
 - ① 課題には必ず表題（タイトル）をつけてください。副題を加えても構いません。
 - ② 引用したり参考にした文献やインターネットのサイトがあれば、必ず出典を（詳しくわかりやすく）明記してください。なお、参考文献等は指定された字数には含みません。
 - ③ 図や表、フローチャート等を添えても構いません。

■ 課題についての第一次選考での主な評価ポイント

- SDGsの目標を理解したうえで、選んだ取り組みについて具体的に分かりやすく説明されているか。
- 問題を改善するための取り組みについて、あなた自身の考察が反映されているか。

■ 第二次選考について

第二次選考では、上記課題についての「課題発表〈プレゼンテーション〉（質疑応答含む）」及び「面接試験（口述試験含む）」を合わせて25分程度行います。課題発表（英語でも可）は10分程度とし、それに対する質疑応答を5分程度及び面接試験（口述試験含む）を10分程度行います。

口述試験内容は、p. A-10『口述試験要領』を参照してください。

【 必：必須 ○：可能 ×：不可 】 課題発表で使用した資料等は回収しませんので、各自必ず持ち帰ってください。

第二次選考の課題発表〈プレゼンテーション〉で使用できる機器等について

① 模造紙、ポスター	×	
② パソコン、プロジェクター	必	パソコン、プロジェクターは大学で準備します。 Windows版のPowerPoint2016以降のバージョンで作成したファイルをUSBメモリに保存して持参してください。 万一の場合に備え、スライドを印刷した資料を3部持参してください。
③ スケッチブック、フリップボード	○	
④ 配付資料	必	A4またはA3サイズ・枚数自由、3部（面接者2部、受験生1部）
⑤ その他	×	
* 発表用原稿（メモ等を含む）	○	発表時に原稿やメモを見ても構いませんが、棒読みは避けてください。

※ 「②と④」の発表形式で準備してください。なお、必要に応じて「③」の使用も認めます。

■ 課題

下記の2つの課題(1)、(2)から1つを選び、所定の形式に沿って作成したものを提出してください。

〈探究課題タイプ〉

- (1) 少子高齢化と人口減少社会の局面に入り、国内各地ではかつてにぎわいを見せた温泉観光地や観光地一般の街並みに、廃墟と化した大型ホテルや空き家が生まれ問題化しています。その解決・改善に向けて、国や地方の観光政策では現在、観光施設や空き家のリノベーションを促し、付加価値の高い魅力的な空間へと再生する取り組みを進めています。こうした各地の取り組みの中から特に興味深いと感じた具体的事例を一つ選び、①いかなる施策や制度を活用しているかを調べ、また、②その取り組みを介していかなる問題（マイナス）が改善され、どのような魅力やメリット（プラス）が生まれるか、あなたの考えを述べてください。

〈探究活動報告タイプ〉

- (2) 高等学校での総合的な探究の時間や課外活動等で取り組んだ内容について、以下の4点が明らかになるようレポートを作成してください。グループで行った活動成果の場合は、そのなかで自分が果たした役割を明記してください。
- ①探究活動や課外活動の目的・テーマと、それを選んだ経緯や背景
 - ②どのような方法で情報やデータを収集したか
 - ③どのように整理・分析し、どのような結論を導いたか
 - ④探究活動を通して得た学びを、本学での学びや自身の将来設計にどのように活かすか

■ 形式

- ・適切なタイトルをつけてください。
- ・手書きの場合：A4原稿用紙（ヨコ書き、20字×20行）5枚程度
- ・パソコン等で作成する場合：A4用紙（ヨコ書き、1枚あたりの文字数は自由）、2,000字程度
- ・課題文章の最後に、執筆上参照した参考文献に関する情報（著者・訳者名、書名等）を、必ず明記してください。インターネットを利用して調べた情報については、URLを明記してください。なお、参考文献等は指定された字数・枚数には含みません。
- ・図表を用いる場合は、文章とは別にしてA4用紙にまとめてください。なお、図表は指定された字数・枚数には含みません。

■ 課題についての第一次選考での主な評価ポイント

- ・文章に一貫性があるか。
- ・事実や正確なデータに基づいているか。
- ・調べた結果だけでなく、あなた自身の考えが明確に記述されているか。
- ・課題に対し、的確に回答しているか。

■ 第二次選考について

第二次選考では、上記課題についての「課題発表（プレゼンテーション）（質疑応答含む）」及び「面接試験（口述試験含む）」を合わせて25分程度行います。課題発表は12分程度とし、それに対する質疑応答を5分程度及び面接試験（口述試験含む）を8分程度行います。

口述試験内容は、p. A-10『口述試験要領』を参照してください。

【 必：必須 ○：可能 ×：不可 】 課題発表で使用した資料等は回収しませんので、各自必ず持ち帰ってください。

第二次選考の課題発表（プレゼンテーション）で利用できる機器等について

①模造紙、ポスター	○	四六判（788mm×1091mm）、2～3枚 *ポスターは使用不可
②パソコン、プロジェクター	○	パソコン、プロジェクターは大学で準備します。 Windows版のPowerPoint2016以降のバージョンで作成したファイルをUSBメモリに保存して持参してください。 万一の場合に備え、スライドを印刷した資料を3部持参してください。
③スケッチブック、フリップボード	×	
④配付資料	×	
⑤その他	×	
*発表用原稿（メモ等を含む）	○	発表時に原稿やメモを見ても構いませんが、棒読みは避けてください。

※「①」、「②」の中であなたが選択したいいずれかの発表形式で準備してください。なお、「①」、「②」の組み合わせも認めます。

〈備考〉

- ・模造紙やパワーポイント等、作成した資料も評価の対象になります。
- ・テーマに関する説明、図、写真、表、地図やデータをまとめ、それらを模造紙やパワーポイントに掲載してください。

■ 課題

下記の課題について、所定の形式に沿って作成したものを提出してください。

〈探究課題タイプ〉

SDGs^{*}を実現するために解決すべき問題を1つあげ、情報通信技術を利用してその解決を試みるとしたら、あなたはどういう方法で解決しますか？あなたが考えるSDGsを実現するために解決すべき問題と、情報通信技術を用いた解決方法について考えをまとめてください。なお、説明においては、以下の項目を含めてください。

- ①動機：なぜその問題を選択したか。
- ②課題：その問題を解決するための課題は何か。
- ③解決策：どのような情報通信技術を用いてその課題を解決するのか。
- ④評価：選択した問題が解決策によってどこまで達成できると予想するか。
- ⑤考察：検討においてどのような点に苦労したか、またそれを解決するためにどのような工夫をしたか。
- ⑥参考文献：このテーマの探究活動で参考にした参考文献（書籍やその他の資料）

※我々の世界を変革する：持続可能な開発のための2030アジェンダ：<https://www.mofa.go.jp/mofaj/files/000101402.pdf>

■ 形式

- ・必ずタイトルをつけてください。
- ・手書きの場合：A4レポート用紙3枚程度、本文3,000字程度
- ・パソコン等で作成する場合：A4用紙3枚程度、本文3,000字程度
- ・図表を用いて説明する場合、図表は本文の中に挿入してください。なお、図表は指定された枚数には含みません。
- ・参考文献は本文の最後にまとめてください。なお、参考文献は指定された字数・枚数には含みません。

■ 課題についての第一次選考での主な評価ポイント

- ・提出した課題の内容を的確に表現したタイトルになっているか。
- ・問題を選択した理由が明確に記述されているか。
- ・問題点に対する解決策があなたの意見や考えで論理的に記述されているか。
- ・評価において、どこまで達成できると考えたのかを評価の指標を明記して達成度が示されているか。
- ・苦労した点、解決のための工夫点等、課題を実施した際の考察が明記されているか。

■ 第二次選考について

第二次選考では、上記課題についての「課題発表〈プレゼンテーション〉（質疑応答含む）」及び「面接試験（口述試験含む）」を合わせて25分程度行います。課題発表は10分程度とし、それに対する質疑応答を5分程度及び面接試験（口述試験含む）を10分程度行います。

口述試験内容は、p. A-10『口述試験要領』を参照してください。

【 必：必須 ○：可能 ×：不可 】 課題発表で使用した資料等は回収しませんので、各自必ず持ち帰ってください。

第二次選考の課題発表〈プレゼンテーション〉で使用できる機器等について

① 模造紙、ポスター	×	
② パソコン、プロジェクター	必	パソコン、プロジェクターは大学で準備します。 Windows版のPowerPoint2016以降のバージョンで作成したファイルをUSBメモリに保存して持参してください。 万一の場合に備え、スライドを印刷した資料を3部持参してください。
③ スケッチブック、フリップボード	×	
④ 配付資料	×	
⑤ その他	×	
* 発表用原稿（メモ等を含む）	○	発表時に原稿やメモを見ても構いませんが、棒読みは避けてください。

※「②」の発表形式で準備してください。

■ 課題

下記の2つの課題(1)、(2)から1つを選び、所定の形式に沿って作成したものを提出してください。

〈探究課題タイプ〉

(1) 以下に示す3つの観点A)～C)から1つを選び、自分が興味を感じた数学に関連する探究のテーマを考えてください。

- A) 高校までに学ぶ数学と大学で学ぶ数学とのつながり。
- B) 高校までに学んだ数学の公式・定理の証明と歴史的考察。
- C) 指数関数・対数関数はどのように実生活に関連しているかなど、高校までに学んだ数学と実社会との関連。

例：A) を参考に考えたテーマ「高校と大学の微積分学の違い」

B) を参考に考えたテーマ「放物線と直線で囲まれた面積の導出法とその歴史的考察」、「円の面積の公式の歴史と公式の証明や導出法」

C) を参考に考えたテーマ「複素数は実社会でどのように活用されているか」

次に、あなたが決めた探究のテーマについて調査・考察し、以下の①～③を含めてレポートにまとめてください。さらに、④についてもレポートに記述してください：

- ①なぜそのテーマに興味を持ったか
- ②調べたことで得られた結果
- ③得られた結果についてのあなたの考察・感想
- ④数学科で身につけたい力や学びたい内容

〈探究活動報告タイプ〉

(2) 高等学校での総合的な探究の時間やSSH(スーパーサイエンスハイスクール)での研究、課外活動等で取り組んだ数学に関する研究について、以下の4点が明らかになるようレポートを作成してください。

- ①どのように課題を見つけたか
- ②どんな方法で情報を収集したか
- ③どのように整理・分析したか
- ④この研究活動を通して、本学科に入学後どのようなことに取り組みたいか

■ 形式

- ・必ずタイトルをつけてください。
- ・手書きの場合：A4用紙(ヨコ書き、20字×20行)4枚程度
- ・パソコン等で作成する場合：A4用紙(ヨコ書き)、1,600字程度
- ・図表を用いる場合は、文章とは別にしてA4用紙にまとめてください。なお、図表は指定された字数・枚数には含みません。
- ・参考文献は本文の最後にまとめてください。なお、参考文献は指定された字数・枚数には含みません。

■ 課題についての第一次選考での主な評価ポイント

- ・指定された形式になっているか。
- ・的確なタイトルがつけられているか。
- ・調べた参考文献の内容をそのまま記述するのではなく、その内容を理解して(数学的な内容について自ら例を確認するなど考察し)あなたの言葉で記述しているか。
- ・記述内容に明らかな間違いはないか。

■ 第二次選考について

第二次選考では、上記課題についての「課題発表(プレゼンテーション)(質疑応答含む)」及び「面接試験(口述試験含む)」を合わせて25分程度行います。課題発表は10分程度とし、それに対する質疑応答を10分程度及び面接試験(口述試験含む)を5分程度行います。

口述試験内容は、p. A-10『口述試験要領』を参照してください。

【 必：必須 ○：可能 ×：不可 】 課題発表で使用した資料等は回収しませんので、各自必ず持ち帰ってください。

第二次選考の課題発表(プレゼンテーション)で使える機器等について

①模造紙、ポスター	×	
②パソコン、プロジェクター	必	パソコンは各自で用意してください。プロジェクターは大学で準備します。パソコンはHDMI端子のケーブルが接続可能なものを持参してください(変換コネクターの持参可)。発表データはパソコンに保存しておいてください。万一の場合に備え、スライドを印刷した資料を3部持参してください。
③スケッチブック、フリップボード	×	
④配付資料	×	
⑤その他	×	
*発表用原稿(メモ等を含む)	×	発表時に原稿やメモを見ることはできません。

※「②」の発表形式で準備してください。

理 学 部 情報数理学科

●湘南キャンパス

課題

下記の2つの課題(1)、(2)から1つを選び、所定の形式に沿って作成したものを提出してください。

〈探究課題タイプ〉

(1) 情報数理学科では、数学も情報も学べ、AIに必須の数理的センスと情報の解析・応用の力を身につけることができます。具体的には、代数、幾何、解析に代表される純粋数学のみならず、確率・統計や離散数学などの応用数学、コンピュータサイエンスがITの力を身につけながら学べます。さらに、シミュレーション、人工知能、データベースなどの講義で、数理的思考からAIやデータサイエンス等のアプローチを学びます。

以上を踏まえ、以下の課題A)、B)から1つを選び、取り組んでください。

A) 数学B、数学C、数学Ⅲの中から、興味を持った題材を選び、その内容を説明し、なぜその題材を選んだのか、どこに興味を持ったのかについても述べてください。

B) これまでにさまざまな数学を学んだことと思います。その中で興味を持った問題を選び、その問題を解く手順(アルゴリズムなど)についてプログラムなどを用いて示してください。また、なぜその問題を選んだのか、どこに興味を持ったのかについても述べてください。プログラムの場合、どのようなプログラミング言語を用いても構いません。

あなたが選んだ課題A)またはB)について、以下の①～④を含めてレポートにまとめてください。

- ①そのテーマに関心をもった理由
- ②調べたことで得られた結果
- ③得られた結果についてのあなたの考察・感想
- ④このテーマの探究活動で参考にした参考文献(書籍やその他の資料)

〈探究活動報告タイプ〉

(2) 高等学校での総合的な探究の時間や課外活動等で取り組んだ数学B、数学C、数学Ⅲや情報に関係する内容について、以下の4点が明らかになるようレポートを作成してください。

- ①どのように課題を見つけたか
- ②どんな方法で情報を収集したか
- ③どのように整理・分析したか
- ④この探究活動を通して、本学科に入学後どのようなことに取り組みたいか

形式

- ・内容を簡潔に示すタイトルをつけてください。
- ・手書きの場合：A4レポート用紙4枚以内。文字は読みやすい大きさと書いてください。
- ・パソコン等で作成する場合：A4用紙(上下左右2.5cm程度の余白、文字の大きさは12ポイント程度)3枚以内
- ・数式、図・表等を文中に入れる場合でも、指定された枚数でまとめてください。

課題についての第一次選考での主な評価ポイント

- ・提出した課題の内容を的確に表したタイトルがつけられているか。
- ・なぜその問題を選んだかの理由が明確に述べられているか。
- ・課題の内容がきちんとした順序でわかりやすく述べられているか。
- ・述べたいことが正しい日本語で正確に表現されているか。

第二次選考について

第二次選考では、上記課題についての「課題発表(プレゼンテーション)(質疑応答含む)」及び「面接試験(口述試験含む)」を合わせて25分程度行います。課題発表は10分程度とし、それに対する質疑応答を5分程度及び面接試験(口述試験含む)を10分程度行います。

口述試験内容は、p. A-10『口述試験要領』を参照してください。

【 必：必須 ○：可能 ×：不可 】課題発表で使用した資料等は回収しませんので、各自必ず持ち帰ってください。

第二次選考の課題発表(プレゼンテーション)で使用できる機器等について

①模造紙、ポスター	×	
②パソコン、プロジェクター	必	パソコン、プロジェクターは大学で準備します。 Windows版のPowerPoint2016以降のバージョンで作成したファイルをUSBメモリに保存して持参してください。 万一の場合に備え、スライドを印刷した資料を3部持参してください。
③スケッチブック、フリップボード	×	
④配付資料	○	A4サイズ・枚数自由、3部(面接者2部、受験生1部)
⑤その他	×	
*発表用原稿(メモ等を含む)	×	発表時に原稿やメモを見ることはできません。

※「②」の発表形式で準備してください。なお、必要に応じて「④」の使用も認めます。

〈備考〉

- ・課題(1)のA)では数式、図・表等を中心に、課題(1)のB)ではアルゴリズム、プログラム等を中心に用いて、課題の具体的な内容をわかりやすく発表してください。課題(2)についても課題(1)に準ずる発表内容にしてください。

■ 課題

下記の2つの課題(1)、(2)から1つを選び、所定の形式に沿って作成したものを提出してください。

〈探究課題タイプ〉

(1) 以下に示す3つの観点のいずれかを選び、物理学に関連する探究のテーマを考えてください：

- A) 高等学校の教科書に掲載されている物理学の法則の歴史的考察
- B) 高等学校の教科書に掲載されている物理学者の業績
- C) これまでに学んだ物理学と私たちの生活との関連

[テーマ例]

- A) オームの法則はどのようにして発見されたのか
- B) ニュートンが発見したこと
- C) 熱力学は私たちの生活でどのように活用されているのか

次に、あなたが決めた探究のテーマについて調査・考察し、以下の①～③を含めてレポートにまとめてください。さらに、④についてもレポートに記述してください：

- ①なぜそのテーマに興味を持ったのか
- ②調査によってわかったこと
- ③②に対するあなたの考察・感想
- ④東海大学の物理学科で身につけたい力や学びたい内容

〈探究活動報告タイプ〉

(2) 高等学校での総合的な探究の時間や課外活動等で取り組んだ、物理学に関係する実験や観察による研究について、以下の3点が明らかになるようレポートを作成してください。

- ①どのように課題を見つけたのか
- ②どのような方法で実験や観察を行ったのか、もしくは情報を収集したのか
- ③どのように整理・分析したのか

■ 形式

- 必ずタイトルをつけてください。
- 手書きの場合：A4レポート用紙（ヨコ書き、1枚あたりの字数は自由）5枚以内
- パソコン等で作成する場合：A4用紙（ヨコ書き、1枚あたりの字数は自由）4枚以内
- 図表はあなたが作成したものを用いてください。
- 参考文献は文章や図表とは別にA4用紙にまとめてください。なお、参考文献は指定された字数・枚数には含みません。参考文献には、著者、書名、出版社、出版年、ページを明記してください。また、インターネット等で調べたものについては、著者及びサイト名とそのURLを明記してください。

■ 課題についての第一次選考での主な評価ポイント

- 指定された形式になっているか。
- 的確なタイトルがつけられているか。
- 調べた参考文献の内容をそのまま記述するのではなく、その内容を理解して、あなたの言葉で記述しているか。

■ 第二次選考について

第二次選考では、上記課題についての「課題発表〈プレゼンテーション〉(質疑応答含む)」及び「面接試験(口述試験含む)」を合わせて25分程度行います。課題発表は10分程度とし、それに対する質疑応答を5分程度及び面接試験(口述試験含む)を10分程度行います。

口述試験内容は、p. A-10『口述試験要領』を参照してください。

【 必：必須 ○：可能 ×：不可 】 課題発表で使用した資料等は回収しませんので、各自必ず持ち帰ってください。

第二次選考の課題発表〈プレゼンテーション〉で利用できる機器等について

①模造紙、ポスター	○	四六判(788mm×1091mm)5枚以内 *ポスターは使用不可
②パソコン、プロジェクター	○	パソコンは各自で用意してください。プロジェクターは大学で準備します。パソコンはHDMI端子のケーブルが接続可能なものにしてください(変換コネクタの持参可)。発表データはパソコンに保存しておいてください。万一の場合に備え、スライドを印刷した資料を3部持参してください。
③スケッチブック、フリップボード	×	
④配付資料	○	サイズ・枚数自由、3部(面接者2部、受験生1部)
⑤その他	×	
*発表用原稿(メモ等を含む)	○	発表時に原稿やメモを見ても構いませんが、棒読みは避けてください。

※「①」、「②」、「④」の中であなたが選択したいいずれかの発表形式で準備してください。なお、「①」、「②」、「④」の組み合わせも認めます。

理 学 部 化学科

●湘南キャンパス

■ 課題

下記の2つの課題(1)、(2)から1つを選び、所定の形式に沿って作成したものを提出してください。

〈探究課題タイプ〉

(1) 化学は物質に関する学問です。身近な物質や新しい物質が、“どんな物質であるか”“なぜ生成するのか”“どのような性質があるか”を考えることは化学の重要なテーマです。

身の回りの物質として、金属を考えてみましょう。教科書に載っている金属元素の中で1種類の金属元素を選び、探究のテーマとしてあなたが決めた金属元素について調査・考察し、以下の①～④をレポートにまとめてください。なお、調べるにあたっては教科書以外の書籍や資料、インターネットから得られる情報なども積極的に活用してください。

- ①そのテーマに関心をもった理由
- ②調べたことで得られた結果(特に「製造方法」、「特徴と用途」、「単体やイオンの主な反応」について)
- ③得られた結果についてのあなたの考察・感想
- ④このテーマの探究活動で参考にした参考文献(書籍やその他の資料)

〈探究活動報告タイプ〉

(2) 高等学校での総合的な探究の時間や課外活動等で取り組んだ内容について、以下の4点が明らかになるようレポートを作成してください。

- ①どのように課題を見つけたか
- ②どんな方法で情報を収集したか
- ③どのように整理・分析したか
- ④この探究活動を通して、本学科に入学後どのようなことに取り組みたいか

■ 形式

- 必ず表紙(タイトル)をつけてください。
- 手書きの場合：A4原稿用紙(ヨコ書き、20字×20行)2,000字程度
- パソコン等で作成する場合：A4用紙(ヨコ書き、35字×35行)2,000字程度
- 図・表は本文中に入れてください。なお、図・表は指定された字数に含みません。
- 使用した文献や資料は、本文の最後に参考文献としてまとめて記述してください。
なお、参考文献は、指定された字数に含みません。
参考文献は、著者名、書名(または雑誌名)、ページ、発行年、発行所を明記してください。
インターネット等で調べた場合は、サイト名とそのURLを明記してください。

■ 課題についての第一次選考での主な評価ポイント

- 要求されている項目がすべて記述されているか。
- 調べた結果がわかりやすくまとめられているか。
- 教科書以外の資料を参照して作成されているか。

■ 第二次選考について

第二次選考では、上記課題についての「課題発表(プレゼンテーション)(質疑応答含む)」及び「面接試験(口述試験含む)」を合わせて25分程度行います。課題発表は10分程度とし、それに対する質疑応答を5分程度及び面接試験(口述試験含む)を10分程度行います。

口述試験内容は、p. A-10『口述試験要領』を参照してください。

【必：必須 ○：可能 ×：不可】課題発表で使用した資料等は回収しませんので、各自必ず持ち帰ってください。

第二次選考の課題発表(プレゼンテーション)で使用できる機器等について

①模造紙、ポスター	×	
②パソコン、プロジェクター	○	パソコン、プロジェクターは大学で準備します。 Windows版のPowerPoint2016以降のバージョンで作成したファイルをUSBメモリに保存して持参してください。 万一の場合に備え、スライドを印刷した資料を3部持参してください。
③スケッチブック、フリップボード	○	
④配付資料	○	A4サイズ・枚数自由、3部(面接者2部、受験生1部)
⑤その他	×	
*発表用原稿(メモ等を含む)	○	発表時に原稿やメモを見ても構いませんが、棒読みは避けてください。

※「②」、「③」、「④」の中であなたが選択したいいずれかの発表形式で準備してください。なお、「②」、「③」、「④」の組み合わせも認めます。

情報理工学部

情報科学科

●湘南キャンパス

■ 課題

情報科学科では、「人間」をキーワードとして「AI・計算科学・数理科学」「情報計測・可視化」の2つの大きな分野の研究・教育を行っています。10年ほど前から盛んになってきたAI技術は、単なるブームにとどまらず私たちの身の回りのありとあらゆる分野に浸透してきています。また、生体内部のイメージングや地球観測衛星によるリモートセンシングは、これまで人間が知ることのできなかった世界を明らかにしつつあります。当学科のこれらの分野に関連した下記の2つの課題(1)、(2)から1つを選んで所定の様式に沿って作成したものを提出してください。

〈探究課題タイプ〉

(1) AI・計算科学・数理科学

あなたの身の回りにおける人工知能の活用事例を挙げ、その技術の原理を詳しく述べてください。どのようなアイデアが現在の技術革新をもたらしましたか。また、今後どのようなことが可能になるかについて人間の生活との関わり方の観点からあなたの考えを述べてください。

(2) 情報計測・可視化技術

医療のための生体イメージングや地球観測のためのリモートセンシングなどの情報計測・可視化技術をひとつ取り上げ、その技術の意義や原理を詳しく述べてください。また、その技術が健康・安心・安全などの面で人間の生活にどのようなメリットをもたらしてきたか、今後どのような発展があるかについて、あなたの考えを述べてください。

■ 形式

- 必ずタイトルをつけてください。
- 課題(1)、(2)いずれを選んだ場合も、その課題や技術を選んだ理由を述べるとともに、それらに関連して情報科学科で学びたいことを述べてください。
- 手書きの場合：A4用紙（ヨコ書き、20字×20行）5枚程度
- パソコン等で作成する場合：A4用紙（ヨコ書き）2,000字程度
- 図表を用いる場合は、本文とは別にして、A4用紙にまとめてください。なお、図表は指定された字数・枚数には含まれません。
- 参考文献は本文の最後にまとめてください。なお、参考文献は指定された字数・枚数には含まれません。

■ 課題についての第一次選考での主な評価ポイント

- 指定された形式になっているか。
- 的確なタイトルがつけられているか。
- 調査にとどまらず、あなたの考えに基づく提案があるか。
- 調べた参考文献の内容をそのまま記述するのではなく、その内容を理解してあなたの言葉で記述しているか。
- 記述内容に明らかな間違いはないか。

■ 第二次選考について

第二次選考では、上記課題についての「課題発表（プレゼンテーション）（質疑応答含む）」及び「面接試験（口述試験含む）」を合わせて25分程度行います。課題発表は10分程度とし、それに対する質疑応答を5分程度及び面接試験（口述試験含む）を10分程度行います。

口述試験内容は、p. A-10『口述試験要領』を参照してください。

【 必：必須 ○：可能 ×：不可 】 課題発表で使用した資料等は回収しませんので、各自必ず持ち帰ってください。

第二次選考の課題発表（プレゼンテーション）で利用できる機器等について

① 模造紙、ポスター	×	
② パソコン、プロジェクター	必	パソコンは各自で用意してください。プロジェクターは大学で準備します。パソコンはHDMI端子のケーブルが接続可能なものを持参してください（変換コネクタの持参可）。発表データはパソコンに保存しておいてください。万一の場合に備え、スライドを印刷した資料を3部持参してください。
③ スケッチブック、フリップボード	×	
④ 配付資料	×	
⑤ その他	×	
* 発表用原稿（メモ等を含む）	×	発表時に原稿やメモを見ることはできません。

※ 「②」の発表形式で準備してください。

課題

下記の課題について、所定の形式に沿って作成したものを提出してください。

〈探究課題タイプ〉

現在では、直接人の目に触れない所でも、コンピュータを利用した装置やシステム（例えば、各種家電製品、自動車の運転補助システムや鉄道・航空機のチケット予約システムなど）が実現されており、以前に比較して非常に便利かつ安心・安全な生活を営む事ができるようになっています。一方で、コンピュータが十分に活用されていない分野も残されているのも事実です。このような分野の事例を1つ取り上げ、以下の点についてまとめてください。

- ①取り上げた分野にコンピュータが十分に活用されていない理由
- ②上記①の問題点を解決するためのあなたの考え
- ③上記②を実現するために情報理工学部コンピュータ応用工学科で学ぶ必要のある内容

形式

- ・パソコン等での作成のみ：A4用紙（ヨコ書き）2～3枚程度、合計2,400文字程度
- ・必ずタイトルをつけてください。
- ・図表を用いて説明する場合は、文章の中にわかりやすい形で挿入してください。
- ・参考文献等の外部参照からの引き写しは必要最低限とし、引き写した文章部分は下線を引き、本文の最後に参考文献の情報（書籍名、URL等）を提示してください。なお、引き写し部分は指定の文字数には含まれません。

課題についての第一次選考での主な評価ポイント

- ・課題の内容に合ったタイトルがつけられているか。
- ・図・表をうまく用いているか。
- ・調査した内容を記述しているだけでなく、あなた自身の考え・アイデアが具体的に提示されているか。
- ・記述内容に明らかな間違いや事実誤認がないか。

第二次選考について

第二次選考では、上記課題についての「課題発表（プレゼンテーション）（質疑応答含む）」及び「面接試験（口述試験含む）」を合わせて25分程度行います。課題発表は8分程度とし、それに対する質疑応答を7分程度及び面接試験（口述試験含む）を10分程度行います。

口述試験内容は、p. A-10『口述試験要領』を参照してください。

【 必：必須 ○：可能 ×：不可 】 課題発表で使用した資料等は回収しませんので、各自必ず持ち帰ってください。

第二次選考の課題発表（プレゼンテーション）で利用できる機器等について

①模造紙、ポスター	×	
②パソコン、プロジェクター	必	パソコンは各自で用意してください。プロジェクターは大学で準備します。パソコンはHDMI端子のケーブルが接続可能なものを持参してください（変換コネクタの持参可）。発表データはパソコンに保存しておいてください。万一の場合に備え、スライドを印刷した資料を3部持参してください。
③スケッチブック、フリップボード	×	
④配付資料	×	
⑤その他	×	
*発表用原稿（メモ等を含む）	×	発表時に原稿やメモを見ることはできません。

※ 「②」の発表形式で準備してください。

課題

コンピュータグラフィックス (CG) やバーチャルリアリティー (VR)、ソーシャルネットワーキングサービス (SNS) など、情報メディア技術やそれを基盤としたサービスは、我々の日常生活に深く浸透しており、私たちの生活はとても便利になりました。その一方で、これまでにはなかった新たな問題も生じています。

情報メディア技術に関する以下の課題について、所定の形式に沿って作成したものを提出してください。

〈探究課題タイプ〉

21世紀になってから誕生した情報メディアに関係する技術や製品、サービスを調査してみましょう。そのなかで、あなたが最も興味を持ったこと1つについて、以下の点を含めてまとめてください。

- ①あなたはなぜそのことに興味を持ったのか
- ②現状の問題点とその解決のためのあなたの考え
- ③情報理工学部情報メディア学科で身につけたい力や学びたい内容

形式

- 必ずタイトルをつけてください。
- パソコン等での作成のみ：A4用紙（ヨコ書き、35字×35行）2枚程度、2,400字程度
- 図表を用いる場合は、本文の中の適切な場所に挿入してください。なお、図表は指定された字数・枚数には含みません。
- 参考文献は本文の最後にまとめてください。なお、参考文献は指定された字数・枚数には含みません。

課題についての第一次選考での主な評価ポイント

- 指定された形式になっているか。
- 的確なタイトルがつけられているか。
- 調査した内容をそのまま記述するのではなく、その内容を理解してあなたの言葉で記述しているか。
- 記述内容に明らかな間違いはないか。

第二次選考について

第二次選考では、上記課題についての「課題発表〈プレゼンテーション〉(質疑応答含む)」及び「面接試験(口述試験含む)」を合わせて25分程度行います。課題発表は10分程度とし、それに対する質疑応答を5分程度及び面接試験(口述試験含む)を10分程度行います。

口述試験内容は、p. A-10『口述試験要領』を参照してください。

【 必：必須 ○：可能 ×：不可 】 課題発表で使用した資料等は回収しませんので、各自必ず持ち帰ってください。

第二次選考の課題発表〈プレゼンテーション〉で利用できる機器等について

① 模造紙、ポスター	×	
② パソコン、プロジェクター	必	パソコンは各自で用意してください。プロジェクターは大学で準備します。パソコンはHDMI端子のケーブルが接続可能なものを持参してください(変換コネクタの持参可)。発表データはパソコンに保存しておいてください。万一の場合に備え、スライドを印刷した資料を3部持参してください。
③ スケッチブック、フリップボード	×	
④ 配付資料	×	
⑤ その他	×	
* 発表用原稿 (メモ等を含む)	×	発表時に原稿やメモを見ることはできません。

※ 「②」の発表形式で準備してください。

建築都市学部

建築学科

●湘南キャンパス

課題

建築学では、文系・理系の広範な知識を総合的に思考し判断することが求められます。そのため、今あなたが得意とする科目や興味のある事項は、そのまま本学科での学びにつながります。

建築や都市について、下記の5つの課題(1)～(5)から最も興味のあるテーマを1つ選び、図書館やインターネットなどで情報を集めたうえで、具体的な事例を取りあげてあなたの感想や考察を、写真や図版などを用いて、わかりやすくプレゼンテーション(表現)してください。

〈探究課題タイプ〉

- (1) あなたのまちの生活環境を向上させるためのまちづくりの工夫について、具体的なデータや地域活動の事例を挙げ、それらの課題を分析・考察してください。
- (2) 住んでいる地域にある歴史的建築物(社寺・民家・近代建築)などを1つ選び、地域性や時代性を自らその姿をスケッチして考察してください。
- (3) 自宅の冷房か暖房の快適性とエネルギー効率の双方を高めるために有効な手段について考究して述べてください。暖房や冷房の効果は、エアコンなどの機械設備だけでなく、外壁や窓といった建物部位の熱的性能にも影響されますので、建物の熱性能について必ず言及するようにしてください。また、立地の気候的特性、住宅の構造・間取り、冷房や暖房のエネルギー使用量についても考慮に入れるようにしてください。
- (4) 住宅の構法としては、木造、軽量鉄骨造、鉄筋コンクリート造が主流です。これらの構法の特徴をそれぞれ述べなさい。そのうえであなたが住んでいる家がどの構法かを調べ、同じ間取りで別の構法による戸建住宅を設計するならば建築構造の観点から柱・梁・壁の配置や寸法を現状からどう変更したいか、構法を1つ選んで図面と写真を用いて説明してください。
- (5) 建築学は、美しさと機能性を兼ね備えたデザイン、誰にとっても住みよい都市づくり・まちづくり、地震・風・自重に対する安全対策、耐久性の高い材料や施工技術、空調・照明・音響・省エネなどの快適な生活環境、さらに意匠の歴史的背景や地域性が主要なテーマとなります。あなたが最も関心を寄せるテーマを1つ設定し、レポートを作成してください。

形式

- 手書きの場合：A4レポート用紙(1枚あたりの字数は自由)5枚以内
- パソコン等で作成する場合：A4用紙(ヨコ書き、1枚あたりの字数は自由)5枚以内
- 写真や図版を用いて説明する場合は、文章とは別にして、A4用紙にまとめてください。なお、写真や図版は、指定された枚数には含みません。
- 参考文献は本文の最後にまとめてください。なお、参考文献は指定された枚数には含みません。

課題についての第一次選考での主な評価ポイント

- テーマの内容を正しく理解して調べ、回答しているか。
- テーマに対するあなたの考え方や感想などが記述されているか。
- プレゼンテーション(表現)が理解しやすいように組み立てられているか。
- 参考文献や参考URLが明記されているか。

第二次選考について

第二次選考では、上記課題についての「課題発表(プレゼンテーション)(質疑応答含む)」及び「面接試験(口述試験含む)」を合わせて25分程度行います。課題発表は5分程度とし、それに対する質疑応答を5分程度及び面接試験(口述試験含む)を15分程度行います。

口述試験内容は、p. A-10『口述試験要領』を参照してください。

【 必：必須 ○：可能 ×：不可 】 課題発表で使用した資料等は回収しませんので、各自必ず持ち帰ってください。

第二次選考の課題発表(プレゼンテーション)で利用できる機器等について

①模造紙、ポスター	必	模造紙：四六判(788mm×1091mm)2枚 ポスター：A2サイズ5枚以内
②パソコン、プロジェクター	×	
③スケッチブック、フリップボード	×	
④配付資料	○	A4サイズ・枚数自由、3部(面接者2部、受験生1部) ※ホッチキスでとめ、1枚目に受験番号と氏名を記入してください。
⑤その他	○	模型、工作物
*発表用原稿(メモ等を含む)	○	発表時に原稿やメモを見ても構いませんが、棒読みは避けてください。

※「①」の発表形式(模造紙、ポスターのいずれか)で準備してください。なお、必要に応じて「④」、「⑤」の使用も認めます。

■ 課題

下記の2つの課題(1)、(2)から1つを選び、所定の形式に沿って作成したものを提出してください。

〈探究課題タイプ〉

- (1) 土木工学は、道路・鉄道・港湾・河川・上下水道・通信設備など、文明社会を支えるインフラの構築と維持・管理、地震・台風・洪水など自然災害に対する安全対策や、水質・土壌汚染、騒音・振動、地盤沈下や廃棄物などの環境対策、さらには、まちづくり(都市、交通、公園など)や景観も主要なテーマとなります。

あなたが最も関心を寄せるテーマを1つ設定し、以下の4点が明らかになるようにレポートを作成してください。なお、提出する課題レポートには、タイトルをつけてください。必要であれば、図や表を添付してください(指定された枚数には含みません)。

- ①そのテーマに関心を寄せるようになった理由
- ②調べたことで得られた結果
- ③その結果に対するあなた自身の意見
- ④そのテーマを深く理解するために用いた参考文献(書籍やその他の資料)

〈探究活動報告タイプ〉

- (2) 高等学校での総合的な探究の時間や課外活動等で取り組んだ内容について、以下の4点が明らかになるようにレポートを作成してください。なお、提出する課題レポートには、タイトルをつけてください。必要であれば、図や表を添付してください(指定された枚数には含みません)。

- ①どのように課題を見つけたか
- ②どのような方法で情報を収集したか
- ③どのように整理・分析したか
- ④この探究活動を通して、本学科に入学後どのようなことに取り組みたいか

■ 形式

- 選択した課題番号を記載し、必ずタイトルをつけてください。
- 手書きのみ：A4原稿用紙(ヨコ書き、20字×20行)4枚程度
- 図表を用いて説明する場合は、図表は文章とは別にして、A4用紙にまとめてください。また、図表等は参考文献のコピーを用いても構いません。なお、図表は指定された枚数には含みません。
- 調査した資料(参考文献)の全てを最後に明記してください。なお、参考文献は指定された枚数には含みません。

■ 課題についての第一次選考での主な評価ポイント

- 選定した課題の内容を的確に表したタイトルがつけられているか。
- 対象を絞り、課題に対する具体的調査結果が示されているか。
- 調べた結果に対するあなたの意見が記述されているか。
- 調査資料の引用先(参考文献等)が明記されているか。

■ 第二次選考について

第二次選考では、上記課題についての「課題発表(プレゼンテーション)(質疑応答含む)」及び「面接試験(口述試験含む)」を合わせて25分程度行います。課題発表は10分程度とし、それに対する質疑応答を5分程度及び面接試験(口述試験含む)を10分程度行います。

口述試験内容は、p. A-10『口述試験要領』を参照してください。

【 必：必須 ○：可能 ×：不可 】 課題発表で使用した資料等は回収しませんので、各自必ず持ち帰ってください。

第二次選考の課題発表(プレゼンテーション)で使用できる機器等について

①模造紙、ポスター	×	
②パソコン、プロジェクター	必	パソコン、プロジェクターは大学で準備します。 Windows版のPowerPoint2016以降のバージョンで作成したファイルをUSBメモリに保存して持参してください。 万一の場合に備え、スライドを印刷した資料を3部持参してください。
③スケッチブック、フリップボード	×	
④配付資料	○	A4サイズ・枚数自由、3部(面接者2部、受験生1部)
⑤その他	×	
*発表用原稿(メモ等を含む)	○	発表時に原稿やメモを見ても構いませんが、棒読みは避けてください。

※「②」の発表形式で準備してください。なお必要に応じて、「④」の使用も認めます。

■ 課題

下記の3つの課題(1)～(3)から1つを選び、所定の形式に沿って作成したものを提出してください。

〈探究課題タイプ〉

(1) 航空宇宙学専攻では飛行機やロケット、人工衛星がどのような仕組みで飛び、動いているのかを研究しています。空気の流れ、エンジンの仕組み、数値シミュレーションや風洞実験、飛行試験、ドローンや宇宙探査などが研究テーマとなっています。

上記のテーマを参考にして、あなたが決めた探究のテーマについて調査・考察し、以下の①～④を含めてレポートにまとめてください。

- ①そのテーマに関心をもった理由(入学後に学びたいこととの関連性)
- ②調べたことで得られた結果
- ③得られた結果についてのあなたの考察・感想
- ④このテーマの探究活動で参考にした参考文献(書籍やその他の資料)

〈探究活動報告タイプ〉

(2) あなたはどのような目的で全国工業高等学校長協会が主催する「ジュニアマイスター顕彰」に関連する資格取得や競技会活動に取り組んできたかを述べてください。その際、以下の3点が含まれるように書いてください。

- ①具体的な資格や活動
- ②それらの取り組みを通じて培った力がどのようなものか
- ③その力を大学で更にどのように発展させていきたいかとその理由(入学後に学びたいこととの関連性)

〈高大接続タイプ〉

(3) 航空宇宙学専攻が主催する高校生対象のワークショップ(*)に参加し、学んだことを踏まえ、入学後に学びたいことについてまとめてください。

*ワークショップは、2026年7月19日(日)に開催します。

ワークショップへのエントリーは、2026年6月1日(月)から7月16日(木)まで受け付けます。なお、ワークショップにエントリーした人で、やむを得ず参加できなかった場合でも、課題(1)、(2)での出願は可能です。

詳細については、東海大学工学部航空宇宙学科航空宇宙学専攻のホームページを確認してください。

■ 形式

- ・手書きまたはパソコン等で作成してください。
- ・A4用紙(縦向き、ヨコ書き、1枚あたりの文字数は自由)6枚程度
- ・図、表、写真、参考文献は、指定された枚数に含みます。

■ 課題についての第一次選考での主な評価ポイント

- ・入学後に学びたいことが明記されているか。
- ・(1)、(2)の場合：どのようなことに関心を持ち挑戦的な取り組みをしてきたか、入学後に学びたいこととの関連性について明記されているか。
- ・(3)の場合：入学後に学びたいこと及びその理由について明記されているか。
- ・わかりやすく論理的に記述されているか。

■ 第二次選考について

第二次選考では、上記課題についての「課題発表(プレゼンテーション)(質疑応答含む)」及び「面接試験(口述試験含む)」を合わせて25分程度行います。課題発表は7分程度とし、それに対する質疑応答を5分程度及び面接試験(口述試験含む)を13分程度行います。

口述試験内容は、p. A-10『口述試験要領』を参照してください。

【 必：必須 ○：可能 ×：不可 】 課題発表で使用した資料等は回収しませんので、各自必ず持ち帰ってください。

第二次選考の課題発表(プレゼンテーション)で利用できる機器等について

①模造紙、ポスター	×	
②パソコン、プロジェクター	必	パソコンは各自で用意してください。プロジェクターは大学で準備します。パソコンは、HDMI端子のケーブルが接続可能なものを持参してください(変換コネクタの持参可)。発表データはパソコンに保存しておいてください。万一の場合に備え、スライドを印刷した資料を3部持参してください。
③スケッチブック、フリップボード	×	
④配付資料	×	
⑤その他	×	
*発表用原稿(メモ等を含む)	○	発表時に原稿やメモを見ても構いませんが、棒読みは避けてください。

※「②」の発表形式で準備してください。

■ 課題

航空操縦学専攻では日々進化する航空技術に対応し得る基礎力と柔軟性を持ち、人格・技術に優れ、将来の航空界をリードできるパイロットを養成することを目的としています。

選考に向けて、下記の課題について、所定の形式に沿って作成したものを提出してください。

〈学科設定課題タイプ〉

小学3年生～6年生を対象とした航空教室の講師として、航空機や運航についてわかり易く解説するために実施するクイズ問題案を作成してください。

ただし、「①揚力生成の理論、②風と対流、③目の錯覚」についてそれぞれ1問ずつ、合計3問とします。さらに、自身の作成したクイズ問題の模範解答と答え合わせ後に行う問題解説案を作成し、出題及び解説の意図を説明してください。

- 参考資料：PHAK: Pilot's Handbook of Aeronautical Knowledge

https://www.faa.gov/regulations_policies/handbooks_manuals/aviation/phak

作成にあたり、①については参考資料：PHAKのChapter 4「Principles of Flight」の4-5 Theories in the Production of Lift から4-9 A Third Dimensionの手前まで、②についてはChapter 12「Weather Theory」の12-7 Wind and Currents から12-12 Atmospheric Stabilityの手前まで、③についてはChapter 17「Aeromedical Factors」の17-10 Optical Illusions から17-12 Motion Sicknessの手前までを精読したうえで参考文献に加えてください。また、上記の参考資料以外を参考にした場合はそれらの出典も明記してください。

■ 形式

- 日本語で作成してください。
- 手書きまたはパソコン等で作成してください
- A4用紙（ヨコ書き）、2,000字程度
- 図表を用いる場合、文章とは別にしてA4用紙にまとめてください。なお、図表は指定された文字数には含みません。
- 参考文献は文章とは別にしてA4用紙にまとめてください。なお、参考文献は指定された文字数には含みません。

■ 課題についての第一次選考での主な評価ポイント

- 参考資料の内容を正確に理解しているか。
- 対象者に対してわかり易いクイズ問題及び解説となっているか。
- 調べた結果だけでなく、あなたの意見や考えも記述されているか。
- 提出した課題の文章に文法的な誤りや誤字・脱字はないか。

■ 第二次選考について

第二次選考では、①～③に関するクイズのうち、あなたが選択したクイズ1問を英語で実演し、小学生向けに英語で解説してください。「英語によるクイズ実演と解説発表（以下、「プレゼンテーション」という。）（質疑応答含む）」及び「面接試験（口述試験含む）」を合わせて25分程度行います。プレゼンテーションは5分程度とし、これに対する英語による質疑応答を10分程度及び日本語による面接試験（口述試験含む）を10分程度行います。

口述試験内容は、p. A-10『口述試験要領』を参照してください。

【 必：必須 ○：可能 ×：不可 】 課題発表で使用した資料等は回収しませんので、各自必ず持ち帰ってください。

第二次選考の課題発表（プレゼンテーション）で利用できる機器等について

①模造紙、ポスター	○	四六判（788mm×1091mm）2枚程度 *ポスターは使用不可
②パソコン、プロジェクター	○	パソコン、プロジェクターは大学で準備します。 Windows版のPowerPoint2016以降のバージョンで作成したファイルをUSBメモリに保存して持参してください。 万一の場合に備え、スライドを印刷した資料を3部持参してください。
③スケッチブック、フリップボード	×	
④配付資料	○	A4サイズ・枚数自由、4部（面接者3部、受験生1部）
⑤その他	×	
*発表用原稿（メモ等を含む）	×	発表時に原稿やメモを見ることはできません。

※「①」、「②」の中であなたが選択したいいずれかの発表形式で準備してください。なお、必要に応じて「④」の使用も認めます。

■ 課題

下記の4つの課題(1)～(3)から1つを選び、所定の形式に沿って作成したものを提出してください。

〈探究課題タイプ〉

- (1) 機械工学科は、もの(機械)づくりの学科で、そのための科目を複数用意してあります。この課題は、そのファーストステップとなることを期待しています。

次の要求を満たすロボットまたは車両(以下、ロボットと呼ぶ)を設計し、以下の内容を含むレポートを作成してください。
 要求項目:「このロボットは、停止している状態からスイッチを入れると動き出し、約1m進んだところで停止する。モーター、電池など、何を使ってもよいが、コンピュータ制御は使わずに、なるべく簡単な機構でこのロボットを実現したい。また、ロボットが何かにぶつかって止まるとかではなく、このロボットのみで要求を満足するようにしてください。」

レポートに含める内容:

- ①設計図(手書きの計画図でも可)
- ②設計のセールスポイント(安価、独特、シンプル、奇抜、確実、カッコいいなど)
- ③約1m進んだことをどのような方法で検出し、ロボットを停止させるか。
 ※③については、概念図(ポンチ絵)を添付して説明してください。
- ④設計したロボットに+αの機構を加えたとしたらどんな機構を加えたいか。

〈探究活動報告タイプ〉

- (2) 高等学校での総合的な探究の時間や課外活動等で取り組んだ内容について、以下の4点が明らかになるようレポートを作成してください。
- ①どのように課題を見つけたか
 - ②どんな方法で情報を収集したか
 - ③どのように整理・分析したか
 - ④得られた結果についてのあなたの考察
- (3) スーパーサイエンスハイスクール(SSH)や全国工業高等学校長協会が主催する「ジュニアマイスター顕彰」に関連する資格取得や競技会活動で取り組んだ内容について、以下の3点を含めてまとめてください。
- ①どのような活動を行ったのか
 - ②それらの取り組みを通じて培った力がどのようなものか
 - ③その力を大学でさらにどのように発展させていきたいかとその理由

■ 形式

- 必ずタイトルをつけてください。
- 手書きの場合: A4レポート用紙(1枚当たりの文字数やページ数は自由)
- パソコン等で作成する場合: A4用紙(1枚当たりの文字数やページ数は自由)
- 図は文章とは別にA4用紙(枚数は自由)にまとめて添付してください。

■ 課題についての第一次選考での主な評価ポイント

- 指定された形式になっているか。
- 的確なタイトルがつけられているか。
- あなたの考えやアイデアが十分に検討されており、図表などを用いてわかりやすく記述しているか。
- 探究課題タイプについては、どれだけ深く考えているかが重要で、設計したロボットが複数あっても、また複数のアイデアから最終的な案に達した経緯を記入しても構いません。さらに、できるだけ具体的な図を描いているかも重要です。

■ 第二次選考について

第二次選考では、上記課題についての「課題発表(プレゼンテーション)(質疑応答含む)」及び「面接試験(口述試験含む)」を合わせて25分程度行います。課題発表は10分程度とし、それに対する質疑応答を5分程度及び面接試験(口述試験含む)を10分程度行います。

口述試験内容は、p. A-10『口述試験要領』を参照してください。

【 必: 必須 ○: 可能 ×: 不可 】 課題発表で使用した資料等は回収しませんので、各自必ず持ち帰ってください。

第二次選考の課題発表〈プレゼンテーション〉で利用できる機器等について

①模造紙、ポスター	○	四六判(788mm×1091mm)3枚以内 *ポスターは使用不可
②パソコン、プロジェクター	○	パソコン、プロジェクターは大学で準備します。 Windows版のPowerPoint2016以降のバージョンで作成したファイルをUSBメモリに保存して持参してください。 万一の場合に備え、スライドを印刷した資料を3部持参してください。
③スケッチブック、フリップボード	×	
④配付資料	○	A4またはA3サイズ・枚数自由、3部(面接者2部、受験生1部)
⑤その他	○	工作物 ※(1)の課題では、実際にロボットを作製し、そのロボットを用いて説明することも可能です。
*発表用原稿(メモ等を含む)	○	発表時に原稿やメモを見ても構いませんが、棒読みは避けてください。

※「①」、「②」、「④」の中であなたが選択したいいずれかの発表形式で準備してください。なお、「①」、「②」、「④」の組み合わせも認めます。必要に応じて「⑤」の提示も認めます。

工学部 機械システム工学科

●湘南キャンパス

■ 課題

下記の3つの課題(1)～(3)から1つを選び、所定の形式に沿って作成したものを提出してください。

〈探究課題タイプ〉

- (1) 機械システム工学科では、自動車、鉄道、航空機、ロケットなどのモビリティや産業用ロボット、アシストスーツ、人型ロボット、ドローンに代表される知能ロボットなど、われわれの生活を豊かにする様々な「機械システム」について学びます。
- あなたの興味のある機械システムを1つ選び、その機械システムについて調査・考察し、以下の①～④を含めてレポートにまとめてください。
- ① その機械システムに興味をもった理由
 - ② 調べたことで得られた結果
 - ③ 得られた結果についてのあなたの考察・感想
 - ④ この探究活動で参考にした参考文献(書籍やその他の資料)

〈探究活動報告タイプ〉

- (2) 高等学校での総合的な探究の時間やSSH(スーパーサイエンスハイスクール)での研究、課外活動等で取り組んだ内容について、以下の3点が明らかになるようレポートを作成してください。
- ① どのように課題を見つけたか
 - ② どのような方法で情報を収集したか
 - ③ どのように整理・分析したか
- (3) 全国工業高等学校長協会が主催する「ジュニアマイスター顕彰」に関連する資格取得や競技会活動で取り組んだ内容について、以下の3点が明らかになるようレポートを作成してください。
- ① どのような活動を行ったのか
 - ② それらの取り組みを通じてどのような力を培ったのか
 - ③ その力を大学でさらにどのように発展させていきたいか(その理由も含めること)

■ 形式

- ・必ずタイトルをつけてください。
- ・手書きの場合：A4用紙(ヨコ書き、20字×20行)5枚程度
- ・パソコン等で作成する場合：A4用紙(ヨコ書き、図)2,000字程度
- ・図表を用いる場合は、文章とは別にしてA4用紙にまとめてください。なお、図表は指定された字数・枚数には含みません。
- ・参考文献は本文の最後にまとめてください。なお、参考文献は指定された字数・枚数には含みません。

■ 課題についての第一次選考での主な評価ポイント

- ・指定された形式になっているか。
- ・的確なタイトルがつけられているか。
- ・調べた参考文献等の内容をそのまま記述するのではなく、その内容を理解してあなたの言葉で記述しているか。
- ・記述内容に明らかな間違いはないか。

■ 第二次選考について

第二次選考では、上記課題についての「課題発表(プレゼンテーション)(質疑応答含む)」及び「面接試験(口述試験含む)」を合わせて25分程度行います。課題発表は10分程度とし、それに対する質疑応答を5分程度及び面接試験(口述試験含む)を10分程度行います。

口述試験内容は、p. A-10『口述試験要領』を参照してください。

【必：必須 ○：可能 ×：不可】課題発表で使用した資料等は回収しませんので、各自必ず持ち帰ってください。

第二次選考の課題発表(プレゼンテーション)で使用できる機器等について

① 模造紙、ポスター	×	
② パソコン、プロジェクター	必	パソコン、プロジェクターは大学で準備します。 Windows版のPowerPoint2016以降のバージョンで作成したファイルをUSBメモリに保存して持参してください。 万一の場合に備え、スライドを印刷した資料を3部持参してください。
③ スケッチブック、フリップボード	×	
④ 配付資料	○	サイズ・枚数自由、3部(面接者2部、受験生1部) ※ホッチキスでとめ、1枚目に受験番号と氏名を記入してください。
⑤ その他	×	
*発表用原稿(メモ等を含む)	○	発表時に原稿やメモを見ても構いませんが、棒読みは避けてください。

※「②」の発表形式で準備してください。なお、必要に応じて「④」の使用も認めます。

■ 課題

下記の3つの課題(1)～(3)から1つを選び、所定の形式に沿って作成したものを提出してください。

なお、課題(3)は、公益社団法人全国工業高等学校長協会が主催する「ジュニアマイスター顕彰」において、電気系、情報系、通信・無線系に区分された資格^{*1}、全工協主催、ものづくり、プログラム系、各種競技大会に区分された競技大会・コンテスト等^{*2}で30点以上取得し、「ジュニアマイスターシルバー」以上の認定を受けた者のみ、選択できます。

※1「ジュニアマイスター顕彰に関わる区分表【資格・検定等】」の類型で、電気系、情報系、通信・無線系に区分された資格とします。
 ※2「ジュニアマイスター顕彰に関わる区分表【競技大会・コンテスト等】」の類型で、全工協主催、ものづくり、プログラム系、各種競技大会に区分された競技大会・コンテスト等とします。

〈探究課題タイプ〉

(1) 電気・電子・情報・通信技術は、私たちの生活の中で広く利用されており、現代社会に必要不可欠な技術です。電気工学・電子工学は、発電・送電などの電力技術や、電気自動車・ロボットを制御する技術、半導体集積回路に代表される電子デバイスや、電気・電子機器の設計・製造技術などを支える学問です。また、情報化社会に欠かせないインターネットなどの技術を支えているのが情報・通信工学です。これら電気・電子・情報・通信工学分野の科学技術のうち、あなたが興味をもったものについて、以下の①から④の4点を含めてまとめてください。また、⑤についても記述してください。

①なぜその科学技術に興味を持ったか、②取り上げた科学技術が、私たちの豊かな生活の実現にどのように貢献しているか、③取り上げた科学技術が抱える課題および課題に対する解決策、④③の課題および課題に対する解決策についてのあなたの考察、提案、⑤電気電子工学科で身につけたい力や学びたい内容

〈探究活動報告タイプ〉

(2) 高等学校での総合的な探究の時間や課外活動等で取り組んだ内容について、以下の4点が明らかになるようレポートを作成してください。

①どのように課題を見つけたか、②どのような方法で情報を収集したか、③どのように整理・分析したか、④得られた結果についてのあなたの考察

(3) 全国工業高等学校長協会が主催する「ジュニアマイスター顕彰」に関連する資格取得や競技会活動で取り組んだ内容について、以下の3点を含めてまとめてください。

①どのような活動を行ったのか、②それらの取り組みを通じて培った力がどのようなものか、③その力を大学で更にもっと発展させていきたいかとその理由

■ 形式

- 必ずタイトルをつけてください。
- 手書きの場合：A4用紙(ヨコ書き、20字×20行)7枚程度、2,800字程度
- パソコン等で作成する場合：A4用紙(ヨコ書き、40字×36行)2枚程度、2,800字程度
- 図表や写真を用いる場合は、文章とは別にしてA4用紙にまとめてください。なお、図表や写真は指定された字数・枚数には含みません。
- 参考文献は文章や図表とは別にしてA4用紙にまとめてください。なお、参考文献は指定された字数・枚数には含みません。

■ 課題についての第一次選考での主な評価ポイント

- 指定された形式になっているか。
- 的確なタイトルがつけられているか。
- 調べた参考文献の内容をそのまま記述するのではなく、その内容を理解してあなたの言葉でわかりやすく記述しているか。
- あなたの考えや提案が十分に検討されており、わかりやすく述べられているか。

■ 第二次選考について

第二次選考では、上記課題についての「課題発表(プレゼンテーション)(質疑応答含む)」及び「面接試験(口述試験含む)」を合わせて25分程度行います。課題発表は8分程度とし、それに対する質疑応答を5分程度及び面接試験(口述試験含む)を12分程度行います。

口述試験内容は、p. A-10『口述試験要領』を参照してください。

【 必：必須 ○：可能 ×：不可 】課題発表で使用した資料等は回収しませんので、各自必ず持ち帰ってください。

第二次選考の課題発表(プレゼンテーション)で利用できる機器等について

①模造紙、ポスター	○	サイズ・枚数自由
②パソコン、プロジェクター	○	パソコン、プロジェクターは大学で準備します。 Windows版のPowerPoint2016以降のバージョンで作成したファイルをUSBメモリに保存して持参してください。 万一の場合に備え、スライドを印刷した資料を3部持参してください。
③スケッチブック、フリップボード	○	
④配付資料	○	サイズ・枚数自由、3部(面接者2部、受験生1部)
⑤その他	○	工作物
*発表用原稿(メモ等を含む)	○	発表時に原稿やメモを見ても構いませんが、棒読みは避けてください。

※「①」、「②」、「③」、「④」の中であなたが選択したいいずれかの発表形式で準備してください。なお、「①」、「②」、「③」、「④」の組み合わせや、必要に応じて「⑤」の提示も認めます。

■ 課題

下記の2つの課題(1)、(2)から1つを選び、所定の形式に沿って作成したものを提出してください。

〈探究課題タイプ〉

(1) 医工学科の学びに関連する探究のテーマを選ぶために、以下に示す2つの観点を参考にして、自分が興味を感じた探究のテーマを決めてレポートを作成してください。

- ・医療機器の歴史と進歩について(現代と過去の診断技術の比較)
- ・物理現象の医療機器への応用(例えばX線装置、超音波診断装置、聴診器、体温計など)

あなたが興味をもったテーマについて、以下の①～③の3点を含めてまとめてください。また、④についても記述してください。

- ①なぜそのテーマに興味を持ったか
- ②調べたことで得られた結果
- ③得られた結果についてのあなたの考察
- ④医工学科で身につけたい力や学びたい内容

〈探究活動報告タイプ〉

(2) 全国工業高等学校長協会が主催する「ジュニアマイスター顕彰」に関連する資格取得や競技会活動で取り組んだ内容について、以下の3点を含めてまとめてください。

- ①どのような活動を行ったのか
- ②それらの取り組みを通じて培った力がどのようなものか
- ③その力を大学で更にどのように発展させていきたいかとその理由

■ 形式

- ・必ずタイトルをつけてください。
- ・手書きの場合：A4用紙(ヨコ書き、20字×20行)5枚程度
- ・パソコン等で作成する場合：A4用紙(ヨコ書き、罫)2,000字程度
- ・図表を用いる場合は、文章とは別にしてA4用紙にまとめてください。なお、図表は指定された字数・枚数には含みません。
- ・参考文献は本文の最後にまとめてください。なお、参考文献は指定された字数・枚数には含みません。

■ 課題についての第一次選考での主な評価ポイント

- ・指定された形式になっているか。
- ・的確なタイトルがつけられているか。
- ・調べた参考文献の内容をそのまま記述するのではなく、その内容を理解してあなたの言葉で記述しているか。
- ・記述内容に明らかな間違いはないか。

■ 第二次選考について

第二次選考では、上記課題についての「課題発表(プレゼンテーション)(質疑応答含む)」及び「面接試験(口述試験含む)」を合わせて25分程度行います。課題発表は10分程度とし、それに対する質疑応答を5分程度及び面接試験(口述試験含む)を10分程度行います。

口述試験内容は、p. A-10『口述試験要領』を参照してください。

【 必：必須 ○：可能 ×：不可 】 課題発表で使用した資料等は回収しませんので、各自必ず持ち帰ってください。

第二次選考の課題発表(プレゼンテーション)で利用できる機器等について

①模造紙、ポスター	×	
②パソコン、プロジェクター	必	パソコン、プロジェクターは大学で準備します。 Windows版のPowerPoint2016以降のバージョンで作成したファイルをUSBメモリに保存して持参してください。 万一の場合に備え、スライドを印刷した資料を3部持参してください。
③スケッチブック、フリップボード	×	
④配付資料	×	
⑤その他	×	
*発表用原稿(メモ等を含む)	○	発表時に原稿やメモを見ても構いませんが、棒読みは避けてください。

※「②」の発表形式で準備してください。

■ 課題

下記の3つの課題(1)～(3)から1つを選び、所定の形式に沿って作成したものを提出してください。

〈探究課題タイプ〉

- (1) 生命科学に関連する最近の話題の中で、今後重要な問題として浮上するであろう事柄の1つを取りあげ、その問題点や解決に対する社会の取り組みを調査し、調査で明らかになった事項とそれに対するあなた自身の意見を記載したレポートを作成してください。(テーマ例：再生医療、遺伝子組換え食品、感染症、iPS細胞、クローン技術など)。
- (2) 過去のノーベル化学賞または生理学・医学賞の研究を1つ取りあげ、その内容(研究の背景、課題解決の方法、研究の成果、社会に与えた影響)を調査し、そこで明らかになった事項とそれに対するあなた自身の意見を記載したレポートを作成してください。特に、その研究の応用や将来の発展について、あなたの考えを説明してください。

〈探究活動報告タイプ〉

- (3) 高等学校で実施した探究活動や課外活動の成果をまとめてください。内容としては、探究活動や課外活動の目的、テーマを選んだ経緯や背景、調査や実験などの方法、それにより得られた結果、結果から考察されること、参考にした資料等を記載してください。グループで行った活動成果の場合は、そのなかで自分が果たした役割を明記してください。

■ 形式

- 必ずタイトルをつけてください。
- 手書きの場合：A4原稿用紙(ヨコ書き、20字×20行)、1,200字以内
- パソコン等で作成する場合：A4用紙、1,200字以内
- 図表等は、指定された字数には含みません。
- 参考文献は本文の最後にまとめてください。なお、参考文献は指定された字数には含みません。

■ 課題についての第一次選考での主な評価ポイント

- 課題を選じた理由が簡潔に述べられているか。
- 課題について調査に用いた手段の適切性や調査努力の質と量が十分であるか。
- 第二次選考での発表を見越した課題のまとめかた、理解がなされているか。
- 調査した結論とともにあなたの意見が記述されているか。

■ 第二次選考について

第二次選考では、上記課題についての「課題発表(プレゼンテーション)(質疑応答含む)」及び「面接試験(口述試験含む)」を合わせて25分程度行います。課題発表は10分程度とし、それに対する質疑応答を5分程度及び面接試験(口述試験含む)を10分程度行います。

口述試験内容は、p. A-10『口述試験要領』を参照してください。

【 必：必須 ○：可能 ×：不可 】 課題発表で使用した資料等は回収しませんので、各自必ず持ち帰ってください。

第二次選考の課題発表(プレゼンテーション)で使用できる機器等について

①模造紙、ポスター	○	サイズ自由・2枚程度
②パソコン、プロジェクター	○	パソコンは各自で用意してください。プロジェクターは大学で準備します。パソコンはHDMI端子のケーブルが接続可能なものを持参してください(変換コネクタの持参可)。発表データはパソコンに保存しておいてください。万一の場合に備え、スライドを印刷した資料を3部持参してください。
③スケッチブック、フリップボード	×	
④配付資料	○	サイズ・枚数自由、3部(面接者2部、受験生1部)
⑤その他	×	
*発表用原稿(メモ等を含む)	○	発表時に原稿やメモを見ても構いませんが、棒読みは避けてください。

※「①」、「②」、「④」の中であなたが選択したいいずれかの発表形式で準備してください。なお、「①」、「②」、「④」の組み合わせも認めます。

工学部 応用化学科

●湘南キャンパス

■ 課題

応用化学科は、「化学」を深く学び、社会と人が豊かになる技術や未来を創造する学科です。応用化学科で学ぶ専門分野・キーワードは、身近な化学製品にかかわる「有機化学」、「無機化学」、化学物質の性質、次世代エネルギーを考える「物理化学・エネルギー工学」、環境問題、水処理、リサイクル技術、化学製造プロセスを扱う「化学工学」です。

下記の2つの課題(1)、(2)から1つを選び、所定の形式に沿って作成したものを提出してください。

〈探究課題タイプ〉

(1) 応用化学科の学びに関連する探究のテーマを選ぶために、以下に示す3つの観点を参考にして、自分が興味を感じた探究のテーマを考えてください。

- (a) 身近にある化学製品 (例えば、プラスチック製品、合成繊維、合成洗剤、医薬品、化粧品、食品化学、化学電池 (リチウムイオン電池など)、ガラス、陶磁器など)
- (b) 次世代エネルギーとして期待される化学技術
- (c) 現代社会で問題となっている環境問題

あなたが興味をもったテーマについて、以下の①～④の4点を含めてまとめてください。

- ①なぜそのテーマに興味を持ったか
- ②調べたことで得られた結果 (必要があれば、図や表を添付してください。)
- ③得られた結果についてのあなた自身の意見
- ④応用化学科で身につけたい力や学びたい内容

〈探究活動報告タイプ〉

(2) 高等学校での総合的な探究の時間や課外活動等で取り組んだ内容、または、探究活動に関する資格取得 (例えば全国工業高等学校長協会「ジュニアマイスター顕彰」など) や競技会活動について以下の4点が明らかになるようレポートを作成してください。

- ①どのように課題を見つけたか
- ②どんな方法で情報を収集したか
- ③どのように整理・分析したか
- ④この探究活動を通して、本学科に入学後どのようなことに取り組みたいか

■ 形式

- ・必ずタイトルをつけてください。
- ・手書きの場合：A4用紙 (ヨコ書き、20字×20行) 2～3枚、800～1,200字程度
- ・パソコン等で作成する場合：A4用紙縦 (ヨコ書き) 2～3枚、800～1,200字程度
- ・図表を用いる場合は、文章とは別にしてA4用紙にまとめてください。なお、図表は指定された字数・枚数には含みません。
- ・参考文献は本文の最後にまとめてください。なお、参考文献は指定された字数・枚数には含みません。

■ 課題についての第一次選考での主な評価ポイント

- ・指定された形式になっているか。
- ・的確なタイトルがつけられているか。
- ・調べた参考文献の内容を理解して、他者が正しく理解できるようにあなたの言葉で記述しているか。
- ・提出した課題の文章に文法的な誤りや誤字・脱字はないか。

■ 第二次選考について

第二次選考では、上記課題についての「課題発表 (プレゼンテーション) (質疑応答含む)」及び「面接試験 (口述試験含む)」を合わせて25分程度行います。課題発表は10分程度とし、それに対する質疑応答を5分程度及び面接試験 (口述試験含む) を10分程度行います。

口述試験内容は、p. A-10『口述試験要領』を参照してください。

【 必：必須 ○：可能 ×：不可 】 課題発表で使用した資料等は回収しませんので、各自必ず持ち帰ってください。

第二次選考の課題発表 (プレゼンテーション) で使用できる機器等について

①模造紙、ポスター	○	サイズ・枚数自由
②パソコン、プロジェクター	○	パソコン、プロジェクターは大学で準備します。 Windows版のPowerPoint2016以降のバージョンで作成したファイルをUSBメモリに保存して持参してください。 万一の場合に備え、スライドを印刷した資料を3部持参してください。 ※パソコンは持参しても構いません。持参する場合は、HDMI端子のケーブルが接続可能なものにしてください (変換コネクタの持参可)。
③スケッチブック、フリップボード	○	
④配付資料	○	サイズ・枚数自由、3部 (面接者2部、受験生1部)
⑤その他	×	
*発表用原稿 (メモ等を含む)	○	発表時に原稿やメモを見ても構いませんが、棒読みは避けてください。

※「①」、「②」、「③」、「④」の中であなたが選択したいいずれかの発表形式で準備してください。なお「①」、「②」、「③」、「④」の組み合わせも認めます。

課題

下記の2つの課題(1)、(2)から1つを選び、所定の形式に沿って作成したものを提出してください。

〈探究課題タイプ〉

(1) 海洋理工学は、海洋における理学分野と工学分野にまたがる広大な範囲を対象とする学問です。海洋の理学分野は、黒潮のような海流の時空間変動や海洋内部の物質循環、そして海底の地質構造などを主として扱うことで、海洋を中核とする地球システムと気候システムを理解することを目指しています。一方、海洋の工学分野は、船舶や洋上風力発電に代表される浮体に関する技術、水中ロボットに代表される水中に関する技術を学び、海底資源開発を含む持続可能な文明社会を構築するための海洋開発を目指しています。

これらの中からあなたが最も関心を寄せるテーマを1つ設定し、以下の4点が明らかになるようにレポートを提出してください。なお、提出するレポートにはタイトルをつけてください。必要であれば図や表を添付してください(指定された枚数には含みません)。

- ① そのテーマに関心をもった理由
- ② 調べたことで得られた結果
- ③ 得られた結果についてのあなたの考察・感想
- ④ このテーマの探究活動で参考にした参考文献(書籍やその他の資料)

〈探究活動報告タイプ〉

(2) 高等学校での総合的な探究の時間や課外活動等で取り組んだ内容について、以下の4点が明らかになるようレポートを作成してください。

- ① どのように課題を見つけたか
- ② どんな方法で情報を収集したか
- ③ どのように整理・分析したか
- ④ この探究活動を通して、本学科に入学後どのようなことに取り組みたいか

形式

- ・必ずタイトルと氏名をつけてください。
- ・手書きの場合：A4原稿用紙(ヨコ書き、20字×20行)5枚程度、2,000字程度(タイトル・氏名を含む)
- ・パソコン等の場合：A4用紙(ヨコ書き、30字×34行)2枚程度、2,000字程度(タイトル・氏名を含む)
- ・図表を用いて説明する場合は、文章とは別にしてA4用紙3枚以内にまとめてください。なお、図表は指定された字数・枚数には含みません。
- ・参考資料及び文献の一覧は、文章や図表とは別にしてA4用紙にまとめてください。なお、図表は指定された字数・枚数には含みません。

課題についての第一次選考での主な評価ポイント

- ・提出した課題の内容を的確に表すタイトルになっているか。
- ・あなた独自の見解や考えが述べられているか。
- ・論述の展開に用いた図表が的確かつ十分であるか。
- ・参考資料・文献の出典が明記されているか。

第二次選考について

第二次選考では、上記課題についての「課題発表(プレゼンテーション)(質疑応答含む)」及び「面接試験(口述試験含む)」を合わせて25分程度行います。課題発表は10分程度とし、それに対する質疑応答を5分程度及び面接試験(口述試験含む)を10分程度行います。

口述試験内容は、p. A-10『口述試験要領』を参照してください。

【 必：必須 ○：可能 ×：不可 】 課題発表で使用した資料等は回収しませんので、各自必ず持ち帰ってください。

第二次選考の課題発表(プレゼンテーション)で利用できる機器等について

① 模造紙、ポスター	×	
② パソコン、プロジェクター	必	パソコン、プロジェクターは大学で準備します。 Windows版のPowerPoint2016以降のバージョンで作成したファイルをUSBメモリに保存して持参してください。 万一の場合に備え、スライドを印刷した資料を3部持参してください。
③ スケッチブック、フリップボード	×	
④ 配付資料	×	
⑤ その他	×	
* 発表用原稿(メモ等を含む)	×	発表時に原稿やメモを見ることはできません。

※「②」の発表形式で準備してください。

■ 課題

下記の課題について、所定の形式に沿って作成したものを提出してください。

〈探究課題タイプ〉

あなたが特に重要と思う海事分野に関連する問題を1つ挙げ、現状をまとめ、さらにその問題を解決するためにどうすればよいのか、あなたの考えを述べてください。以下の4点が明らかになるようにレポートを作成してください。

- ①その問題に関心を寄せるようになった理由
- ②調べたことで得られた結果
- ③その問題を解決するためのあなた自身の考え
- ④その問題を深く理解するために用いた参考文献（書籍やその他の資料）

■ 形式

- ・手書きの場合：A4 原稿用紙（ヨコ書き、20 字× 20 行）6 枚以内
- ・パソコン等で作成する場合：A4 用紙（ヨコ書き、40 字× 20 行）3 枚以内
- ・図表は文章とは別にして A4 用紙にまとめてください。なお、図表は指定された枚数には含みません。

■ 課題についての第一次選考での主な評価ポイント

- ・課題で求められていることを十分に盛り込んでいるか。
- ・調べた結果に対してあなたの意見が述べられているか。
- ・課題に対する調査が詳細に行われているか。

■ 第二次選考について

第二次選考では、上記課題についての「課題発表〈プレゼンテーション〉（質疑応答含む）」及び「面接試験（口述試験含む）」を合わせて25分程度行います。課題発表は10分程度とし、それに対する質疑応答を5分程度及び面接試験（口述試験含む）を10分程度行います。

口述試験内容は、p. A-10『口述試験要領』を参照してください。

【 必：必須 ○：可能 ×：不可 】 課題発表で使用した資料等は回収しませんので、各自必ず持ち帰ってください。

第二次選考の課題発表〈プレゼンテーション〉で利用できる機器等について

①模造紙、ポスター	○	模造紙：四六判（788mm×1091mm）2～3枚 ポスター：A3～B1サイズ2～3枚
②パソコン、プロジェクター	○	パソコンは各自で準備してください。プロジェクターは大学で準備します。パソコンは、HDMI端子のケーブルが接続可能なものにしてください（変換コネクタの持参可）。発表データはパソコンに保存しておいてください。万一の場合に備え、スライドを印刷した資料を3部持参してください。
③スケッチブック、フリップボード	○	
④配付資料	○	A4サイズ・枚数自由、3部（面接者2部、受験生1部） ※ホッチキスでとめ、1枚目に受験番号と氏名を記入してください。
⑤その他	×	
*発表用原稿（メモ等を含む）	○	発表時に原稿やメモを見ても構いませんが、棒読みは避けてください。

※「①」、「②」、「③」、「④」の中であなたが選択したいいずれかの発表形式で準備してください。なお「①」、「②」、「③」、「④」の組み合わせも認めます。

■ 課題

下記の3つの課題(1)～(3)から1つを選び、所定の形式に沿って作成したものを提出してください。

〔探究課題タイプ〕

- (1) サンゴ、タナゴ類、タツノオトシゴ等のような絶滅が危惧されている生物や、クロマグロ、ニシン、サクラエビ等のような水産資源として保護の必要がある水生生物を1つ取り上げ、その生物の保護や生息環境の保全について現状を調べるとともにあなたの考えを書いてください。
- (2) あなたが一番興味をもっている水生生物をあげ、その生物に興味をもった理由、さらに今までにその生物のことについて調査したり、飼育したりして得られた知識や経験を具体的に書いてください。
- (3) 水産加工食品を1つ取りあげ、その食品に興味を持った理由、さらにその食品についての歴史、製法と製造上の工夫点、栄養機能等について調べてまとめなさい。加えて、その食品をプロモーションするに当たっての自身のアイデアを述べなさい。

■ 形式

- ・手書きの場合：A4原稿用紙（ヨコ書き、20字×20行）2枚程度、800字程度
- ・パソコン等で作成する場合：A4用紙（ヨコ書き、一枚あたりの文字数は自由、文字サイズは10.5ポイント以上）800字程度
- ・図表を添付する場合：図表は本文とは別にし、A4用紙で作成すること。なお、図表は指定された字数・枚数には含まれません。

■ 課題についての第一次選考での主な評価ポイント

- ・調査結果や他人の考えと、あなたの意見をきちんと分けて表現しているか。
- ・独創的な意見をもっているか。
- ・作文方法、日本語表現が適切か。また、起承転結の構成になっているか。
- ・課題に対してあなたがどの程度深く調査、取りまとめをしているか。

■ 第二次選考について

上記の(1)～(3)の中であなたが選んだ課題について、さらに掘り下げて発表用資料にまとめてください。また、詳しく科学的に調査・研究する方法を考え計画を立案してください。さらに、それらの研究がどのように社会に還元されるかについて、あなたの考えをまとめてください。

〔資料の作成の際の注意点〕

基本的に図書や文献を用いて資料を作成してください。インターネットについては、官公庁等の公式Webサイトからの引用は認めますが、個人のWebサイトを引用することについては禁止します。資料の最後に、図書や文献の名称、Webサイトの名称とURLを明記してください。

〔発表方法〕

第二次選考では、上記課題についての「課題発表(プレゼンテーション)(質疑応答含む)」及び「面接試験(口述試験含む)」を合わせて25分程度行います。課題発表は10分程度とし、それに対する質疑応答を5分程度及び面接試験(口述試験含む)を10分程度行います。

口述試験内容は、p. A-10『口述試験要領』を参照してください。

【 必：必須 ○：可能 ×：不可 】 課題発表で使用した資料等は回収しませんので、各自必ず持ち帰ってください。

第二次選考の課題発表(プレゼンテーション)で利用できる機器等について

①模造紙、ポスター	×	
②パソコン、プロジェクター	×	
③スケッチブック、フリップボード	×	
④配付資料	必	A4サイズ・枚数自由、3部(面接者2部、受験生1部)
⑤その他	×	
*発表用原稿(メモ等を含む)	○	発表時に原稿やメモを見ても構いませんが、棒読みは避けてください。

※「④」の発表形式で準備してください。

海洋学部 海洋生物学科

●静岡キャンパス

課題

下記の課題について、所定の形式に沿って報告書を作成し提出してください。報告書の構成は目的、方法、結果、考察、参考資料とし（下記参照）、文字数が全体で4,000字程度（図表と参考資料を除く）となるようにまとめてください。なお、インターネット上の文章の丸写し、もしくはそれに近いと判断される内容については減点の対象となります。また、報告する内容は本年度の課題公表後に総合型選抜出願のためだけにあなたが単独で行った新規の研究に限ります。課外活動のグループ研究の成果や、先輩・友人等が行った研究成果の流用、学校、水族館や研究機関等で助力（機器類・試薬等の借用を含む）を受けたものは認めません。生成AI等で作成した文章の使用は不正行為となることがあります。

〈探究課題タイプ〉

自宅などで飼育されている生物、あるいはあなたが注意深く観察できる身近な野生生物の生態や行動に関して、あなたが興味や疑問を持った点について実際に実験や観察を行い、それについて下記の要領で報告書を作成してください。

〔報告書の構成〕

テーマ：報告するテーマを記載してください。

目的：あなたがその課題を選びテーマを設定した理由や目的、背景などを説明してください。

方法：調査や観察、実験の方法などについて詳しく説明してください。

結果：得られた結果を具体的なデータ（図表・グラフ・写真など）として提示し、その内容を説明してください。

考察：結果を分析し、解釈・推察・予測・仮説をたてるなど、結果に基づいて内容を発展させてください。このとき、必要に応じて過去の知見との関連にも言及してください。

参考資料：参考に供した資料（文献や映像など）の出典は明確にしなければなりません。資料名（書名・雑誌名・DVDタイトルなど）、発表者名、発表年を分類して正確に記述してください。なお、インターネット上には、出典の曖昧な情報や信頼性の低い記述も多く存在します。個人が開設しているホームページで自由に掲載された話題などは、出典を明記していないものも多く見られます。出典が明確でない情報は、参考資料としては認めません。

形式

- ・手書きの場合：A4原稿用紙（ヨコ書き、20字×20行）10枚程度
- ・パソコン等で作成する場合：A4用紙（ヨコ書き、34字×30行）4枚程度
- ・図表を用いて説明する場合は、図表は文章とは別にして、A4用紙にまとめてください。なお、図表は指定された枚数には含みません。

課題についての第一次選考での主な評価ポイント

- ・興味や疑問を持ったことをさまざまな方法で追求しているか。
- ・観察や調査の結果をわかりやすくまとめているか。
- ・あなたの理解や考えが記述されているか。
- ・課題内容を的確に理解し、自分で問題を展開しているか。
- ・ユニークな視点で調査・観察・分析がなされているか。

第二次選考について

第二次選考では、上記課題についての「課題発表〈プレゼンテーション〉（質疑応答含む）」及び「面接試験（口述試験含む）」を合わせて25分程度行います。課題発表は10分程度とし、それに対する質疑応答を5分程度及び面接試験（口述試験含む）を10分程度行います。

口述試験内容は、p. A-10『口述試験要領』を参照してください。

【 必：必須 ○：可能 ×：不可 】 課題発表で使用した資料等は回収しませんので、各自必ず持ち帰ってください。

第二次選考の課題発表〈プレゼンテーション〉で使用できる機器等について

①模造紙、ポスター	×	
②パソコン、プロジェクター	必	パソコン、プロジェクターは大学で準備します。 Windows版のPowerPoint2016以降のバージョンで作成したファイルをUSBメモリに保存して持参してください。 万一の場合に備え、スライドを印刷した資料を3部持参してください。 ※パソコンは持参しても構いません。持参する場合は、HDMI端子のケーブルが接続可能なものにしてください（変換コネクタの持参可）。
③スケッチブック、フリップボード	×	
④配付資料	×	
⑤その他	×	
*発表用原稿（メモ等を含む）	×	発表時に原稿やメモを見ることはできません。 ※PowerPointの発表者ツールの原稿も含まれます。

※「②」の発表形式で準備してください。

■ 課題

下記の2つの課題(1)、(2)から1つを選び、所定の形式に沿って作成したものを提出してください。

〈探究課題タイプ〉

(1) あなたが今まで関心をもって挑戦的に取り組んできたこと(高等学校での総合的な探究の時間を含む)を踏まえ、人文学科に入学してから学びたいことについてまとめてください。

- ①取り組んだことの詳細な内容と、どのような課題をみつけたか。
- ②どのような方法で課題を解決しようとしたか。
- ③解決しようとした結果と、それについてのあなたの意見や感想。
- ④この取り組みを通して何が得られ、本学科に入学して何に取り組みたいか。

〈高大接続タイプ〉

(2) 人文学部が主催する高校生対象のワークショップ*に参加し学んだことを踏まえ、人文学科に入学してから学びたいことについてまとめてください。

*ワークショップは、2026年①7月12日(日)と②8月2日(日)に開催します。

ワークショップへのエントリーは、2026年6月1日(月)から①7月10日(金)まで、②7月31日(金)まで受け付けます。

ワークショップにエントリーした人で、やむをえず参加できなかった場合でも、課題(1)での出願は可能です。詳細については、東海大学人文学部のホームページを確認してください。

■ 形式

- ・手書きの場合：A4原稿用紙(ヨコ書き、20字×20行)5枚程度、2,000字程度
- ・パソコン等で作成する場合：A4用紙(ヨコ書き、40字×30行)2枚程度、2,000字程度
- ・参考文献がある場合は本文の最後にまとめてください。なお、参考文献は指定された字数・枚数には含みません。

■ 課題についての第一次選考での主な評価ポイント

- ・課題が求める内容を十分満たしているか。
- ・これまでの経験や活動内容及びあなたの意見が具体的に述べられているか。
- ・課題の内容が、あなたの言葉で表現できているか。

■ 第二次選考について

第二次選考では、上記課題についての「課題発表(プレゼンテーション)(質疑応答含む)」及び「面接試験(口述試験含む)」を合わせて25分程度行います。課題発表は10分程度とし、それに対する質疑応答を5分程度及び面接試験(口述試験含む)を10分程度行います。

口述試験内容は、p. A-10『口述試験要領』を参照してください。

【必：必須 ○：可能 ×：不可】課題発表で使用した資料等は回収しませんので、各自必ず持ち帰ってください。

第二次選考の課題発表(プレゼンテーション)で使用できる機器等について

①模造紙、ポスター	×	
②パソコン、プロジェクター	○	パソコン、プロジェクターは大学で準備します。 Windows版のPowerPoint2016以降のバージョンで作成したファイルをUSBメモリに保存して持参してください。 万一の場合に備え、スライドを印刷した資料を3部持参してください。
③スケッチブック、フリップボード	×	
④配付資料	○	サイズ・枚数自由、3部(面接者2部、受験生1部)
⑤その他	×	
*発表用原稿(メモ等を含む)	○	発表時に原稿やメモを見ても構いませんが、棒読みは避けてください。

※「②」、「④」の中であなたが選択したいいずれかの発表形式で準備してください。なお「②」、「④」の組み合わせも認めます。

文理融合学部

経営学科

●熊本キャンパス

■ 課題

経営学科には、企業経営分野、スポーツビジネス分野、アグリビジネス分野があります。

下記の6つの課題(1)～(6)から1つを選び、所定の形式に沿って作成したものを提出してください。

〈探究課題タイプ〉

- (1) 少子高齢化が進み、日本経済の活力が低下してきています。日本の経済を再び元気にするためには、どんな産業に力を入れていくのがよいか、具体例をあげてあなたの意見を述べてください。
①その産業を選んだ理由 ②その産業の特徴やポイント、他の産業との比較
③その産業にどのように力を入れるのか ④レポートを作成するために用いた参考文献(書籍やその他の資料)
- (2) 誰もが簡単に運動やスポーツに親しめるように、総合型地域スポーツクラブの設立や、Jリーグの地域貢献事業、さまざまなスポーツの地域独立リーグやクラブチームの設立など、近年日本におけるスポーツでの変化が起こっています。具体例をあげて、このような変化に対するあなたの意見を述べてください。
①その変化を選んだ理由 ②その変化の背景やポイント
③その変化に対するあなたの意見 ④レポートを作成するために用いた参考文献(書籍やその他の資料)
- (3) いまや世界各国とのヒト・モノ・カネの動きが盛んになってグローバル化が進んでいます。「企業経営分野」「スポーツビジネス分野」「アグリビジネス分野」から具体例をあげて、グローバル化に対するあなたの意見を述べてください。
①グローバル化のメリット ②グローバル化のリスク
③その具体例の特徴やポイント ④レポートを作成するために用いた参考文献(書籍やその他の資料)
- (4) 地域の活性化策は、その地域に新たなビジネスを生み出します。あなたの住んでいる地域で行われている地域活性化の試みや、あなたが考える地域活性化のためのアイデアについて述べてください。
①あなたの住んでいる地域の課題 ②あなたの住んでいる地域で行われている活性化策
③あなたが考える地域活性化策 ④レポートを作成するために用いた参考文献(書籍やその他の資料)

〈探究活動報告タイプ〉

- (5) 高等学校の総合的な探究の時間に取り組んだ内容について、以下の4点が明らかになるよう述べてください。
①どのように課題を見つけたか ②どんな方法で情報を収集したか
③どのような特徴があるか ④取り組んだ活動を通して、本学科に入学後どのようなことに取り組みたいか

〈高大接続タイプ〉

- (6) 経営学科が主催するワークショップ*に参加し、学んだことを踏まえ、入学後に学びたいことをまとめてください。
*ワークショップは2026年8月1日(土)、2日(日)に開催します。どちらかに参加してください。ワークショップへのエントリーは6月1日(月)から受け付けを開始します。
ワークショップにエントリーした人で、やむをえず参加できなかった場合でも、課題(1)～(5)での出願は可能です。
詳細については、東海大学文理融合学部のホームページを確認してください。

■ 形式

- 選択した課題番号を明記し、必ずタイトルをつけてください。
- 手書きの場合：A4原稿用紙(ヨコ書き、20字×20行)7～10枚程度、3,000～4,000字程度
- パソコン等で作成する場合：A4用紙(ヨコ書き、35字×30行)3～4枚程度、3,000～4,000字程度
- 図表を用いる場合は、文章とは別にA4用紙にまとめてください。なお、図表は指定された字数・枚数には含みません。
- 課題に使用した図書、インターネットのサイト等は、必ず参考文献として明記してください。なお、参考文献は指定された字数・枚数には含みません。参考文献は文章とは別にしてA4用紙にまとめてください。

■ 課題についての第一次選考での主な評価ポイント

- 課題で求められている内容に沿っているか。
- 調べた結果とともに、あなたの意見も記述されているか。
- 参考文献が明記されているか。
- 文章が論理的に段落分けされているか。
- 誤字・脱字がないか。

■ 第二次選考について

第二次選考では、上記課題についての「課題発表(プレゼンテーション)(質疑応答含む)」及び「面接試験(口述試験含む)」を合わせて25分程度行います。課題発表は10分程度とし、それに対する質疑応答を5分程度及び面接試験(口述試験含む)を10分程度行います。

口述試験内容は、p. A-10『口述試験要領』を参照してください。

【必：必須 ○：可能 ×：不可】課題発表で使用した資料等は回収しませんので、各自必ず持ち帰ってください。

第二次選考の課題発表(プレゼンテーション)で使用できる機器等について

①模造紙、ポスター	○	四六判(788mm×1091mm)2枚程度 *ポスターは使用不可
②パソコン、プロジェクター	○	パソコン、プロジェクターは大学で準備します。 Windows版のPowerPoint2016以降のバージョンで作成したファイルまたはPDFファイルをUSBメモリに保存して持参してください。 万一の場合に備え、スライドを印刷した資料を3部持参してください。
③スケッチブック、フリップボード	×	
④配付資料	○	A4サイズ・枚数自由、3部(面接者2部、受験生1部)
⑤その他	×	
*発表用原稿(メモ等を含む)	×	発表時に原稿やメモを見ることはできません。

※「①」、「②」、「④」の中であなたが選択したいいずれかの発表形式で準備してください。なお、「①」、「②」、「④」の組み合わせも認めます。

■ 課題

下記の4つの課題(1)～(4)から1つを選び、所定の形式に沿って作成したものを提出してください。

〈探究課題タイプ〉

- (1) 国内旅行で行きたい観光地を1つ選び、1泊2日の旅行プランを作成し、旅行者を誘致するためのセールスポイントを説明してください。レポート作成にあたっては、以下の4点が明らかになるようにしてください。なお、提出する課題レポートにはタイトルをつけてください。必要であれば図や表を添付してください。
- ①その観光地に関心を寄せた理由 ②その観光地で興味ある自然、歴史・文化、生活スタイル、産業などの観光資源
③提案する旅行プランの特徴 ④レポートを作成するために用いた参考文献(書籍やその他の資料)
- (2) 企業等の広告宣伝は、テレビCMや新聞・雑誌だけでなく、SNS等のネットの活用など幅広い展開を見せています。現在、流れているCMの中から、最も印象に残っているCMを選び(ジャンルは自由、複数でも可)、あなたの考えや意見をまとめてください。レポート作成にあたっては、以下の4点が明らかになるようにしてください。なお、提出する課題レポートにはタイトルをつけてください。必要であれば図や表を添付してください。
- ①そのCMを選んだ理由 ②そのCMの特徴やポイント、他のCMとの比較
③そのCMの改善点 ④レポートを作成するために用いた参考文献(書籍やその他の資料)

〈探究活動報告タイプ〉

- (3) 高等学校での総合的な探究の時間や課外活動等で取り組んだ内容について、以下の4点が明らかになるようレポートを作成してください。
- ①どのように課題を見つけたか ②どのような方法で情報を収集したか
③どのような特徴があるか ④この活動を通して、本学科に入学後どのようなことに取り組みたいか

〈高大接続タイプ〉

- (4) 地域社会学科が主催するワークショップ*に参加し、学んだことを踏まえ、入学後に学びたいことをまとめてください。
*ワークショップは2026年8月1日(土)、2日(日)に開催します。どちらかに参加してください。ワークショップへのエントリーは6月1日(月)から受け付けを開始します。
ワークショップにエントリーした人で、やむをえず参加できなかった場合でも、課題(1)～(3)での出願は可能です。
詳細については、東海大学文理融合学部のホームページを確認してください。

■ 形式

- 選択した課題番号を明記し、必ずタイトルをつけてください。
- 手書きの場合：A4原稿用紙(ヨコ書き、20字×20行)5枚程度、2,000字程度
- パソコン等で作成する場合：A4用紙(ヨコ書き、35字×30行)2枚程度、2,000字程度
- 図表を用いる場合は、文章とは別にしてA4用紙にまとめてください。なお、図表は指定された字数・枚数には含みません。
- 書籍やインターネットを参照した場合、文末に明記するようにしてください。書籍については書名・著者名・出版社・発行年月日、参考ホームページについてはURLとアクセスした日時を記入してください(指定された字数・枚数には含みません)。

■ 課題についての第一次選考での主な評価ポイント

- 課題に適切に対応した内容になっているか。
- 客観的な記述、論理的な構成になっているか。
- 誤字・脱字がなく、文書作法を適切に守っているか。
- 課題についてあなたが考えたことを明確に伝えられているか。

■ 第二次選考について

第二次選考では、上記課題についての「課題発表(プレゼンテーション)(質疑応答含む)」及び「面接試験(口述試験含む)」を合わせて25分程度行います。課題発表は10分程度とし、それに対する質疑応答を5分程度及び面接試験(口述試験含む)を10分程度行います。

口述試験内容は、p. A-10『口述試験要領』を参照してください。

【 必：必須 ○：可能 ×：不可 】 課題発表で使用した資料等は回収しませんので、各自必ず持ち帰ってください。

第二次選考の課題発表(プレゼンテーション)で使用できる機器等について

①模造紙、ポスター	○	四六判(788mm×1091mm)2枚 *ポスターは使用不可
②パソコン、プロジェクター	○	パソコン、プロジェクターは大学で準備します。 Windows版のPowerPoint2016以降のバージョンで作成したファイルまたはPDFファイルをUSBメモリに保存して持参してください。 万一の場合に備え、スライドを印刷した資料を3部持参してください。
③スケッチブック、フリップボード	×	
④配付資料	×	
⑤その他	×	
*発表用原稿(メモ等を含む)	○	発表時に原稿やメモを見ても構いませんが、棒読みは避けてください。

※「①」、「②」の中であなたが選択したいいずれかの発表形式で準備してください。

■ 課題

下記の3つの課題(1)～(3)から1つを選び、所定の形式に沿って作成したものを提出してください。

〈探究課題タイプ〉

- (1) 人間情報工学科では、コンピュータ、人工知能、半導体、環境計測、医療機器等について学びます。あなたが最も関心を寄せるテーマを1つ選択し、その概要や最近の話題について調査・考察し、以下の4点が明らかになるようにレポートを作成してください。
- ① そのテーマに関心をもった理由
 - ② 調べたことで得られた結果
 - ③ 得られた結果についてのあなたの考察・感想
 - ④ このテーマの探究活動で参考にした参考文献(書籍やその他の資料)

〈探究活動報告タイプ〉

- (2) 高等学校での総合的な探究の時間や課外活動等で取り組んだ内容について、以下の4点が明らかになるようレポートを作成して下さい。
- ① どのように課題を見つけたか
 - ② どんな方法で情報を収集したか
 - ③ どのような特徴があるか
 - ④ この活動を通して、本学科に入学後どのようなことに取り組みたいか

〈高大接続タイプ〉

- (3) 人間情報工学科が主催するワークショップ*に参加し、学んだことを踏まえ、入学後に学びたいことをまとめてください。
- *ワークショップは2026年8月1日(土)、2日(日)に開催します。どちらかに参加してください。ワークショップへのエントリーは6月1日(月)から受け付けを開始します。
- ワークショップにエントリーした人で、やむをえず参加できなかった場合でも、課題(1)、(2)での出願は可能です。詳細については、東海大学文理融合学部のホームページをご確認ください。

■ 形式

- ・ 選択した課題番号を明記し、必ずタイトルをつけてください。
- ・ 手書きの場合：A4原稿用紙(ヨコ書き、20字×20行)5枚程度、2,000字程度
- ・ パソコン等で作成する場合：A4用紙(ヨコ書き、35字×30行)2枚程度、2,000字程度
- ・ 図表を用いる場合、図表は本文中に挿入してください。なお、図表は指定された字数・枚数には含まれません。
- ・ 参考文献は本文末尾にまとめて記載してください。なお、参考文献は指定された字数・枚数には含まれません。

■ 課題についての第一次選考での主な評価ポイント

- ・ あなたの興味や関心、その課題に取り組んだ理由が明記されているか。
- ・ 調べた結果、どのような知見が得られたか明記されているか。
- ・ あなたの考え(考察や意見)が明記されているか。
- ・ 具体的でわかりやすい記述をしているか。
- ・ 文章中に誤字・脱字がないか。

■ 第二次選考について

第二次選考では、上記課題についての「課題発表(プレゼンテーション)(質疑応答含む)」及び「面接試験(口述試験含む)」を合わせて25分程度行います。課題発表は10分程度とし、それに対する質疑応答を5分程度及び面接試験(口述試験含む)を10分程度行います。

口述試験内容は、p. A-10『口述試験要領』を参照してください。

【 必：必須 ○：可能 ×：不可 】課題発表で使用した資料等は回収しませんので、各自必ず持ち帰ってください。

第二次選考の課題発表(プレゼンテーション)で使用できる機器等について

① 模造紙、ポスター	○	四六判(788mm×1091mm)2枚 *ポスターは使用不可
② パソコン、プロジェクター	○	パソコン、プロジェクターは大学で準備します。 Windows版のPowerPoint2016以降のバージョンで作成したファイルをUSBメモリに保存して持参してください。 万一の場合に備え、スライドを印刷した資料を3部持参してください。 ※パソコンを持参しても構いません。持参する場合は、HDMI端子のケーブルが接続可能なものにしてください(変換コネクタの持参可)。
③ スケッチブック、フリップボード	×	
④ 配付資料	○	A4サイズ・枚数自由、3部(面接者2部、受験生1部) ※ホッチキスでとめ、1枚目に受験番号と氏名を記入してください。
⑤ その他	×	
*発表用原稿(メモ等を含む)	○	発表時に原稿やメモを見ても構いませんが、棒読みは避けてください。

※「①」、「②」、「④」の中であなたが選択したいいずれかの発表形式で準備してください。なお、「①」、「②」、「④」の組み合わせも認めます。

課題

下記の3つの課題(1)～(3)から1つを選び、所定の形式に沿って作成したものを提出してください。

〈探究課題タイプ〉

(1) 作物、果物、野菜、花、野生植物、昆虫、土壌、品種改良、環境と農業の関わり、安全で安定した食料生産など、いずれか1つより深く知りたいことについて調べ、その内容をまとめてあなたの考えを述べてください。その際、以下の点がはっきり分かるように書いてください。

- ①そのテーマに関心を寄せるようになった理由やきっかけ
- ②何をどのようにして調べたか
- ③調べた結果得られた知見
- ④あなた自身の考え

〈探究活動報告タイプ〉

(2) あなたはどのような目的で全国農業高等学校長協会認定のアグリマイスター顕彰に関連する資格取得や競技会活動に取り組んできたかを述べてください。その際、以下の3点が含まれるように書いてください。

- ①具体的な資格や活動
- ②それらの取り組みを通じて培った力はどのようなものか
- ③その力を大学でさらにどのように発展させていきたいかとその理由

〈高大接続タイプ〉

(3) オープンキャンパスの学科企画で「高大接続講義」に参加し、その講義内容を踏まえた課題に対してレポートを作成してください。

*課題作成にあたっては、必要に応じて書籍、新聞、雑誌、インターネットのホームページなどを参考にしてまとめ、文章の他に図、グラフ、表、写真などを加えることもできます。なお、参考にした資料については、出典を明記してください。

形式

- ・選択した課題番号を明記し、必ずタイトルをつけてください。
- ・手書きの場合：A4原稿用紙（ヨコ書き、20字×20行）、1,600字程度
- ・パソコン等で作成する場合：A4用紙（ヨコ書き、32字×25行）、1,600字程度
- ・参考にした文献（書名、著者名、出版社等）やインターネットで調べた情報（ホームページ名、URL等）等のリストは別紙（A4用紙）に明記してください。
- ・図表や写真等を用いる場合は、文章とは別にしてA4用紙にまとめ、添付資料としてください。枚数制限はありません。
- ・参考文献は、指定された字数には含みません。

課題についての第一次選考での主な評価ポイント

- ・調べた内容だけでなく、あなた自身の考え方が記述されているか。
- ・調べた内容が具体的に記述されているか。
- ・文章中に誤字・脱字がないか。

第二次選考について

第二次選考では、上記課題についての「課題発表（プレゼンテーション）（質疑応答含む）」及び「面接試験（口述試験含む）」を合わせて25分程度行います。課題発表は10分程度とし、それに対する質疑応答を5分程度及び面接試験（口述試験含む）を10分程度行います。

口述試験内容は、p. A-11『口述試験要領』を参照してください。

【 必：必須 ○：可能 ×：不可 】 課題発表で使用した資料等は回収しませんので、各自必ず持ち帰ってください。

第二次選考の課題発表（プレゼンテーション）で使用できる機器等について

①模造紙、ポスター	○	四六判（788mm×1091mm）2枚以内 *ポスターは使用不可
②パソコン、プロジェクター	○	パソコンは各自で用意してください。プロジェクターは大学で準備します。パソコンはHDMI端子のケーブルが接続可能なものを持参してください（変換コネクタの持参可）。発表データはパソコンに保存しておいてください。万一の場合に備え、スライドを印刷した資料を3部持参してください。
③スケッチブック、フリップボード	×	
④配付資料	○	A4サイズ5枚以内、3部（面接者2部、受験生1部）
⑤その他	×	
*発表用原稿（メモ等を含む）	○	発表時に原稿やメモを見ても構いませんが、棒読みは避けてください。

※「①」、「②」、「④」の中であなたが選択したいいずれかの発表形式で準備してください。なお「①」、「②」、「④」の組み合わせも認めます。

農 学 部 動物科学科

●阿蘇くまもと臨空キャンパス

〔1年次は主として「熊本キャンパス」を2年次以降は主として「阿蘇くまもと臨空キャンパス」を利用します〕

課題

下記の6つの課題(1)～(6)から1つを選び、所定の形式に沿って作成したものを提出してください。

〈探究課題タイプ〉

- (1) 動物、生物学または環境に関して、あなたがより深く知りたい事項について。
 - (2) 乳、肉、卵などの食材を提供する動物の生産性や安全性、利用の持続可能性等に関する最近の話題や問題点について。
 - (3) あなたが興味を持っている動物(家畜、野生動物、ペット、動物園動物など)とヒトとのかわりについて現状と問題点およびその動物とより良い関係を築くために必要な事項について。
- (1)～(3)では、以下の5点が含まれるように書いてください。
- ①選んだテーマに関心を寄せるようになった理由
 - ②選んだテーマについて調べるために用いた参考文献(本やその他の資料)
 - ③調べたことで得られた結果
 - ④その結果に対するあなた自身の意見
 - ⑤農学部動物科学科で身につけたい力や学びたい内容

〈探究活動報告タイプ〉

- (4) あなたはどのような目的で全国農業高等学校長協会認定のアグリマイスター顕彰に関連する資格取得や競技会活動に取り組んできたかを述べてください。
 - (5) 高等学校での総合的な探究の時間に取り組んだ内容について述べてください。
- (4)、(5)では、以下の3点が含まれるように書いてください。
- ①具体的な資格や活動
 - ②それらの取り組みを通じて培った力はどのようなものか
 - ③その力を大学でさらにどのように発展させていきたいかとその理由

〈高大接続タイプ〉

- (6) オープンキャンパスの学科企画で「高大接続講義」に参加し、その講義内容を踏まえた課題に対してレポートを作成してください。

*課題作成にあたっては、各自で調査を行うほか、書籍や新聞などの情報媒体を活用して調べてください。また、高等学校や個人などで実験や研究をしたことがある場合にはそのデータを用いて作成しても構いません。

形式

- 選択した課題番号を明記し、必ずタイトルをつけてください。
- 手書きの場合：A4原稿用紙(ヨコ書き、20字×20行)、1,600字程度
- パソコン等で作成する場合：A4用紙(ヨコ書き、32字×25行)、1,600字程度
- 参考にした文献(書名、著者、出版社等)やインターネットで調べた情報(ホームページ名、URL等)等のリストは別紙(A4用紙)に明記してください。
- 図表や写真等を用いる場合は、文章とは別にしてA4用紙にまとめ、添付資料としてください。枚数制限はありません。
- 参考文献は、指定された字数には含みません。

課題についての第一次選考での主な評価ポイント

- 調べた内容が、科学的根拠に基づいて具体的に記述されているか。
- 調べた内容に、あなたの意見や経験が具体的に反映されているか。
- 文章の構成が、問題提起・展開・結論の流れで論理的に記述されているか。
- 誤字・脱字が無く、正しく記述されているか。

第二次選考について

第二次選考では、上記課題についての「課題発表(プレゼンテーション)(質疑応答含む)」及び「面接試験(口述試験含む)」を合わせて25分程度行います。課題発表は10分程度とし、それに対する質疑応答を5分程度及び面接試験(口述試験含む)を10分程度行います。

口述試験内容は、p. A-11『口述試験要領』を参照してください。

【 必：必須 ○：可能 ×：不可 】課題発表で使用した資料等は回収しませんので、各自必ず持ち帰ってください。

第二次選考の課題発表(プレゼンテーション)で使用できる機器等について

①模造紙、ポスター	○	模造紙：四六判(788mm×1091mm)3枚以内 ポスター：A1またはB1サイズ3枚以内
②パソコン、プロジェクター	○	パソコン、プロジェクターは大学で準備します。 Windows版のPowerPoint2016以降のバージョンで作成したファイルをUSBメモリに保存して持参してください。 万一の場合に備え、スライドを印刷した資料を3部持参してください。
③スケッチブック、フリップボード	×	
④配付資料	○	A4サイズ10枚以内、3部(面接者2部、受験生1部)
⑤その他	×	
*発表用原稿(メモ等を含む)	○	発表時に原稿やメモを見ても構いませんが、棒読みは避けてください。

※「①」、「②」、「④」の中であなたが選択したいいずれかの発表形式で準備してください。なお「①」、「②」、「④」の組み合わせも認めます

農 学 部 食生命科学科

●阿蘇くまもと臨空キャンパス
〔1年次は主として「熊本キャンパス」を2年次以降は主として「阿蘇くまもと臨空キャンパス」を利用します〕

課題

食生命科学分野にはさまざまなテーマがあります。健康に関わる食料や食品成分の機能性、発酵食品などに用いられる微生物の有効利用、生命の仕組みに関わる遺伝子やタンパク質などがその例です。そこで、下記の4つの課題(1)～(4)から1つを選び、所定の形式に沿って作成したものを提出してください。

〈探究課題タイプ〉

(1) 健康的な生活を実現させるために、食と生命科学に関する研究は農学のみならず、薬学や医学など幅広い分野に応用されています。そのなかで、あなたが興味をもったテーマについて、以下の3点を含めてまとめてください。

① どうして興味をもったのか ② 問題点とその解決についてのあなたの考え ③ 大学で学びたいことや将来の夢

〈探究活動報告タイプ〉

(2) 高等学校での総合的な探究の時間、課外活動、課題研究などで取り組んだ食や生命科学に関連した研究・実験について、以下の3点を含めてまとめてください。

① どのように課題をみつけてどのような方法で情報を収集したのか ② どのように整理・分析してどのような結果・結論が得られたのか ③ 大学で学びたいことや将来の夢

(3) 全国農業高等学校長協会認定のアグリマイスター顕彰に関連する資格取得や競技会活動で取り組んだ内容について、以下の3点を含めてまとめてください。

① どのような活動を行ったのか ② どのような経験と成果が得られたのか ③ 大学で学びたいことや将来の夢

〈高大接続タイプ〉

(4) オープンキャンパスの学科企画で「高大接続講義」に参加し、その講義内容を踏まえた課題に対してレポートを作成してください。

* 課題作成にあたっては、必要に応じて文献やインターネットのホームページなどを参考にまとめてください。文章の他に図表や写真などを用いることもできます。

形式

- 選択した課題番号を明記し、必ずタイトルをつけてください。
- 手書きの場合：A4原稿用紙（ヨコ書き、20字×20行）、1,600字程度
- パソコン等で作成する場合：A4用紙（ヨコ書き、32字×25行）、1,600字程度
- 参考にした文献（著者、書名、出版社、出版年等）やインターネットで調べた情報（ホームページ名、URL等）等のリストは文章とは別にしてA4用紙に明記してください。
- 図表や写真等は文章や参考文献リストとは別にしてA4用紙にまとめてください。
- 参考文献リストや図表等は指定された字数には含みません。

課題についての第一次選考での主な評価ポイント

- 内容を的確に表現したタイトルになっているか。
- 調べた内容が、科学的根拠に基づいて具体的に記述されているか。
- 調べた内容に、あなたの意見や経験が具体的に反映されているか。
- 文章の構成が、問題提起・展開・結論の流れで論理的に記述されているか。
- 誤字・脱字が無く、正しく記述されているか。

第二次選考について

第二次選考では、上記課題についての「課題発表（プレゼンテーション）（質疑応答含む）」及び「面接試験（口述試験含む）」を合わせて25分程度行います。課題発表は10分程度とし、それに対する質疑応答を5分程度及び面接試験（口述試験含む）を10分程度行います。

口述試験内容は、p. A-11『口述試験要領』を参照してください。

【 必：必須 ○：可能 ×：不可 】 課題発表で使用した資料等は回収しませんので、各自必ず持ち帰ってください。

第二次選考の課題発表（プレゼンテーション）で使用できる機器等について

① 模造紙、ポスター	○	四六判（788mm×1091mm）2枚以内 *ポスターは使用不可
② パソコン、プロジェクター	○	パソコンは各自で用意してください。プロジェクターは大学で準備します。パソコンはHDMI端子のケーブルが接続可能なものを持参してください（変換コネクタの持参可）。発表データはパソコン保存しておいてください。万一の場合に備え、スライドを印刷した資料を3部持参してください。
③ スケッチブック、フリップボード	×	
④ 配付資料	○	A4サイズ5枚以内、3部（面接者2部、受験生1部）
⑤ その他	×	
*発表用原稿（メモ等を含む）	○	発表時に原稿やメモを見ても構いませんが、棒読みは避けてください。

※ 「①」、「②」、「④」の中であなたが選択したいいずれかの発表形式で準備してください。なお「①」、「②」、「④」の組み合わせも認めます。

国際文化学部

地域創造学科

●札幌キャンパス

■ 課題

下記の2つの課題 1. と 2. について、所定の形式に沿って作成したものを提出してください。

〈探究課題タイプ〉

- あなたは、あなたの住む市町村の職員だと仮定してください。市町村長はあなたに、その地域を元気にするためのアイデアを求めています。あなたはどのようなアイデアを提案しますか？
1. で考えたアイデアを実行しあなた自身が役割を果たすために、地域創造学科で身につけたい力や知識について、将来の夢や希望、目標に関連づけて具体的に述べてください。

■ 形式

- 手書きの場合：A4 原稿用紙（ヨコ書き、20 字×20 行）3 枚程度、1,200 字程度
- パソコン等で作成する場合：A4 用紙（ヨコ書き、40 字×35 行）1 枚程度、1,200 字程度
- 図表を用いる場合は、文章とは別にして A4 用紙にまとめてください。図表の枚数は特に制限しません。なお、図表は指定された字数・枚数には含みません。

■ 課題についての第一次選考での主な評価ポイント

- あなたの意見やアイデアが明記されているか。
- あなたの住む地域の実情（課題）が示されているか。
- 具体的な事例が明記されているか。
- あなたの役割が書かれているか。
- 論理的展開がなされ、結論が明解であるか。

■ 第二次選考について

第二次選考では、上記課題についての「課題発表（プレゼンテーション）（質疑応答含む）」及び「面接試験（口述試験含む）」を合わせて25分程度行います。課題発表は10分程度とし、それに対する質疑応答を5分程度及び面接試験（口述試験含む）を10分程度行います。

口述試験内容は、p. A-11『口述試験要領』を参照してください。

【 必：必須 ○：可能 ×：不可 】 課題発表で使用した資料等は回収しませんので、各自必ず持ち帰ってください。

第二次選考の課題発表（プレゼンテーション）で利用できる機器等について

①模造紙、ポスター	×	
②パソコン、プロジェクター	×	
③スケッチブック、フリップボード	×	
④配付資料	必	A4 サイズ・枚数自由、3部（面接者2部、受験生1部）
⑤その他	×	
*発表用原稿（メモ等を含む）	○	発表時に原稿やメモを見ても構いませんが、棒読みは避けてください。

※ 「④」の発表形式で準備してください。

■ 課題

下記の3つの課題から1つを選び、所定の形式に沿って作成したものを提出してください。

〈探究課題タイプ〉

- (1) 国際共通語とされる英語に関連するさまざまな事柄の中で、あなたが最も関心を寄せるテーマを1つ取りあげ、その内容をまとめ、あなたの意見をつけ加えてください。テーマとしては、例えば、「アメリカとイギリスで使用されている英語の比較」、「企業における社内公用語としての英語について」など、具体的かつ柔軟に考えてください。
- (2) アジアの歴史や文化に関連するさまざまな事柄の中で、あなたが最も関心を寄せるテーマを1つ取りあげ、その内容をまとめ、あなたの意見をつけ加えてください。テーマとしては、例えば、「中国の食文化について」、「韓国の映画や音楽について」など、具体的かつ柔軟に考えてください。
- (3) 欧米の社会や生活環境に関連するさまざまな事柄の中で、あなたが最も関心を寄せるテーマを1つ取りあげ、その内容をまとめ、あなたの意見をつけ加えてください。テーマとしては、例えば、「アメリカのプロ・スポーツについて」、「ヨーロッパの建物や町並みについて」など、具体的かつ柔軟に考えてください。

■ 形式

- ・手書きの場合：A4 原稿用紙（ヨコ書き、20 字× 20 行）3 枚程度、1,200 字程度
- ・パソコン等で作成する場合：A4 用紙（ヨコ書き、40 字× 35 行）1 枚程度、1,200 字程度
- ・図表を用いる場合は、文章とは別にして A4 用紙にまとめてください。なお、図表は指定された字数・枚数には含みません。
- ・課題作成に使用した書籍やインターネットサイトなどは必ず参考文献として明記し、文章とは別にして A4 用紙にまとめてください。なお、参考文献は、指定された字数・枚数には含みません。

■ 課題についての第一次選考での主な評価ポイント

- ・示す理由や選ぶテーマが曖昧だったり抽象的だったりせず、明確で具体的なものになっているか。
- ・理由やテーマにかかわる客観的な事実や数値データなどが、きちんと調べられているか。
- ・調べた結果だけでなく、あなたの意見も明記されているか。

■ 第二次選考について

第二次選考では、上記課題についての「課題発表（プレゼンテーション）（質疑応答含む）」及び「面接試験（口述試験含む）」を合わせて25分程度行います。課題発表は10分程度とし、それに対する質疑応答を5分程度及び面接試験（口述試験含む）を10分程度行います。

口述試験内容は、p. A-11『口述試験要領』を参照してください。

【 必：必須 ○：可能 ×：不可 】 課題発表で使用した資料等は回収しませんので、各自必ず持ち帰ってください。

第二次選考の課題発表（プレゼンテーション）で使用できる機器等について

①模造紙、ポスター	必	四六判（788mm×1091mm）2枚程度 *ポスターは使用不可
②パソコン、プロジェクター	×	
③スケッチブック、フリップボード	×	
④配付資料	×	
⑤その他	×	
*発表用原稿（メモ等を含む）	×	発表時に原稿やメモを見ることはできません。

※「①」の発表形式で準備してください。

生物学部

生物学科

●札幌キャンパス

課題

下記の2つの課題(1)、(2)から1つを選び、所定の形式に沿って作成したものを提出してください。

〈探究課題タイプ〉

- (1) 生物学に関連した分野から興味を持ったテーマに関して、複数の資料(書籍、雑誌、新聞、インターネットのホームページなど)を調べてまとめ、あなたの意見を述べてください。課題は、生物の教科書で取りあげられているテーマに限らず、自分の身近な問題や、世界的な問題などでも構いません。あなたと異なる立場の意見も紹介し、それに対するあなたの意見も記述してください。参考にした資料(参考文献)は、文章や図表とは別にまとめてください。

〈探究活動報告タイプ〉

- (2) 高等学校の課題研究や課外活動などで実施した、生物学に関連した内容の研究・実験の内容をまとめてください。課題は、生物の教科書で取りあげられているテーマに限らず、生き物調査や生物と産業とのかかわりなどでも構いません。提出する課題には、課題名、研究や実験の目的、調査方法や実験方法、得られた結果、考察や結論などを記述してください。

形式

- 必ずタイトルをつけてください。
- 手書きの場合：A4原稿用紙(ヨコ書き、20字×20行)6枚以内、1,200～2,000字程度
- パソコン等で作成する場合：A4用紙(ヨコ書き、35字×35行)2枚以内、1,200～2,000字程度
- 図表を用いる場合は、文章とは別にしてA4用紙にまとめてください。なお、図表は指定された字数・枚数には含まれません。
- 参考文献は文章や図表とは別にしてA4用紙にまとめてください。なお、参考文献は指定された字数・枚数には含まれません。

課題についての第一次選考での主な評価ポイント

共通評価ポイント

- 課題の内容を的確に表したタイトルがつけられているか。
- わかりやすい正しい文章で書かれているか。

課題(1)についての評価ポイント

- 選んだ研究や実験について、その目的や背景がわかりやすく述べられているか。
- 方法、結果、考察に矛盾はないか。

課題(2)についての評価ポイント

- あなたの意見を述べるために、調べた内容が適切に使われているか。
- あなたの考えが、経験したことを例にあげるなどしてわかりやすく述べられているか。

第二次選考について

第二次選考では、上記課題についての「課題発表(プレゼンテーション)(質疑応答含む)」及び「面接試験(口述試験含む)」を合わせて25分程度行います。課題発表は7分間(6分～7分、時間厳守)とし、それに対する質疑応答を3分程度及び面接試験(口述試験含む)を15分程度行います。

口述試験内容は、p. A-11『口述試験要領』を参照してください。

【 必：必須 ○：可能 ×：不可 】 課題発表で使用した資料等は回収しませんので、各自必ず持ち帰ってください。

第二次選考の課題発表(プレゼンテーション)で利用できる機器等について

①模造紙、ポスター	×	
②パソコン、プロジェクター	必	パソコン、プロジェクターは大学で準備します。 Windows版のPowerPoint2016以降のバージョンで作成したファイルをUSBメモリに保存して持参してください。 万一の場合に備え、スライドを印刷した資料を3部持参してください。
③スケッチブック、フリップボード	×	
④配付資料	×	
⑤その他	×	
*発表用原稿(メモ等を含む)	○	発表時に原稿やメモを見ても構いませんが、棒読みは避けてください。

※「②」の発表形式で準備してください。

生物学部 海洋生物科学科

●札幌キャンパス

課題

海洋生物科学科では、環境・生態科学として海洋や河川に生息する水圏生物の生理・生態やそれを取り巻く環境について学修します。また、水圏生物を人間が利活用するための水産科学も主要なテーマとなります。

下記の3つの課題から興味のあることを1つ選び、4,000字程度で課題を作成し提出してください。必要ならば図表を添付してください。

〈探究課題タイプ〉

- (1) 海洋や河川、湖沼などにかかわる環境問題を1つあげ、どのようなことがどこで起こっていて、何が問題なのかを具体的に説明し、その問題の解決策や防止に対する取り組みについてあなたの考えを書いてください。
- (2) あなたが興味を持つ海や淡水の生物を1つあげ、その特徴、生態、飼育方法などを紹介してください。更に、興味を持った理由や実際にあなたが飼育する場合に考えられる問題点を指摘し、具体的な解決策をあなたなりに考えて書いてください。
- (3) 日本国内における増養殖の方法を1つあげ、どこでどのような増殖または養殖が行われているかを紹介し、その増養殖が抱える問題点を指摘し、その解決策をあなたなりに考えて書いてください。

形式

- 選択した課題番号を明記し、課題の内容を簡潔に表すタイトルを必ずつけてください。
- 手書きの場合：A4原稿用紙（ヨコ書き、20字×20行）12枚以内、4,000字程度
- パソコン等で作成する場合：A4用紙（ヨコ書き、35字×35行）4枚以内、4,000字程度
- 図表を用いる場合は、文章とは別にしてA4用紙にまとめてください。なお、図表は指定された字数・枚数には含みません。
- 参考文献とインターネットのWebサイトのURLは文章や図表とは別にしてA4用紙にまとめてください。なお、参考文献とインターネットのWebサイトのURLは指定された字数・枚数には含みません。

課題についての第一次選考での主な評価ポイント

- 日本語表現が適切であるか。
- 課題が求めている内容を十分満たしているか。
- 課題について調べた内容が、あなたの言葉で表現できているか。
インターネット上の文章、本や雑誌の丸写し、もしくはそれに近いと判断される内容については減点の対象となります。
- 課題に対してあなたの意見や考えが述べられているか。

第二次選考について

第二次選考では、上記課題についての「課題発表（プレゼンテーション）（質疑応答含む）」及び「面接試験（口述試験含む）」を合わせて25分程度行います。課題発表は7分間（6分～7分、時間厳守）とし、それに対する質疑応答を3分程度及び面接試験（口述試験含む）を15分程度行います。

口述試験内容は、p. A-11『口述試験要領』を参照してください。

【 必：必須 ○：可能 ×：不可 】 課題発表で使用した資料等は回収しませんので、各自必ず持ち帰ってください。

第二次選考の課題発表（プレゼンテーション）で使用できる機器等について

① 模造紙、ポスター	×	
② パソコン、プロジェクター	必	パソコン、プロジェクターは大学で準備します。 Windows版のPowerPoint2016以降のバージョンで作成したファイルをUSBメモリに保存して持参してください。 万一の場合に備え、スライドを印刷した資料を3部持参してください。
③ スケッチブック、フリップボード	×	
④ 配付資料	×	
⑤ その他	×	
* 発表用原稿（メモ等を含む）	○	発表時に原稿やメモを見ても構いませんが、棒読みは避けてください。

※ 「②」の発表形式で準備してください。

志望理由書

入学後に学びたいことや、取り組みたいことを含め、本学の学科・専攻を志望する理由を600字以内で記入してください。

氏名	志望	学部	学科	専攻
----	----	----	----	----

- ・志願者本人が黒のボールペンまたはHBの黒芯シャープペンシルで記入してください (ヨコ書き)。
- ・黒のボールペンで記入し内容を訂正する場合は、修正液等で消して再度上から記入してください。

					5
					10
					15
					20
					25
					30

活動報告書

中学校卒業後の活動について、該当する箇所を記入してください。
※記入上の注意をご確認ください。

フリガナ		男 ・ 女	出身高校名	
氏 名				高校
志 望	学部	学科		専攻

- ・志願者本人が黒のボールペンまたはHBの黒芯シャープペンシルで記入してください。
- ・黒のボールペンで記入し内容を訂正する場合は、修正液等で消して再度上から記入してください。

【1】「体育・文化・芸術活動」について

クラブ名 団体名	校内・校外・ 所属なし いずれかを○で囲む	役 職	
〈活動内容について〉			
〈活動結果について〉			
出場大会や出展、発表会名等		成績（順位・賞等）	開催年月（西暦）
			年 月
			年 月
			年 月
			年 月

【2】「生徒会・委員会・クラスの係に関する活動」について

団体名		役 職	
〈活動内容について〉			

【3】「社会貢献に関する活動」について（地域のボランティア活動に参加等）

〈活動内容について〉

スポーツ活動報告書
(体育学部志願者のみ)

中学校卒業後の活動について記入してください。
※記入上の注意をご確認ください。

このスポーツ活動報告書は、出身校または所属クラブで厳封してください。

東海大学		2026年 月 日	
学長 殿	学 校 名 (スポーツクラブ名等) 学 校 長 名 (クラブ代表者名) 記載責任者氏名	印 印	学校外でのクラブ活動等の場合で、クラブ印がない場合はクラブ代表者の私印を押印し、さらにクラブ印なしを○で囲んでください。 クラブ印なし
貴学体育学部を受験する者のスポーツ活動歴は下記のとおりです。			
フリガナ		男 ・ 女	(西暦) 年 月 日生 (歳)
氏 名			
所属クラブ名 (必修クラブを除く) スポーツ名	(校内・校外・) (所属なし) いずれかを○で囲む	種 目 ポ ジ ュ ン	※種目・ポジションがない場合は、「特になし」と記入してください。
スポーツ活動歴 本人が出場（もしくはベンチ入り）し、最も顕著な成績を収めた大会を1つ記入してください。 ※スポーツ活動歴がない場合は、「@出場大会名(含種目)」に「 <u>出場記録なし</u> 」と記入してください。			
① 大会レベル (記号に○をつけてください)			
A. 国際大会 B. 全国大会 C. 地区ブロック大会 D. その他			
② 出場大会名 (含種目)		年月 (西暦)	成績 (順位)
※スポーツ活動歴がない場合は、「 <u>出場記録なし</u> 」と記入してください。		年 月	※公認記録がない場合は、「 <u>特になし</u> 」と記入してください。
スポーツに関する主な取得資格 ※具体的な取得資格がない場合は、「 <u>特になし</u> 」と記入してください。			
種目等	資格の種類		取得年 (西暦)
			年
			年
クラブ活動 総合所見	経験した役割を○で囲んでください		主将 ・ 副主将 ・ 主務 ・ 他 ()
	※できるだけ具体的に記入してください。総合所見がない場合は、「 <u>特になし</u> 」と記入してください。		
その他、体育・ スポーツに 関する活動歴	※できるだけ具体的に記入してください。その他の活動歴がない場合は、「 <u>特になし</u> 」と記入してください。		

(注1) 黒のボールペンで記入してください。

(注2) 内容を訂正する場合は、修正液等を使用せず二重線を引いて訂正印を押印のうえ、その上下等に正しい内容を記入してください。

■ 記入上の注意「スポーツ活動報告書」

体育学部志願者のみ提出してください。スポーツ活動報告書の作成は、以下に沿って出身校または所属クラブに依頼してください。所属クラブは、学校内に限定しません。スポーツ活動歴がない場合でも必ず作成し提出してください。

中学校を卒業した年の4月1日以降のスポーツ活動について記入してください。

- ・必ず出身校または所属クラブで厳封してください。
- ・黒のボールペンで記入してください。
- ・内容を訂正する場合は、修正液等を使用せず二重線を引いて訂正印を押印のうえ、その上下等に正しい内容を記入してください。

- A** (1) 学校内でのクラブ活動等の場合は、出身校に作成を依頼してください。学校名、学校長名、記載責任者氏名を記入し、各々に必ず押印してください。
 なお、学校長の印は校印を用いてください。
- (2) 学校外でのクラブ活動等の場合は、所属クラブに作成を依頼してください。スポーツクラブ名等、代表者名、記載責任者氏名を記入し、各々に必ず押印してください。
 なお、代表者の印は、クラブ印がある場合は必ずクラブ印を押印してください。ない場合は代表者の私印を押印し、その横の「クラブ印なし」を○で囲んでください。
 保護者が代表者となる場合は、学校長名(クラブ代表者名)欄に記入・押印してください。
- (3) スポーツ活動歴がない場合は、学校の担任の先生等、第三者に作成を依頼してください。その際、学校長名(クラブ代表者名)欄に記入・押印してください。

- B** 氏名は楷書で、フリガナは必ずカタカナで明瞭に記入してください。
- C** 男・女のいずれかを○で囲み、生年月日・年齢を記入してください。
- D** 所属クラブ名は、クラブの所在(校内・校外・所属なしのいずれかを○で囲む)とその所属クラブ名、種目・ポジションを記入してください。
 校内のクラブの場合、高校名ではなくスポーツ名を記入してください。
- E** スポーツ活動歴は、本人が**出場(もしくはベンチ入り)**し、最も顕著な成績を収めた大会を1つ記入してください。「①大会レベル」「②出場大会名(含種目)・年月(西暦)・成績(順位)・公認記録」の項目を必ず記入してください。
 公認記録がない場合は、「特になし」と記入してください。
 「成績(順位)」の項目には、**入賞(優勝・準優勝)等の結果がない場合でも、「出場」「二回戦出場」等と必ず記入してください。**
 なお、登録選手としてベンチ入りし、出場する機会がなかった場合でも選手としてみなします。その際は、「クラブ活動総合所見」にその旨を記入してください。
- (例) A. 国際大会：日本代表として出場した大会等
 B. 全国大会：全日本選手権大会、全国高校総合体育大会、国民スポーツ大会等
 C. 地区ブロック大会：全国高校総合体育大会ブロック大会、国民スポーツ大会ブロック大会、都府県を代表して出場した大会等
 D. その他：上記(A、B、C)以外の大会
 上記のスポーツ活動歴がない場合は、「②出場大会名(含種目)」に「出場記録なし」と記入してください。
- F** スポーツに関する主な取得資格については、本人が所持する柔道・剣道の段位やスキーの級別テスト等、主なものを2つまで記入してください。
 具体的な取得資格がない場合は、「種目等」欄に「特になし」と記入してください。
- G** クラブ活動総合所見はできるだけ具体的に記入し、経験した役割を○で囲んでください。
 記載する総合所見がない場合は、「特になし」と記入してください。
- H** その他、体育・スポーツに関する活動歴は、学校の体育授業における様子やボランティア経験等を含め、できるだけ具体的に記入してください。
 具体的な活動歴がない場合は、「特になし」と記入してください。

注意 記載内容を証明する書類等の提出を求める場合があります。

厳封

2027年度東海大学 総合型選抜学科課題型 ③ 会費番号
(記入不要)

スポーツ活動報告書 中学校卒業後の活動について記入してください。

(体育学部志願者のみ) ※記入上の注意をご確認ください。

このスポーツ活動報告書は、出身校または所属クラブで厳封してください。

東海大学 学 長 殿 <small>学 校 名 (スポーツクラブ名)</small> <small>学 校 長 名 (クラブ代表者名)</small> <small>記載責任者氏名</small>	2026年 月 日 印						
貴学体育学部を受験する者のスポーツ活動歴は下記のとおりです。							
フリガナ 氏 名	(男) (西暦) 年 月 日生 (歳) (女)						
所属クラブ名 <small>(校内・校外・所属なしのいずれかを○で囲む)</small> スポーツ名	種 目 ポジション <small>※種目・ポジションがない場合は、「特になし」と記入してください。</small>						
E スポーツ活動歴 <small>本人が出場(もしくはベンチ入り)し、最も顕著な成績を収めた大会を1つ記入してください。</small> <small>※スポーツ活動歴がない場合は、「②出場大会名(含種目)」に「出場記録なし」と記入してください。</small>							
① 大会レベル (記号に○をつけてください) A. 国際大会 B. 全国大会 C. 地区ブロック大会 D. その他							
② 出場大会名(含種目) 年月(西暦) 成績(順位) 公認記録 <small>※スポーツ活動歴がない場合は、「出場記録なし」と記入してください。</small>							
スポーツに関する主な取得資格 <small>※具体的な取得資格がない場合は、「特になし」と記入してください。</small>							
<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <th style="width: 30%;">種目等</th> <th style="width: 40%;">資格の種類</th> <th style="width: 30%;">取得年(西暦)</th> </tr> <tr> <td style="height: 20px;">F</td> <td></td> <td></td> </tr> </table>		種目等	資格の種類	取得年(西暦)	F		
種目等	資格の種類	取得年(西暦)					
F							
クラブ活動 総合所見 <small>経験した役割を○で囲んでください。</small> <small>※できるだけ具体的に記入してください。総合所見がない場合は、「特になし」と記入してください。</small>							
その他、体育・スポーツに関する活動歴 <small>※できるだけ具体的に記入してください。その他の活動歴がない場合は、「特になし」と記入してください。</small>							

(注1) 黒のボールペンで記入してください。
 (注2) 内容を訂正する場合は、修正液等を使用せず二重線を引いて訂正印を押印のうえ、その上下等に正しい内容を記入してください。

課題提出用原稿用紙

氏名		志望	学部	学科	専攻
----	--	----	----	----	----

- ・志願者本人が黒のボールペンまたはHBの黒芯シャープペンシルで記入してください(志望する学科・専攻の形式に沿って使用してください)。
- ・黒のボールペンで記入し内容を訂正する場合は、修正液等で消して再度上から記入してください。

課題番号 ※

※志望する学科・専攻において課題内容を選択するよう指示がある場合は、選んだ課題の番号を記入してください。
 なお、番号と課題内容に間違いがないか確認のうえ、課題を作成してください。

タイトル ※

※志望する学科・専攻において、課題にタイトルをつけるよう指示がある場合は、記入してください。

20 15 10 5 20

(注) 課題が複数枚にわたる場合は、すべての用紙にページ番号、氏名、志望学部・学科・専攻を記入してください。